

第17号議案 令和4年度長崎市一般会計予算

〔文化観光部所管分〕

【目次】

(資料頁)

[2款 総務費]

2・1・22 世界遺産推進費 1 ~ 14

[7款 商工費]

7・1・4 観光費 15 ~ 84

[10款 教育費]

10・6・3 文化財保護費 85 ~ 108

[10款 教育費]

10・6・4 出島復元費 109 ~ 111

文化観光部
令和4年2月

【目次】	(予算説明書)	(資料頁)
[2・1・22 世界遺産推進費]		
2 【補助】世界遺産保存整備事業費		
1 「明治日本の産業革命遺産」	132～133	1～4
2 端島炭坑	132～133	5～7
3 【補助】世界遺産保存整備事業費補助金		
1 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	132～133	8～10
4 【単独】世界遺産保存整備事業費		
1 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	132～135	11～14
[7・1・4 観光費]		
1 観光振興対策費		
2 観光地域づくり推進費	230～231	15～24
3 MICE推進費	230～231	25～40
4 長崎さるく推進費	230～231	41～43
6 アニメツーリズム推進費	230～231	44～47
9 コンベンション開催費補助金	230～231	48～49
2 観光客誘致対策費		
2 交通事業者連携事業費	230～231	50～52
3 夜景観光推進費		
1 世界・日本新三大夜景推進費	232～233	53～55
6 観光施設管理運営費		
3 出島運営費	232～233	56～58
26 長崎歴史文化博物館特別企画展負担金	234～235	59～61
9 【補助】観光施設整備事業費		
1 総合観光案内所	234～235	62～71
11 【単独】観光施設整備事業費		
1 出島	234～235	72～75
2 旗竿再現(出島)	234～235	76～78
5 鳴滝塾模型	236～237	79～80
6 ペーロン体験施設	236～237	81～84
[10・6・3 文化財保護費]		
1 文化財保護推進費		
12 長崎郷土芸能保存協議会補助金	288～289	85～87
3 【補助】文化財保存整備事業費		
1 国指定重要文化財旧長崎英国領事館	288～289	88～93
2 国指定重要文化財旧オルト住宅	288～289	94～98
4 【補助】文化財保存整備事業費補助金		
1 伝統的建造物群保存地区	288～289	99～103
6 【単独】文化財保存整備事業費補助金		
1 各種文化財	290～291	104～108
[10・6・4 出島復元費]		
1 出島復元推進費		
2 遺構調査及び遺物整理費	290～291	109～111

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
132 ～ 133	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-1	【補助】 世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 152,000

1 概 要

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」は、世界遺産及び国指定史跡として将来にわたり適切に保存管理を行う必要がある。

そのため、整備の方針を定めた「史跡高島炭鉱跡整備基本計画及び高島炭坑 端島炭坑修復・公開活用計画」(以下、「修復・公開活用計画」という。)に基づき、「護岸遺構」「擁壁遺構」「生産施設遺構」「居住施設遺構」を対象として平成 30 年度から 30 年間に渡って優先順位を付けて整備を行うこととしている。このうち「護岸遺構」については、社会資本整備交付金を活用し、令和 4 年に実施設計を行った後、令和5年から5ヶ年をかけて護岸防護工事を実施することで、護岸機能向上を図り、史跡を保護する。

また、ウイズコロナ下における社会経済活動の再開に伴い、来訪者の増加が予想されるため、「明治日本の産業革命遺産」協議会及び産業遺産国民会議で策定した8県 11 市のガイドンス施設整備のための「インタープリテーション戦略※」に基づく共通展示をベースとした本格的な展示にリニューアルすることで受入れ態勢を整備する。

※インタープリテーション:遺産価値等を分かりやすく来訪者に伝えること。平成 27 年の世界遺産登録時に世界遺産委員会から、資産価値等を来訪者へ適切に伝える戦略を策定するよう勧告がなされたことから内閣官房を中心に「インタープリテーション戦略」を策定している。

2 事業内容

(1) 端島炭坑跡護岸実施設計

147,000 千円

令和3年度に実施した端島炭坑跡護岸整備検討に係る現況調査及び基本設計を基に、端島炭坑跡護岸遺構整備のための実施設計を行う。

ア 端島炭坑護岸防護のための事業計画

区分	R2年度 【調査検討等】	R3年度 【現況調査】 【基本設計】	R4年度 【実施設計】	R5～9年度 (予定) 【整備工事】
内容	・端島護岸の作用波力及び越波浸水・排水過程に関する検討	・海中空洞部含む護岸現況調査 ・ボーリング調査 ・構造形式の検討 ・護岸の現況測量 ・全体整備費の算出	・護岸防護設計(海側施工、陸側施工) ・明治期に築造した石積護岸が露出した箇所の護岸防護設計 ・海中空洞部充填箇所の設計	・5ヶ年で護岸総延長L＝1,150mの防護整備工事を実施

(2) ガイダンス施設整備

5,000 千円

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(8県 11 市、23 構成資産)の価値等を伝えるガイダンス施設を各都市が設置しており、長崎市におけるガイダンス施設と位置付けているグラバー園内の旧三菱第2ドックハウスの世界遺産展示をリニューアルする。

ア 事業計画 令和4年度:実施設計
令和5年度:整備工事

イ 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」ガイダンス施設の位置付け

旧三菱第2ドックハウスはグラバー園の高台に立地し、長崎港の対岸に位置する三菱長崎造船所のジャイアント・カンチレバークレーンや第三船渠等の構成資産との位置関係を把握できるだけでなく、グラバーと三菱長崎造船所との関係性や明治時代に海外との交易の場として栄えた往時の長崎港の雰囲気を感じることが出来る場所であることから、明治日本の産業革命遺産の長崎エリアの中核的なガイダンス施設と位置付けている。

3 財源内訳

事業名	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
(1)端島炭坑跡護岸実施設計	千円 147,000	千円※1 49,000	千円 —	千円※3 98,000	千円 —	千円 —
(2)ガイダンス施設整備	5,000	※2 2,500	—	※4 2,200	—	300
合計	152,000	51,500	—	100,200	—	300

※1 社会資本整備総合交付金海岸環境整備事業 補助率 1/3

※2 地方創生推進交付金 充当率 50%

※3 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率 70%)

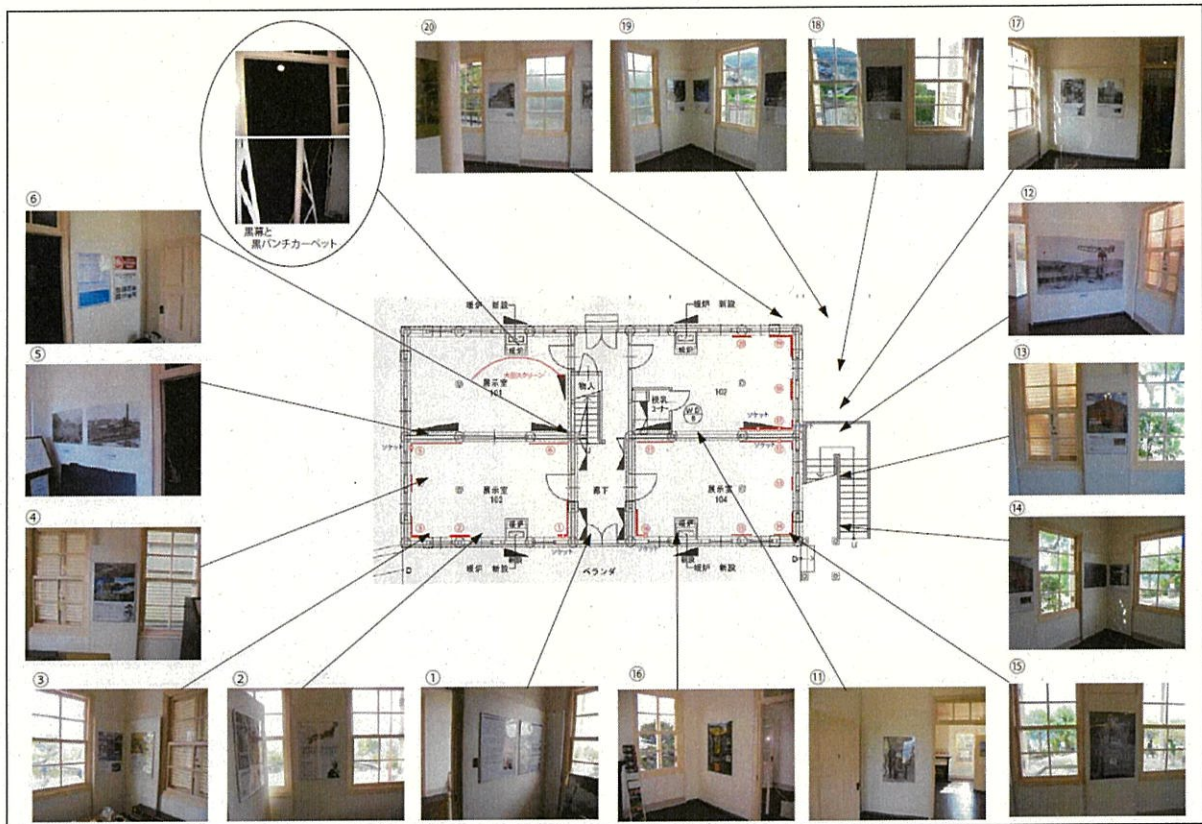
※4 一般補助施設整備等事業債 充当率 90% (交付税措置率 30%)



2014年7月 台風8号による越波状況



端島炭坑跡護岸実施設計の対象範囲



旧三菱ドックハウス世界遺産展示状況(現在)

<p>共通 インタープリテーション 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 顕著な普遍的価値(OUV)と遺産群 ● OUVへのエリアの貢献 	<p>共通 インタープリテーション 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製鉄・製鋼 ● 造船 ● 石炭産業 	<p>サイト別 インタープリテーション 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 23の構成資産の解説と構成資産のOUVへの貢献と国や地方の価値への貢献
--	---	---



旧三菱ドックハウス世界遺産展示リニューアルイメージ

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
132 ～ 133	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-2	【補助】世界遺産保存 整備事業費 端島炭坑	千円 209,300

1 概 要

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」を、世界遺産及び国指定史跡として将来に渡り適切に保存管理していくため、「史跡高島炭鉱跡整備基本計画及び高島炭坑 端島炭坑修復・公開活用計画」に基づき、平成30年度から令和9年度の10年間に渡って優先順位をつけて継続費として整備事業を行う。

2 総事業費 2,641,700千円(※平成30年度当初に継続費を設定)

年度	事業費 [千円]
平成30年度 (2018)	7,400
令和元年度 (2019)	54,700
令和2年度 (2020)	42,300
令和3年度 (2021)	102,200
令和4年度 (2022)	209,300
令和5年度 (2023)	109,500
令和6年度 (2024)	789,600
令和7年度 (2025)	360,000
令和8年度 (2026)	362,500
令和9年度 (2027)	604,200
合 計	2,641,700

3 令和4年度事業

(1) 第3 竪坑捲座跡整備工事及び監理 162,781千円

令和3年度に実施した実施設計に基づき、令和4年度は、明治期の煉瓦構造物であり、世界遺産の価値に貢献する「第3 竪坑捲座跡」が接しているRC造構造物（総合事務所棟）の1階部分の補強工事及び脱落した煉瓦の補充等を行う。

- ア 構 造 煉瓦造2階建
イ 建 設 年 明治29年(1896年)
ウ 整備計画

① 調査	令和元年度
② 基本設計	令和2年度
③ 実施設計	令和3年度
④ 保全工事	令和4～5年度【予定】

(2) 入坑棧橋保存整備のための基本設計及び監理

28,818 千円

平成 28 年度に仮設補強をしている入坑棧橋の現況を把握するために、令和 3 年度に行った測量（構造部等図面作成）、破損・劣化状況など詳細調査結果を基に、保全工事に向けた基本設計を行う。

ア 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建

イ 建設年 昭和 17 年（1942 年）

ウ 整備計画

① 調査	令和 3 年度
② 基本設計	令和 4 年度【予定】

(3) 貯炭ベルトコンベア現況調査

17,701 千円

構造物の現況を把握するために、破損・劣化状況など詳細調査を行う。

ア 構造 支柱 8 か所、鉄筋コンクリート造

イ 建設年 昭和 12 年頃（1937 年）

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	その他	一般財源
千円 209,300	千円 104,650	千円 150	千円 104,500	千円 —	千円 —

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 国庫補助金を除く 2/5 以内

※3 過疎対策事業債 充当率 100%（交付税措置率 70%）



【H30】石積カルテ作成
【R7】石積変位計測調査



【H30~】定点カメラによる資産のモニタリング調査

【R6~】3号棟: 景観形成に貢献しかつ代表的な居住施設遺構であり劣化度から補修の延命効果を見込む

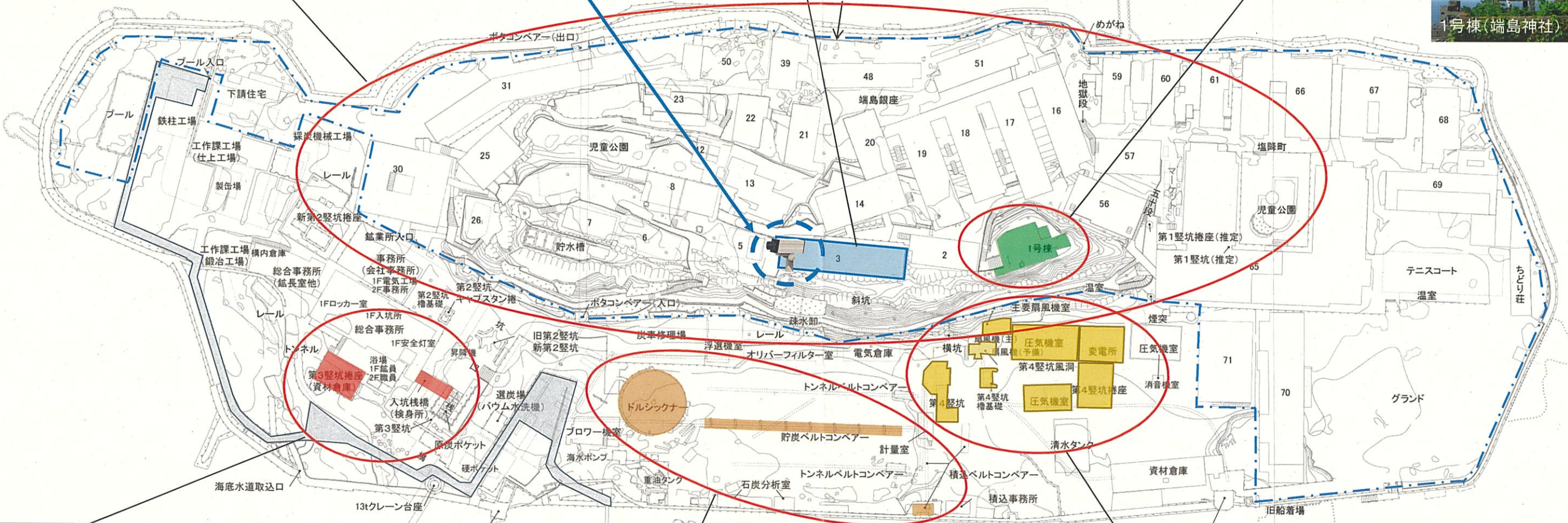


居住施設エリア 3号棟

【R7~】1号棟: 労使協調で作業の安全を祈願した施設であり産業景観形成にも貢献している遺構



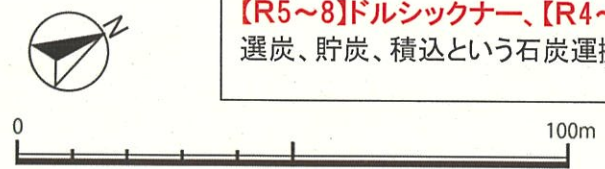
1号棟(端島神社)



【R2~5】第3竖坑捲座跡 : 明治期の生産施設遺構
【R3~6】入坑棧橋(検身所) : 鉱員の入出坑をイメージできる遺構



【R5~8】ドルシクナー、【R4~7】貯炭ベルトコンベア、【R8~10】積込みコンベア:
選炭、貯炭、積込という石炭運搬の流れが理解できる遺構



【R6~9】第4竖坑、【R6~9】槽基礎、【R5~8】第4竖坑捲座跡、
【R8~】変電所、【R9~】圧気機室(大)、【R9~】圧気機室(小)、
【R9~】主要扇風機室、【R9~】第4竖坑風洞:
地上部における石炭の採掘システムが理解できる遺構
(IT技術を活用した理解促進計画を検討)



【凡例】
緑色: 擁壁遺構事業
赤字: 生産施設遺構事業
青字: 居住施設遺構事業
黒字: その他事業

【R1,7】端島炭坑跡遺構状況記録調査(島全体)
【H30~】樹木等伐採

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
132 ? 133	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	3-1	【補助】世界遺産保存整備事業 費補助金 「長崎と天草地方の潜伏キリシ タン関連遺産」	千円 46,280

1 概 要

重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、所有者が実施する整備事業に対する補助を行うもの。

2 事業内容

(1)大平作業場跡整備事業 38,318 千円

民間が所有する重要文化的景観の重要な構成要素かつ市指定史跡である大平作業場跡整備事業に対する補助

ア 事業内容 大平作業場跡活用施設整備工事(Ⅱ期)、工事監理(Ⅱ期)
 イ 補助金名称 指定文化財等保存整備事業補助金 補助率 82.5/100
 ウ 事業費内訳 総事業費 46,446 千円
市補助 38,318 千円(82.5%) 所有者負担 8,128 千円(17.5%)
 国補助(65%) 県補助(14%) 市補助(21%)
 24,907 千円 5,365 千円 8,046 千円

(2)大平開墾地整備事業 5,376 千円

民間が所有する重要文化的景観の重要な構成要素である大平開墾地整備事業に対する補助

ア 事業内容 大平開墾地段畑法面整備工事(Ⅱ期)、工事監理(Ⅱ期)
 イ 補助金名称 指定文化財等保存整備事業補助金 補助率 82.5/100
 ウ 事業費内訳 総事業費 6,516 千円
市補助 5,376 千円(82.5%) 所有者負担 1,140 千円(17.5%)
 国補助(65%) 県補助(14%) 市補助(21%)
 3,495 千円 752 千円 1,129 千円

(3)石積み(ネリベイ)建物整備事業 2,586 千円

民間が所有する重要文化的景観の重要な構成要素である石積み建物の整備事業に対する補助

ア 事業内容 修復工事
 イ 補助金名称 指定文化財等保存整備事業補助金 補助率 82.5/100
 ウ 事業費内訳 総事業費 3,135 千円
市補助 2,586 千円(82.5%) 所有者負担 549 千円(17.5%)
 国補助(65%) 県補助(14%) 市補助(21%)
 1,680 千円 362 千円 544 千円

3 財源内訳

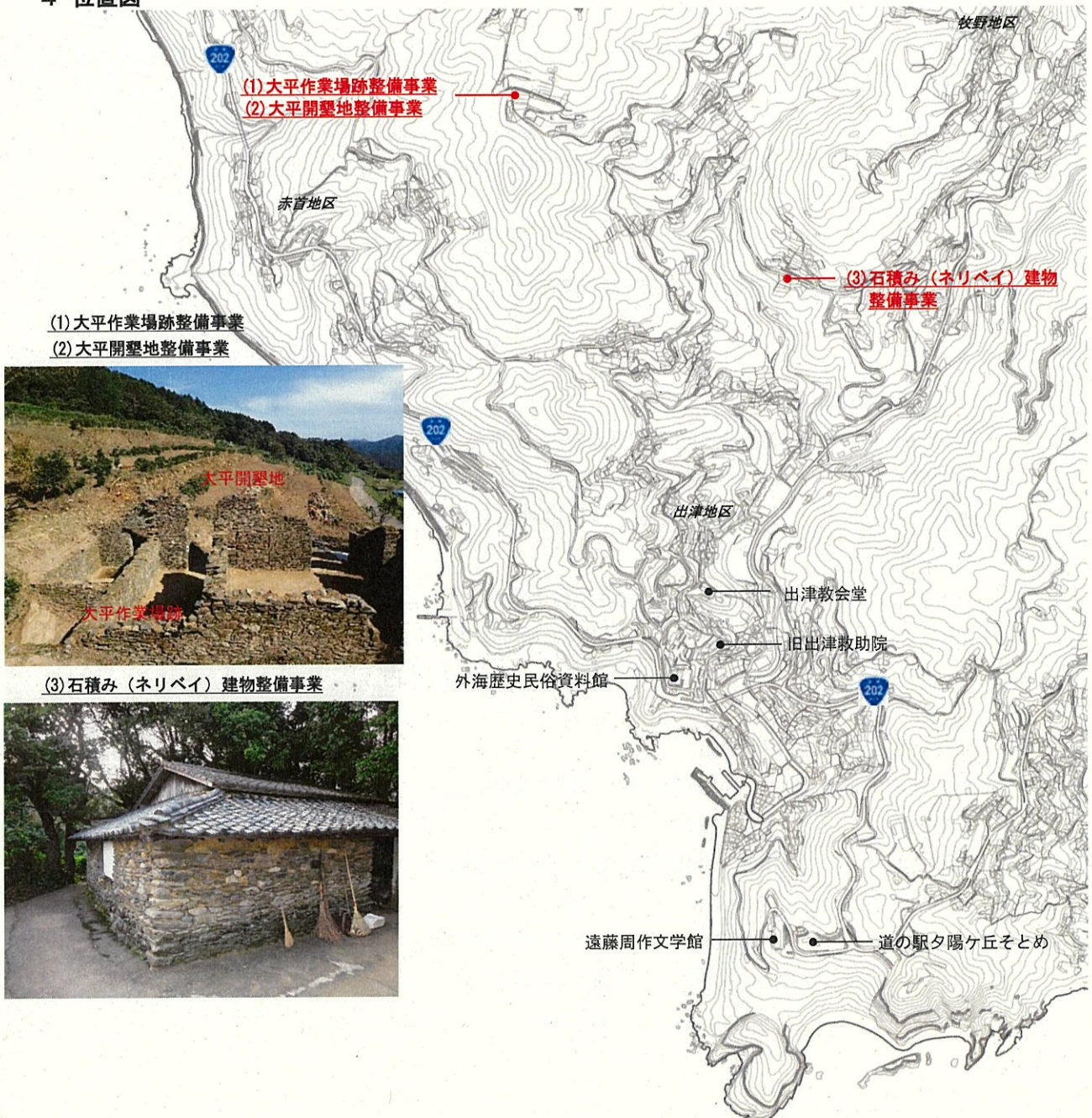
総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳				事業者 負担額 ①-②
		国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源	
千円 56,097	千円 46,280	千円 30,082	千円 6,479	千円 9,700	千円 19	千円 9,817
補助基本額 46,280千円		65%	14%	21%		

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助 補助率 65%

※2 指定文化財等保存整備事業 補助率 14%

※3 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率 70%)

4 位置図



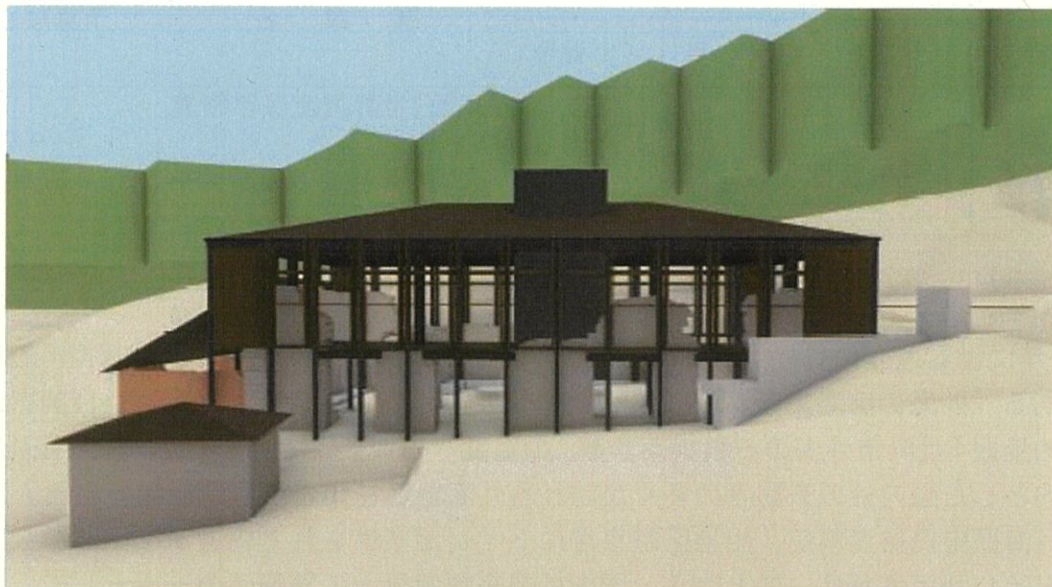
(1) 大平作業場跡整備事業
(2) 大平開墾地整備事業



(3) 石積み(ネリベイ)建物整備事業



5 整備活用イメージ



大平作業場跡活用施設完成予想図(東側立面図)



大平作業場跡活用施設完成予想図(見学ブリッジから大平開墾地を望む)



大平開墾地活用イメージ(お茶摘み体験)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
132 ～ 135	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	4-1	【単独】世界遺産保存整備 事業費 「長崎と天草地方の潜伏キ リシタン関連遺産」	千円 37,600

1 概 要

平成 30 年に世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「外海の出津集落」内にある出津教会堂は、国指定重要文化財及び国選定重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素であり、世界遺産観光・巡礼を目的とした国内外の来訪者の多くが訪れる外海地区を代表する建造物である。

近隣の外海歴史民俗資料館、出地区駐車場にトイレが整備されているが、出津教会堂においてトイレ利用者が多いことから、国内外の来訪者受入態勢整備の一環として、世界遺産観光・巡礼で当該地区を訪問するインバウンドに対応した衛生的かつ利便性の高いトイレを整備する。

2 事業内容

- (1) トイレ整備 36,568 千円

トイレ新設にかかる設計業務委託及び整備工事を実施する。

ア 設置予定場所 出津教会堂境内地(長崎市西出津町)

イ 事業期間 令和4年度

- (2) 灯油倉庫移設補償費 1,032 千円

トイレ新設に伴い、既存の灯油倉庫を移転するための補償費を支出する。

3 出津教会堂敷地内におけるトイレ設置の必要性

- (1) 出津教会堂訪問客におけるトイレ需要の高まり

平成 27 年、西出津地区駐車場に出津教会堂訪問客用トイレを設置したが、出津教会堂までは約 500m 離れており、移動の途中には階段もあることから駐車場内のトイレの利用が少ない状況である。

現状は、観光バスを利用した団体旅行の場合、外海歴史民俗資料館駐車場で下車し、徒歩で出津教会堂へ訪れる人が全体の9割を超えている。また、訪問客は、高齢者が多く、出津教会堂において 1 時間程度滞在しており、出津教会でのトイレ利用者数が、年間で約 10,000 人程度あると推計している。

- (2) 安全安心・快適な訪問客用のトイレの必要性

現在、使用されている出津教会堂隣地のトイレは、教会隣地の階段下に設置されており、多目的機能がなく非常に窮屈な構造になっており、高齢者や外国人等の訪問客にとって使い勝手が悪い状況である。世界遺産の構成資産へ訪問する方々が使いやすいように多目的機能を備えたトイレが必要である。

(3)ポストコロナを見据えた来訪者受入環境の整備

コロナ禍の影響で、訪問客数が大幅に減少している状況であるが、ポストコロナを見据えて、令和4年度に設置工事を行うことで、訪問客数が従前レベルのまでの回復が想定される令和5年度からの安全安心・快適な訪問客受入環境を整える必要がある。

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 37,600	千円 -	千円 -	千円 37,600	千円 -	千円 -

※ 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率 70%)



図1 整備予定地周辺のトイレ設置状況

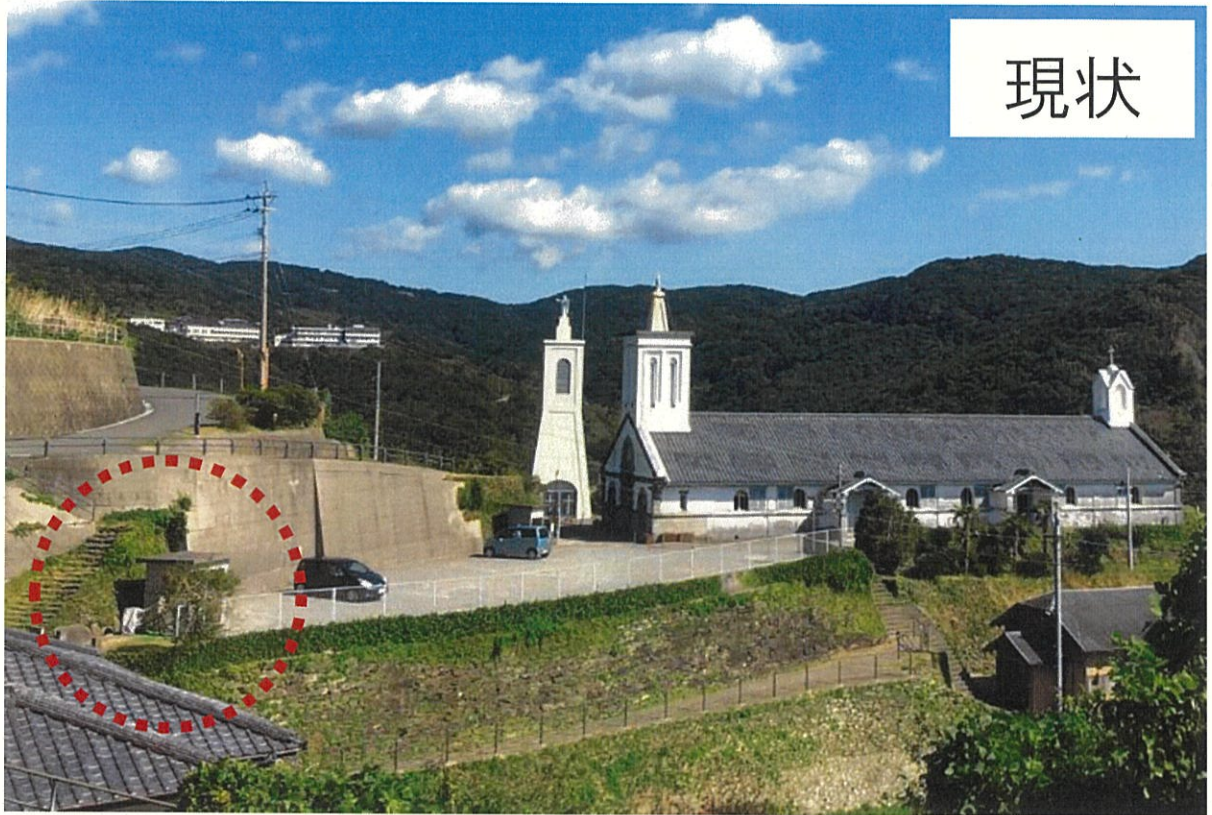


図2 整備イメージ（外海歴史民俗資料館付近からの眺望）

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-2	観光地域づくり推進費	千円 175,065

1 概要

観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす観光地域づくり法人（DMO）において、多様な関係者と連携しながら、地域資源を活かした魅力づくりを行うとともに、観光客や MICE の誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげるもの。

2 令和4年度の実施方針

(1) マーケティング

旅行消費行動の各段階（旅マエ、旅ナカ、旅アト）における検索情報や位置情報などのビッグデータとアンケート調査などの動向調査を組み合わせながら、国内、海外、MICE などターゲットごとに把握、包括的に分析し、その結果を観光・MICE 施策に反映させる。

(2) 国内観光客誘致・受入

令和3年度に構築した「長崎市観光マスターブランド」を柱とし、長崎への訪問意向を喚起するよう、四季折々の長崎ならではの楽しみ方を紹介するシーズンプロモーションを引き続き実施するとともに、コンテンツの充実と SNS や着地型観光パンフレットによる旅マエ・旅ナカの情報発信により、訪問客の満足度向上と消費拡大を図る。

(3) インバウンド誘致

コロナ禍においては、引き続き、関係機関（JNTO（日本政府観光局）、九州観光推進機構、長崎県観光連盟等）と連携しながら、デジタルプロモーションを中心に、コロナ収束後の復活期（2024年以降見込み）に向けた訪日・長崎旅行の期待感の醸成に注力する。

(4) MICE 誘致・受入

DMO が誘致段階から開催までワンストップで支援する窓口として、MICE 開催地としての魅力発信を行うとともに、長崎市、株式会社ながさき MICE と連携し、長崎の魅力を高め、セールス情報を共有しながら、長崎市全体への誘致を推進する。

また、まち MICE プロジェクトにおいては、引き続き、ユニークメニューや体験型コンテンツ等の魅力発信と主催者への具体的な提案を行い、MICE の開催を支援するとともに、参加者による周遊・滞在の促進と消費拡大へ繋げる。

3 事業内容

(1) 委託先 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
(平成 30 年 3 月 30 日 DM0 法人 (観光地域づくり法人) に登録)

(2) マーケティング 18,415 千円

ア 観光動向調査 17,215 千円

(ア) 包括的マーケティングリサーチ 15,015 千円

マーケティング活動の中で発生する課題 (企画・実行・効果検証) に対し、観光客、MICE 参加者・主催者、市民、事業者を対象とした調査やビッグデータの収集など、様々な手法を用いて幅広く調査・分析を行う。

a 市場調査

- ブランド調査 (ブランド認知度・想起率、シーズンプロモーション効果測定等)
- コンテンツ・ターゲット調査 (例: サステナブルツーリズム、重点ターゲット等)
- ソーシャルリスニング調査

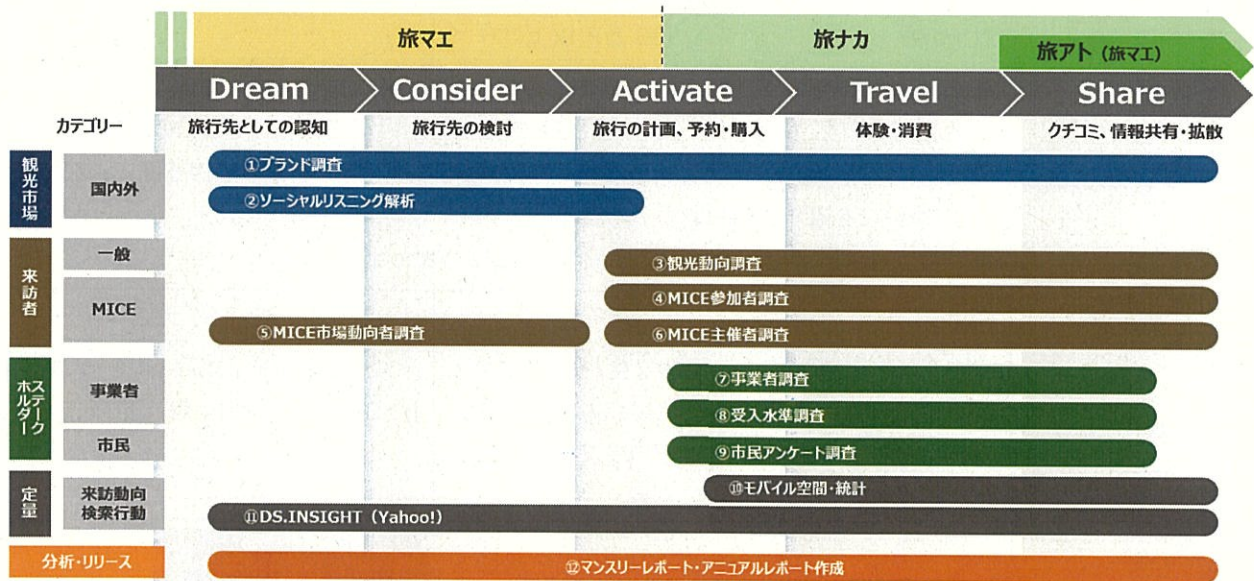
b 来訪者調査 (位置情報データ、アンケートによる観光動向調査)

c MICE 調査 (インセンティブツアー市場動向、参加者・主催者調査)

d 事業者調査 (観光・MICE 関連事業者調査、受入水準調査)

e 市民調査 (おもてなし、観光・MICE 参加意向調査)

f マンスリーレポート等の発行



(イ) イベント実施に伴う調査・分析 1,900 千円
2023 長崎ランタンフェスティバル (集客数調査、経済効果調査)

(ウ) 秋期・春期国道交通量・発地調査 300 千円
長崎市への自動車入込台数及び発地調査

イ ワークショップ・ラボ

1,200 千円

市内事業者及び市民に向けて、DMO が取り組む事業への理解を深めてもらうためのセミナーや、事業者同士の横の交流、事業者の課題解決などのための参加型ワークショップを行い、受入強化や市内ネットワークの強化を図ることで、観光地マーケティング・マネジメントを行っていく。（年 4 回実施）

(3) 国内観光客誘致

59,872 千円

ア デジタルプロモーション

24,200 千円

個人観光客の長崎市への訪問意向を喚起するよう、四季折々の長崎ならではの楽しみ方を紹介するデジタルプロモーションを実施する。

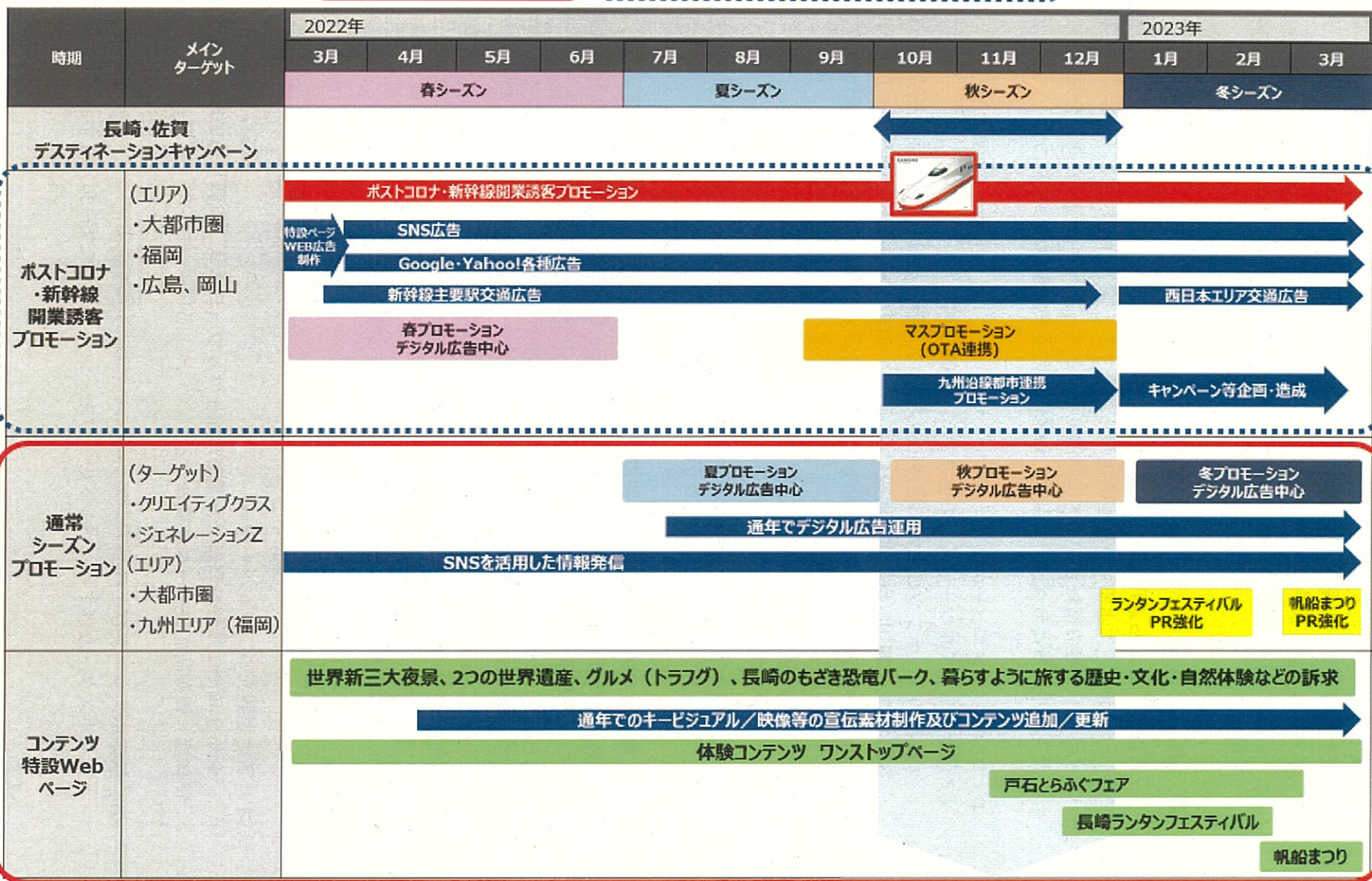
北部九州、広島、岡山、大阪、東京のエリア在住のターゲットごとに対応するコンテンツを、Google や SNS など、それぞれのターゲットに親和性の高い広告媒体で露出することで、効果的なプロモーションを実施する。

ターゲット層 年齢、性別等の 基礎情報に加え、 関心事や行動履歴から、 ユーザーを選定	知識層 (クリエイティブクラス)	富裕層	ジェネレーション Z
	25～35 歳の芸術、観光、グルメ、歴史、ライフスタイルなどに興味関心を持つ世帯年収 500 万円以上の方	学士号・博士号を持つ 30 歳以上で、観光、高級ホテル、旅行に興味関心を持つ世帯年収 1,500 万円以上の方	18～27 歳の長崎市、観光、旅行に興味関心を持つ方
デジタル広告	<ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツ特設ページ、WEB 広告制作 令和 3 年度に構築したブランドコンセプトを核とした世界新三大夜景、2 つの世界遺産、魚（特にフグ）を中心としたグルメ、長崎のもどき恐竜パーク、暮らすように旅する歴史・文化・自然体験などを紹介する特設ページの制作 ●検索連動広告、ディスプレイ広告出稿（Google、Yahoo!） 		
広告媒体	Google ディスプレイ広告	フェイスブック	インスタグラム
観光コンテンツ	歴史、文化散策、ガストロノミー（食事と文化の関係の考察）等の食文化、ワーケーション 等	高級な食・食材、現地でしか味わえないローカル食材、クルーズ体験、ミシュラン 等	夜景、都市景観、カフェ、スイーツ、昭和レトロ、パワースポット 等
特設ページイメージ			

プロモーション実施イメージ

下段 → 令和4年度当初予算

上段 → 令和3年度補正予算(ポストコロナ・経済対策)



- イ WEB サイト保守・管理 6,388 千円
 (ア) 既存サイトの保守・管理 5,706 千円
 (イ) 体験予約・決済サイト運用 682 千円
 旅マエの段階で市内の体験商品の予約・決済ができるサイト（アソビュー）を運用する。
- ウ SNS（オウンドメディア）による情報発信 2,672 千円
 令和3年度から運用開始した SNS「travel_nagasaki」（主：Instagram（日・英）、副：Facebook）による情報発信を継続し、旅マエ・旅ナカにおける「グルメ」「観光」「イベント」等の情報を定期的に発信することで、訪問客の増加と周遊を促す。デジタル広告とも連携するなど、効果的・効率的な情報発信を行う。
- エ コンテンツメニューの強化 7,700 千円
 (ア) サステナブルツーリズムの促進 4,400 千円
 既存のコンテンツの高付加価値化や SDGs など新たな切り口を加え、見せ方を工夫することで、UNWTO（世界観光機関）や JNTO で取組みを強化しているサステナブルツーリズム（地域の「環境」「文化」「経済」を守り・育み、持続可能な観光まちづくりを実現する）に取り組む。
 【実施内容】
 ・企画設計
 ・マスターブランドに即したコンテンツのツーリズム化、スタイル造成
 ・ターゲットに即したコンテンツの高付加価値化
- (イ) 旅ナカ予約体験コンテンツ造成 3,300 千円
 体験コンテンツは磨き上げ・拡充を随時行っているが、数日前までの予約が必要なメニューが多く、旅ナカの情報発信から予約までをとりこぼすケースがあった。そこで、予約不要又は当日予約可能、最小催行人数 1 名～など対応の幅を広げることで、旅ナカでの行動変容にも対応可能となり、滞在時間と消費の拡大を図る。また、これまでよりもフレキシブルなコンテンツメニューとして、BtoB セールス（旅行会社、ランドオペレーター、民間企業研修、修学旅行、MICE 等）にも活用していく。
 【実施内容】
 ・事業者意向調査及び企画設計（コンテンツ評価）
 ・コンテンツタリフ（営業シート）作成
 ・プロモーションツール作成
- オ 着地型観光パンフレット作成 4,517 千円
 令和3年度に情報を刷新した長崎市観光マップ（日本語・英語）の印刷及び繁体語・簡体語・韓国語版のデータを制作する。
- カ 誘客ポスター及びイベントポスター・パンフレット作成 5,785 千円
 観光ポスター及び主要イベントのプロモーション用ポスターを作成する。

キ 修学旅行誘致	3,570 千円
(ア) セールスツール、動画制作	2,420 千円
(イ) 修学旅行ナビ本作成	1,150 千円

ク パンフレット等発送 2,240 千円
 各種パンフレット及びポスターの関係各所への周知や観光客への発送・在庫管理等を行う。

ケ セールス等旅費 2,800 千円
 国内及び修学旅行のセールスを行う。

(4) インバウンド誘致 2,168 千円

コロナ禍における渡航制限のため、インバウンドの需要が見込めない状況であることから、関係機関（JNTO、九州観光推進機構、長崎県観光連盟等）と連携しながら、ターゲットとする国・地域を見極めつつ、訪日（長崎）観光への訴求力を高める取組みを引き続き行う。

現在 DMO 単独で運用している多言語 WEB サイトを見直し、長崎県観光連盟が運営する観光サイト「DISCOVER NAGASAKI」（全国 4 位の閲覧数）とページ連携することで、より多くの方への発信が可能となる。

なお、これまで 10 言語（英語・韓国語・繁体語・簡体語・フランス語・スペイン語・オランダ語・イタリア語・ベトナム語・タイ語）であったものを、ターゲット市場である東アジアを中心とした 4 言語（英語・韓国語・繁体語・簡体語）に絞って移行する。

また、連盟のプラットフォームを活用し、台湾の最大手訪日 WEB メディア「樂吃購（ラ－チーゴー）」において台湾向けプロモーションを実施しており、引き続き、ターゲットを絞って共同プロモーションを実施する。

The image shows a screenshot of the 'Lechi-go' website, which is a travel platform for Nagasaki. The header features the '樂吃購!日本' logo and navigation tabs for various regions: 群馬, 北海道, 東北, 関東, 中部, 関西, 中国, 四国, 九州, 沖縄. Below the header is a search bar and a main banner image of Nagasaki with the text '長崎'. Underneath the banner are four circular icons representing different travel services: 飛行機 (Flight), 電車 (Train), 自転車 (Bicycle), and 観光バス (Tourist Bus). Below these icons are four article thumbnails with titles in Chinese, such as '再探・再訪・再遊・再訪・再遊・再訪' and '日本最南端の島嶼・南緯 28 度 30 分'.

穿過茂盛的花園走進「Café OZIMOC」，便會被內部沉靜、悠閒的空間感所吸引，而該處為何從原本居住的東京搬來此處，老闆小瀧先生表示當初在找地點時，因為迷路而到了這裡，卻反而覺得「就是這裡」了，便著手開始將這棟120年古民家，慢慢打造成自己夢想的咖啡館。一花就是10年，在如此有溫度的空間中，品嚐了小瀧太太手作的「法式鹹派與沙拉」，再配上一杯黑咖啡，長崎的早晨，美好得讓人也想移住此地了呢！



店內還有許多當地攝影、創作藝術作品販售



品嚐完咖啡，再到世界遺產「大野神社」古民家

(5) MICE 誘致・受入

5,175 千円

DMO が、長崎市及び株式会社ながさき MICE と連携し、MICE 開催地として長崎の魅力を高め、セールス情報を共有しながら、長崎市全体への誘致を促進する。また、MICE 開催による効果をまち全体に波及させる「まち MICE」の取組みについて、これまで作成したユニークベニューや体験プログラムのガイドブック等を活用し、MICE 主催者へ具体的に提案することで、MICE 参加者をまちなかに呼び込み、滞在時間と消費の拡大につなげる。

ア	商談会参加、首都圏セールスに係る旅費等	2,566 千円
イ	キーパーソン受入に係る経費	870 千円
ウ	JCCB※、ICCA※年会費等	809 千円
エ	ユニークベニュー等ガイドブック・チラシ作成	630 千円
オ	国際会議主催者向けプロモーション動画の更新	300 千円

※ JCCB・・・日本コンgres・コンベンション・ビューロー

※ ICCA・・・国際会議協会



(6) 観光地域づくり推進事業に係る人件費・管理費等

89,435 千円

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 175,065	千円 78,750	千円 —	千円 —	千円 —	千円 96,315

※ 地方創生推進交付金

5 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、旅行形態や安全・安心に対する考え方が大きく変化している。そのような中、交流人口の拡大による地方創生を実現するためには、DMOが観光地域づくりの舵取り役を担い、旅行者のマーケットに柔軟かつ的確に対応するとともに、地域の多様な関係者と連携して観光客やMICEの誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげる必要がある。

(2) 効果

ア 継続したデータ収集・分析等により、訪問客のニーズを客観的に把握することで、コロナ禍における事業計画を適宜見直しながら戦略的な事業実施が可能となる。

イ 多様な関係者と戦略を共有し、効果的なプロモーション・セールスを実施することで、訪問客の観光消費を促すとともに、域内調達率を高め、経済効果を地域に波及することができる。

ウ DMOが観光地域づくりの舵取り役を担うことで、観光地域づくりを継続的かつ効果的に実施することができる。

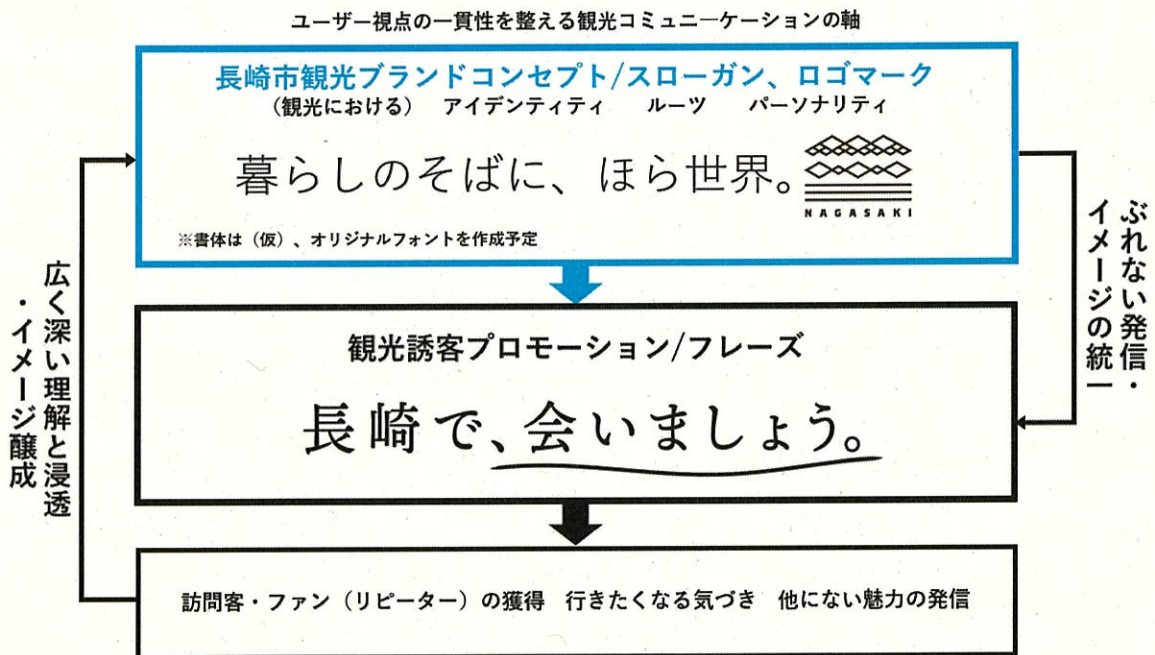
《参考》

長崎市観光マスターブランドの構築

令和3年度にDMOにおいて、長崎市が誇る「歴史・文化」を中心に、「食」、「海」、「平和」など普遍的な価値を象徴し、国内、インバウンド、MICE、修学旅行全ての誘客プロモーションに活用していく「観光マスターブランド」の構築に取り組んできた。

構築にあたっては、長崎市観光マスターブランド検討委員会を3回開催するとともに、市民ワークショップの開催や、訪問客、市民及び市内事業者を対象としたニーズ調査と受容調査を行うなど検討を重ねてきた。

今後は、構築したブランドを柱とし、一貫性を持って、長崎市への訪問意欲を喚起するプロモーションを実施していく。



ブランドスローガン

長崎市の普遍的な観光の魅力を含む言葉

長崎市民が「そうそう、長崎市ってそういう街だよ」と思う

市外の人が「へえ、長崎市って、そういう街なんだ」と思う

誘客プロモーションフレーズ

長崎市の観光しに行きたいと思わせる言葉や施策

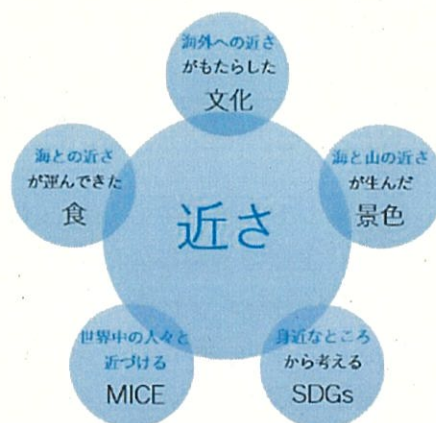
市外の人が「そんな魅力があるなら行ってみたい」と思う

● ブランドコンセプトの考え方

<スローガン>

暮らしのそばに、ほら世界。

長崎市にもともとある文化のすぐそばに世界の文物が混じり合った建物や習慣があり、地理的要因だけにとどまらない、あらゆる距離の近さがある街を表している。



<ロゴマーク>



下部に「港・海・海流」を表すボーダー、上部に夜景の美しい「稲佐山・風頭山・鍋冠山」の斜面にあふれる街並み、それらに挟まれるようにこの特徴ある地形から生まれた「和・華・蘭文化」をつないで融合した長崎特有の文化を表現している。

● プロモーションフレーズの検討

長崎で、会いましょう。

DMOにおいて、以下の5つの視点で、長崎を訪問するきっかけをつくるプロモーションフレーズを選定した。

- ① 共感性の高いもの
- ② 長く使え、飽きられないもの = 価値訴求の蓄積が可能なもの (×消費)
- ③ 長崎の重層的で多様性のある世界感を様々な形で伝えることができるもの
- ④ 長崎が国と国、文化と文化を繋いだ出会いの街である本質を捉えたもの
- ⑤ 「行かないと出会えないリアル」の楽しさを伝えるもの

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-3	MICE推進費	千円 2,022

1 概要

出島メッセ長崎を中心とした MICE 誘致を強化するとともに、MICE 開催の効果を最大化するため、主催者や参加者による消費を促し、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

DMO 及び出島メッセ長崎の施設運営者である（株）ながさき MICE と密に連携しながら、経済効果が大きく、都市ブランドの向上に寄与する政府系会議（G7 等をいう。以下同じ）、国際会議等を誘致する。

2 事業内容

- (1) MICE 誘致・セールス活動等 1,637 千円
- ア セールス旅費等 982 千円
政府系会議・国際会議等の誘致・セールスに係る旅費等（延べ 14 人）
 - イ キーパーソン招聘 521 千円
MICE 主催者等キーパーソンの市内視察に係る費用弁償、食糧費等（延べ 6 人）
 - ウ 情報収集・研修に係る旅費等 134 千円
日本政府観光局や観光庁が開催する会議参加等に係る旅費・出席負担金（延べ 2 人）
- (2) その他事務費（タクシー借上料、一般消耗品費等） 385 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 2,022	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 2,022

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

政府系会議、国際会議等の誘致にあたっては、地元自治体及び国の関わりが必要不可欠であることから、DMO 及び（株）ながさき MICE と連携しながら、誘致に取り組む必要がある。

(2) 効果

政府系会議、国際会議等は、国内外から多くの訪問客を呼び込むとともに、小規模でも開催期間が長いことから経済波及効果が高く、長崎市の都市ブランド向上にもつながる。また、MICE 開催に伴い発生する多様な業務を市内事業者が受注することで、地域経済の活性化を図ることができる。

5 MICE 誘致・受入関連予算

関係機関	役割等	関連事業・予算額
長崎市	<ul style="list-style-type: none"> 政府系会議、国際会議等の誘致を行う。 市役所内の各部局の業務や関係団体に関連した大会、会議等の誘致を行う。 	MICE 推進費 (2,022 千円)
DMO	<ul style="list-style-type: none"> 長崎市全体への MICE 誘致・受入の中心的役割を担う。 MICE をまち全体で受け入れられるよう受入態勢の充実を図る。 	観光地域づくり推進費（事業費） (175,065 千円) コンベンション開催費補助金 (12,500 千円)
(株)ながさき MICE	<ul style="list-style-type: none"> 出島メッセ長崎の施設運営者として、施設の維持管理業務及び運営・MICE 誘致業務を行う。 	(株)ながさき MICE の維持管理費及び運営・MICE 誘致業務費にて対応

【参考①】 G7 関係閣僚会合誘致の状況

「G7 関係閣僚会合」は主要7ヶ国及び EU（欧州連合）の担当大臣が一堂に会し、その分野における国際的な課題について議論する場で、G7 サミット（主要国首脳会議）に連動して開催されている。国内の開催地は、令和4年6月にドイツで開催される G7 サミットまでに決定する方針が示されている。

長崎県と長崎市は令和5年に日本で開催される「G7 関係閣僚会合」の誘致に取り組むこととし、令和3年12月22日に外務省に対して誘致を希望することを表明している。

G7 関係閣僚会合の誘致にあたっては、長崎県・長崎市が一体となり、地元経済界、大学などの関係機関と連携し、オール長崎で誘致を進めていきたいと考えている。

想定時期	想定手続・取組み等（●：国、省庁 ○：自治体）
令和3年10月1日	●外務省より自治体へ希望調査の実施に係る通知
令和3年12月22日	○外務省に連絡を入れた上で、誘致計画案概要及び調査項目票の提出
令和4年1～3月頃	●外務省、警察庁による現地視察
令和4年春頃	○知事、市長等による外務大臣等への要望
令和4年6月～	●サミット開催地の決定 ●関係閣僚会合開催地の決定
令和4年夏頃 (開催1年前)	○事務局の立ち上げ ○(仮称) G7 サミット関係閣僚会合推進協議会の立ち上げ
令和4年夏頃～ 令和5年春～夏頃	●○開催に向けた準備、調整、広報、機運醸成等
令和5年春～夏頃	●関係閣僚会合の開催

【今後の想定スケジュール】

※開催地に決定した場合は、別途補正予算を計上することを予定している。

【参考②】出島メッセ長崎の運営状況等

1 誘致状況

開業後1年間の誘致状況（令和3年11月～令和4年10月）【11、12月は実績値】

種別	目標利用者数	利用想定人数※ 達成率	利用想定人数※ 達成率
		R3.11.12時点	R4.2.10時点
学会	50,800人	約28.2千人	約21.2千人
		約56%	約42%
一般会議	155,500人	約65.3千人	約68.2千人
		約42%	約44%
イベント 展示	404,000人	約522.5千人	約538.2千人
		約129%	約133%
合計	610,300人	約616.0千人	約627.6千人
		約101%	約103%

※利用想定人数…決定・内定及び日程調整中の案件について、主催者の参加見込人数から算出

2 開催実績（令和3年11月～12月）

※開催実績については主催者確認中の催事もあり、今後変更になる場合があります。

(1) 催事種別の件数及び参加人員

催事種別	件数		参加人員	
	件数(件)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
一般会議等	318	91.4%	15,846	13.7%
展示・イベント等	19	5.4%	96,685	83.6%
学会	11	3.2%	3,115	2.7%
総計	348	100.0%	115,646	100.0%

(2) 人数規模別の件数及び参加人員

人数規模別	件数		参加人員	
	件数(件)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
100人未満	292	83.9%	4,676	4.0%
100人以上300人未満	31	8.9%	5,047	4.4%
300人以上500人未満	7	2.0%	2,598	2.2%
500人以上～1,000人未満	6	1.7%	3,933	3.4%
1,000人以上～2,000人未満	5	1.5%	6,238	5.4%
2,000人以上	7	2.0%	93,154	80.6%
総計	348	100.0%	115,646	100.0%

(3) 催事規模別の件数及び参加人員

催事規模別	件数		参加人員	
	件数 (件)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
県外	47	13.5%	17,264	14.9%
県内	77	22.1%	95,365	82.5%
市内	224	64.4%	3,017	2.6%
総計	348	100.0%	115,646	100.0%

(4) 出島メッセ長崎で開催された主な催事 (令和3年11月~12月)

ア 学会等

- ・第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
- ・第13回日本 Acute Care Surgery
- ・第20回日本先進糖尿病治療研究会/第18回1型糖尿病研究会
- ・令和3年度鐘韻会
- ・第80回九州内視鏡技師研究会

イ 一般会議等

- ・一般社団法人全国スーパーマーケット協会第7回全国大会長崎大会
- ・国際ロータリー第2740地区2021-2022年度地区大会
- ・第二種電気工事士技能試験
- ・2021長崎県中小企業家同友会 第27回 経営フォーラム in 出島
- ・海洋教育フォーラム

ウ 展示・イベント等

- ・DEJIMA 博
- ・クリスマスワイヤーマルシェ 2021
- ・長崎 MICE EXPO
- ・水産加工振興祭
- ・BLAZE UP NAGASAKI 2021

(5) まん延防止等重点措置期間中の状況 (令和4年2月3日現在)

ア 開催された催事

看護師、介護福祉士等の資格試験、企業の会議等 58件

イ キャンセルになった催事

キャンセル数 件数 35件/当初予約件数 93件 キャンセル率 37.6%

人数 2,640人/当初参加者数 13,000人 キャンセル率 20.3%

キャンセル料 未徴取 (試算額: 3,365千円)

3 運営状況

(1) 出島メッセ長崎の収入・利用状況等

開業した11月と12月の催事が順調に開催され、施設の収入は見込みを上回っている。

11月、12月の2か月間の収入は、事業者提案の11月～3月の5か月間の収入を超えており、令和3年度については、まん延防止等重点措置期間中のキャンセルの影響による長崎市からの補填はない状況である。

ア 収支計画と実績(令和3年11月1日～令和4年1月31日) (千円)

	項目	R3年11月～R4年3月	R3年11月～R4年1月
		計画	実績
収入 (ホール・ 会議室)	利用料金収入	59,000	89,453
	附属設備利用料金収入	14,900	21,137
	その他収入	1,700	899
	計	75,600	111,489
収入 (駐車場)	利用料金収入	35,000	13,193

イ ホール・会議室の稼働率(稼働日数÷開館日数)

	R3年11月	R3年12月	R4年1月	3か月平均
イベント・展示ホール	62.1%	50.0%	11.8%	41.3%
コンベンションホール	65.5%	44.8%	47.1%	52.4%
会議室	60.3%	36.0%	43.0%	46.4%

ウ 駐車場の利用台数 (台)

	R3年11月	R3年12月	R4年1月	3か月平均
利用台数	4,134	3,085	2,670	3,296
1日平均利用台数	137.8	99.5	86.1	107.8

(2) 駐車場の社会実験

ア 社会実験概要

(ア) 目的

出島メッセ長崎の駐車場において、出島メッセ長崎駐車場の利便性の向上を図り、今後の料金設定の参考とするため、社会実験を実施するもの。

- (イ) 当初期間 令和4年1月1日(土)～令和4年2月13日(日)の土日祝日
 変更期間 令和4年1月1日(土)～令和4年6月26日(日)の土日祝日

(ウ) 料金 土日祝日・特定日の1時間の料金を600円から390円にする。

			現行	社会実験
土日祝日 特定日	基本料金	最初の1時間	600円	390円
	延長料金	20分毎	200円	130円
	最大料金	1日あたり	なし	なし
平日	基本料金	最初の1時間	390円	/
	延長料金	20分毎	130円	
	最大料金	1日あたり	1,500円	

イ 期間変更の理由

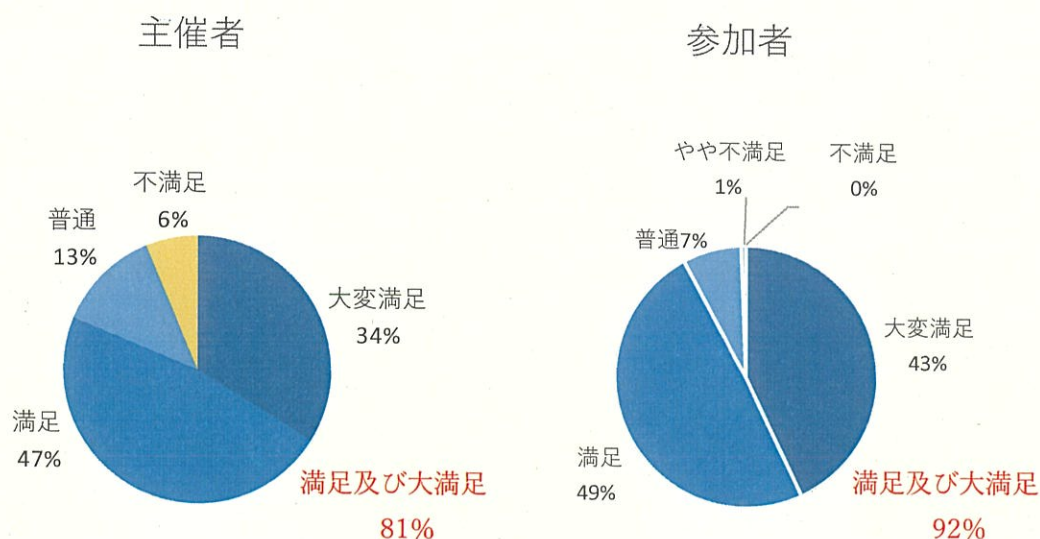
当初の社会実験実施期間がまん延防止等重点措置期間と重なり、一定見込んでいた駐車場の利用が少ない状況となっていることから、春先に予定されている大型の催事等での利用の状況や、道路混雑の状況を見ながら料金設定を検討したいとの提案を指定管理者から受けたため。

4 運営上の意見・対応

(1) 主催者・参加者の意見とその対応

11月から12月に開催した催事的主催者及び参加者に満足度アンケートを行った結果、ともに80%以上の方から大変満足・満足との評価を受けた。

一方、主催者アンケートにおいて不満足という回答が6%あり、主な意見として、施設への問い合わせ等での電話対応がスムーズではなかった、設備の不具合によりリハーサルが満足に行えなかった、スタッフから施設利用方法の説明が正確ではなかった等が挙げられ、開業して間もないスタッフの不慣れな対応が原因となっている。これを改善するため、(株)ながさきMICE、(株)コングレ、日本管財(株)、長崎市により構成する「お客様サービス向上委員会」を設置し、現在サービス向上を図る取組みを進めている。



5 まちMICEプロジェクトの取組み状況

(目的及び事業概要)

MICE開催を契機として、まちの中に人を呼び込み、滞在時間と消費の拡大につなげ、MICE開催による効果をまち全体に波及させることを目指す。

・青字・・・R2実施
 ・赤字・・・R3実施
 ・緑字・・・今後予定

ユニークベニュー、エクスカーショ、飲食、宿泊、お土産はDMOが主体となり進めていく。

ユニークベニュー

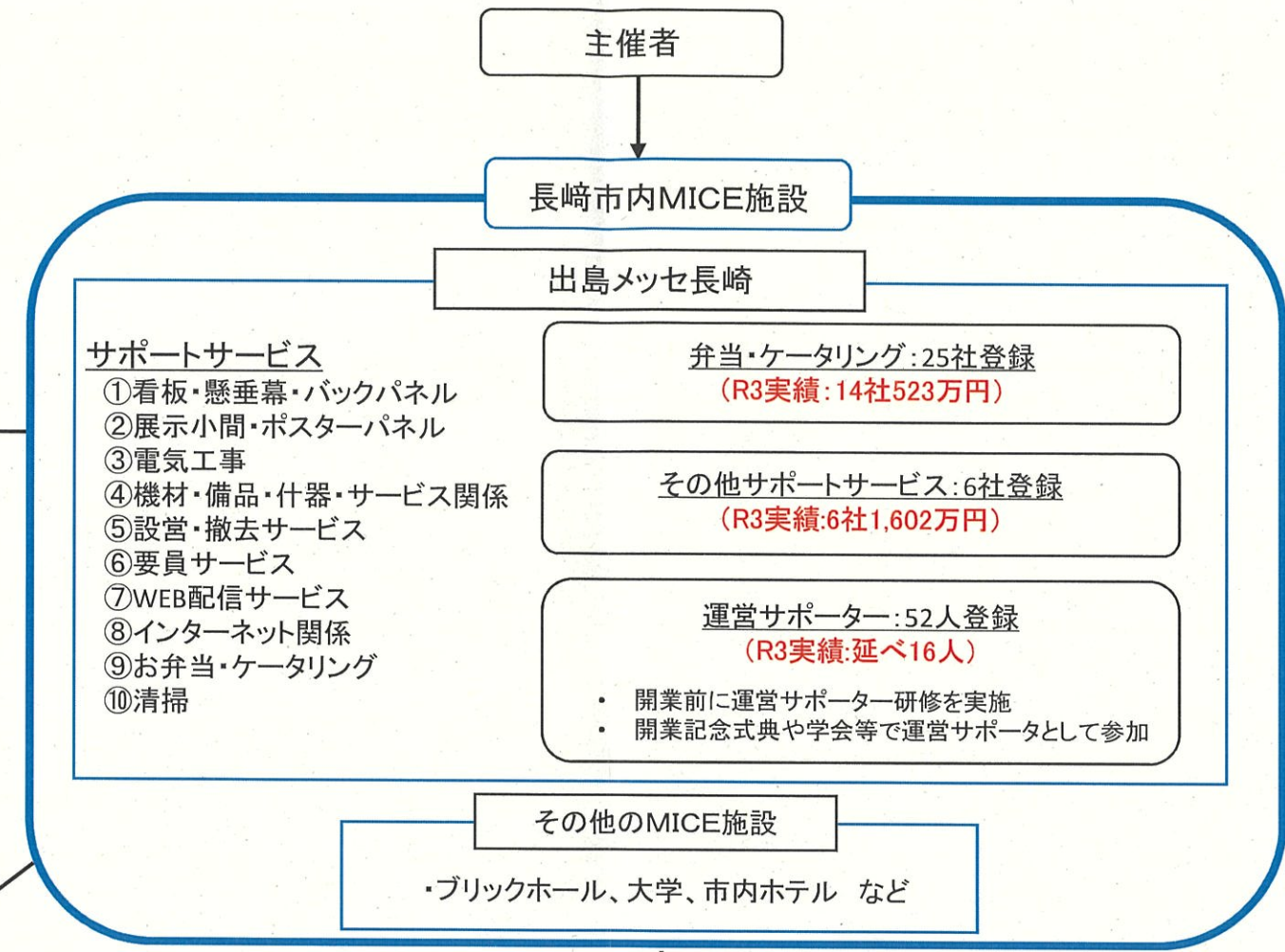
- ◆ユニークベニューガイド
R2: 18商品(冊子)
R3: 20商品(2商品追加)
- ◆ユニークベニューモデルプラン
R3: 6商品(チラシ)
13商品(冊子作成)

R3実績 1件(孔子廟)
 ・128団体に対してプランを提案
 ・主催者内覧の際に配付(約1,000人)

エクスカーショ(体験コンテンツ)

- ◆体験コンテンツカタログ
R2: 30商品(冊子)
R3: 33商品(3商品追加)
- ◆エクスカーショおすすめプラン
R3: 12商品(チラシ)
- ◆観光マップ
R2: リニューアル

R3実績 120名(ゴルフ、夜景観賞)
 ・128団体に対してプランを提案
 ・主催者内覧の際に配付(約1,000人)



DMO作成ガイドブック・カタログ(再掲)

- ・プランニングガイド(R2)
- ・ユニークベニューガイド(R2)
- ・体験コンテンツカタログ(R2)
- ・サービスカタログ(R2)
- ・観光マップ(R2)
- ・コンベンション・宿泊施設ガイド(R3)

宿泊

- ◆コンベンション・宿泊施設ガイドブック
R3: リニューアル(47施設、27ホテル)

お土産

- ◆飲食店情報システム 33店舗
- ◆サービスカタログ R2: 10店舗

R3実績 ・128団体に対してシステムを紹介
 ・主催者内覧の際に配付(約1,000人)

飲食

昼

- ◆飲食店情報システム 140店舗(うち、特典61店舗)
- ◆サービスカタログ R2: 6店舗
- ◆駅周辺飲食店MAPの作成(駅前商店街のTeam Nagasaki Safety加盟店32店舗を掲載予定)
- ◆中華街MAPの作成(案)

夜

- ◆飲食店情報システム 140店舗(うち、特典61店舗)
- ◆サービスカタログ R2: 6店舗
- ◆二次会MAPの作成(案)
- ◆商店街、バーテンダー協会等との連携(案)
- ◆料亭プランの作成(案)

※令和3年10月より出島メッセ長崎のMICE開催情報を毎月メール送付

<DMO取組み方針>
 飲食店情報システム「最初の晩餐」に、主催者のニーズに対応できるよう、エリアやカテゴリーなど各項目ごとにMAPが出力できる機能を追加する。(紙・デジタル両方に対応)
 また、利用実績を把握できるよう検討する。

催事名称	申込者名	人数
デジマ博	株式会社長崎国際テレビ	28,500
クリスマスマルシェ21	株式会社ながさきMICE（株式会社コングレ）	23,654
長崎MICE EXPO	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	17,300
水産加工振興祭	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	12,500
BLAZE UP NAGASAKI 2021	株式会社長崎国際テレビ	6,800
フジオカTOYOTA車展示販売会	株式会社一広	2,200
ながさきICTフェア2021	長崎県	2,200
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	長崎県五島中央病院	1,620
風に向かって立つ	長崎大学熱帯医学研究所	1,300
クジラってどんな生き物？～クジラや魚は大切な水産資源～	公益社団法人日本水産資源保護協会	1,200
TREASURE'21 第3回 長崎県バスケットボール協会 3×3GAMES	公益社団法人 松園尚己記念財団	1,100
出島メッセ長崎・ヒルトン長崎・長崎放送 合同記念式典 市民開放	長崎市	1,018
第13回日本Acute Care Surgery	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	807
一般社団法人全国スーパーマーケット協会 第7回全国大会 長崎大会	一般社団法人全国スーパーマーケット協会	750
国際ロータリー第2740地区 2021-2022年度 地区大会	国際ロータリー第2740地区 2020～2021年度ガバナー事務所	700
第二種電気工事士技能試験	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	585
出島メッセ長崎・ヒルトン長崎・長崎放送 合同記念式典	長崎市	570
2021浜屋 冬の特選会	株式会社 浜屋百貨店	521
第一種電気工事士技能試験	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	428
2021長崎県中小企業家同友会 第27回 経営フォーラム in 出島	長崎県中小企業家同友会	377
一般社団法人全国スーパーマーケット協会 第210回理事会 (CH1/4)・SMTS・DTS合同 第2回実行委員会 (CH3/4)	一般社団法人全国スーパーマーケット協会	350
引退会見	株式会社Vファーレン長崎	350
長崎の「保育力」向上講演会～保育の質を向上させるための働きやすい職場づくり～	長崎市こども部幼児課	315
「絶対に考えないといけない in NAGASAKI」～Be the Change～	一般社団法人長崎青年会議所	300
田上市長の市政報告2021	長崎地域力研究会	270
長崎開港450周年記念 海洋教育フォーラム・～長崎から世界へ、海でつながる長崎と世界～石黒鎮雄博士がつなぐ英国と長崎	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	266
第20回日本先進糖尿病治療研究会/第18回1型糖尿病研究会	長崎大学	264
2022年度ひぐちグループ 事業計画発表会（11月25日）	ひぐちグループ	230
2022春闘勝利！自治労九州地連青年女性春闘討論集会	株式会社日本旅行長崎支店	217
2022春闘勝利！自治労九州地連青年女性春闘討論集会	株式会社日本旅行長崎支店	217
長崎開港450周年記念連携事業 「世界夜景サミット」	一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー	210
2022年度ひぐちグループ 事業計画発表会（11月22日）	ひぐちグループ	210

催事名称	申込者名	人数
開港5都市景観まちづくり会議2021長崎開港450周年記念大会	開港5都市景観まちづくり会議2021長崎開港450周年記念大会実行委員会	200
Save Gunkanjima展 アート&シンポジウム	株式会社ユニバーサルワークーズ	200
杉浦総節範幸座	個人名申込(己書)	190
長崎総合科学大学 新技術創生研究所 公開講演会	長崎総合科学大学	185
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング	株式会社Vファーレン長崎	170
長崎開港450周年記念講演会『キリシタンの時代の長崎におけるポルトガル人の存在』	長崎市	160
第108回長崎整形外科懇話会 長崎大学医学部整形外科同門会総会	長崎大学整形外科	150
長崎サミット	長崎都市経営戦略推進会議	130
株式会社福德不動産 社内合同説明会	株式会社福德不動産	128
長崎MICE誘致推進協議会	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	128
健康長寿日本一長崎県民会議	長崎県国保・健康増進課	127
ケータリング	株式会社ながさきMICE(株式会社コングレ)	125
令和3年度 鐘韻会	鐘韻会事務局	120
九州ブロック看護管理者等政策セミナー	長崎県看護連盟	120
株式会社ビーンズフィルム撮影会	株式会社ビーンズフィルム	120
ケータリング	株式会社ながさきMICE(株式会社コングレ)	108
奄美市立朝日中学校修学旅行 被爆体験者講話	個人名申込(日本旅行鹿児島支店)	102
株式会社シーエーシー長崎NBCオフィス開所式	株式会社マルクスインターナショナル	100
DEJIMA博 控室②	株式会社長崎国際テレビ	100
宿泊税説明会	長崎市観光政策課	100
SDGs高校生サミットin長崎	SDGs認定機構	100
NTT GROUP COLLECTION 2021	西日本電信電話株式会社	100
きものやまと成人式前撮り撮影会	株式会社K・Wプロジェクト	87
5Gイベント	ルーフトビック	85
令和3年度長崎まごみ減量・リサイクル推進功労者及び長崎市「街を美しくする運動」推進協議会合同表彰式	長崎市「街を美しくする運動」推進協議会	80
PORSCHE356HOLIDAY2020+1 IN NAGASAKI	ザマーカススクエア長崎	70
(一社)全国専門能力検定協会SDGs認定機構主催 SDGs地方創生ビジネスチャンス全国大会in長崎	SDGs認定機構	70
長崎商工会議所役員会	長崎商工会議所	70
令和3年度長崎MICE事業者ネットワーク総会	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	70
親子で学ぶアンガーマネジメント	日本アンガーマネジメント協会九州沖縄支部	68
長崎南倫理法人会 女性セミナー	長崎南倫理法人会	65
十八親和銀行従業員組合 第2回中央委員会	十八親和銀行従業員組合	60
長崎駅ビル関係式典	JR九州エージェンシー株式会社	60
白南風小学校 平和学習	個人名申込	56
第41回長崎脳神経外科研究会	長崎大学脳神経外科	53

催事名称	申込者名	人数
学術変革領域(A)物質共生 第1回領域会議	個人名申込(長崎大学 薬学部)	52
会議	J R九州労組	52
第80回九州内視鏡技師研究会	個人名申込(長崎大学病院 ME機器センター)	50
己書 万人楽門下生作品展	個人名申込(己書)	50
中小企業長崎懇話会 総会	中小企業長崎懇話会	50
長崎県新幹線開業効果拡大推進本部会議	長崎県新幹線対策課	50
九州地区信用保証協会協議会代表者会議	長崎県信用保証協会	50
一般社団法人長崎青年協会11月臨時総会・定時例会	一般社団法人長崎青年協会	50
第77回定期大会	長崎交通労働組合	50
退職予定者説明会	長崎県職員連合労働組合長崎支部	50
長崎県職員連合労働組合長崎支部現業分会定期総会	長崎県職員連合労働組合長崎支部	45
長崎大学第一口腔外科学教室同門会総会	長崎大学口腔腫瘍治療学分野	45
第97回九州都市広報広聴連絡協議会	長崎市秘書広報部広報広聴課	44
第7回日本NP学会学術集会	個人名申込(第7回日本NP学会)	40
観光関連産業分野でのDXセミナー	JTB協定旅館ホテル連盟長崎支部	40
新中1進学説明会	株式会社 桑原塾	40
九州ブロック青年女性建築士協議会	一般社団法人長崎県建築士会	40
第6回長崎感染症検査フォーラム	ベックマン・コールター株式会社	40
テクノ・スズタ セミナー	株式会社テクノ・スズタ	40
NEW LIFE!輝く未来マルシェin長崎	個人名申込	40
The Way 研修	ソニー生命保険株式会社	38
積水ハウス株式会社 長崎営業所 全体会議	積水ハウス株式会社 長崎営業所	37
ニューメンバーズセミナー	J R九州労組	35
docomo5Gイベント	ルーフトビック	35
オゾン装置開発販促戦略会議	西日本設計工業 株式会社	32
ノツェ婚活体験会	(株)結婚情報センター	32
九電工 会議	株式会社九電工 長崎支店	30
BLAZE UP NAGASAKI 楽屋	株式会社長崎国際テレビ	30
BLAZE UP NAGASAKI 運営控室	株式会社長崎国際テレビ	30
社会人アルバイト登録説明会	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	30
濱村税理士事務所 創立記念日イベント	個人名申込(濱村税理士事務所)	30
九電工 職長等・安全衛生責任者能力向上教育	株式会社九電工	30
令和3年度 長崎県版簡易BCP策定セミナー	東京海上ディーアール株式会社	30
九電長崎商友会 第2回理事会	株式会社九電工 長崎支店	28
協同組合長崎県鉄構工業会 理事会・11月例会	協同組合長崎県鉄構工業会	27
全間連第49回通常総会長崎大会準備委員会会議	長崎間税会	27
第39回日本小児歯科学会九州地方会大会	長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻	25

催事名称	申込者名	人数
九小協長崎大会拡大実行委員会	九州地区小学校長協議会 長崎県小学校長会	25
大分商工会議所視察研修会	長崎商工会議所	25
九電工 職長・安全衛生責任者能力向上教育	株式会社九電工	24
セントヒルホテル 社内経営会議	ホテルセントヒル長崎	23
お正月フラワーアレンジ教室	個人名申込	23
JICAデスク長崎	JICAデスク長崎	22
電機連合部品部会 実務者研修会	電機連合部品部会事務局	22
進行卵巢癌治療 up to date ～最適な治療戦略とは～	アストラゼネカ株式会社	20
長崎西ロータリークラブ 職場訪問例会	長崎西ロータリークラブ	20
長崎大学との事前会議	株式会社コングレ	20
第59回長崎県水産加工振興祭即売会小間割会	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	20
打合せ	株式会社コングレ	20
打合せ	株式会社コングレ	20
DMO形成確立に関する講話	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	20
DEJIMA博 控室	株式会社長崎国際テレビ	20
2021年「ジェトロ世界貿易投資報告」セミナー ～新常态における日本の中小企業の役割～	ジェトロ長崎	20
協会けんぽ研修会	全国健康保険協会長崎支部	20
スマート・リフォーム・コンストラクション協同組合 第4回通常総会	スマート・リフォーム・コンストラクション(協)	18
アミュプラザ長崎テナント会 第44回理事会	株式会社JR長崎シティ(アミュプラザ長崎テナント会)	18
全間連第49回通常総会長崎大会準備委員会会議	長崎間税会	18
無人航空従事者試験	ドローン検定協会株式会社	16
令和3年度地域産業デジタル化支援事業 第2回DXセミナー	(公財)長崎県産業振興財団	16
クレ・ド・ポー ボーテ スペシャルサロン会	資生堂ジャパン株式会社	16
長崎県消防長会消防署長会議	長崎市消防局	16
明治屋ハム オリジナルレシピ コンテスト表彰式	有限会社明治屋商店	15
BCP策定セミナー	東京海上ディーアール株式会社	15
長崎県卓球連盟	個人名申込(長崎県卓球連盟)	15
長崎県商工会議所連合会 事務局長会議	長崎商工会議所	15
ヴィアトリス製薬株式会社webセミナー	ヴィアトリス製薬株式会社	15
セキスイハイム 会議	セキスイハイム九州(株)長崎支店	15
NTOG web meeting	個人名申込(長崎大学病院第二内科)	15
チャール会例会	チャール会	15
九電工CM協会会議	株式会社九電工	15
アベシオングループ業務会議	株式会社 長崎環境美化	15
Core Web Symposium 2021	アストラゼネカ株式会社	15
己書体験会	個人名申込(己書)	14
長崎心臓弁膜症座談会	東武トップソアーズ株式会社	14

催事名称	申込者名	人数
長崎県女性管理職員会長崎大会実行委員会	長崎県公立小・中学校等女性管理職員会	14
長崎県オンライン転職フェア	リクルーティング・パートナーズ(株)	14
健康診断	(公財)福岡労働衛生研究所	14
長崎市中央総合事務所 控室	長崎市中央総合事務所総務課	13
九電工	株式会社九電工	12
長崎国際観光コンベンション協会 採用面接	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	12
社内研修	株式会社 粹染	12
アベシオングループ営業会議	株式会社 長崎環境美化	12
長崎明徳会	個人名申込	12
打合せ	九州IR推進協議会	11
JCDA長崎地区会	個人名申込	11
第9回 長崎脳神経外科フォーラム	個人名申込 (長崎大学脳神経外科)	10
第7回日本NP学会学術集会 予行	個人名申込 (第7回日本NP学会)	10
海洋教育フォーラム会議	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	10
中小企業家同友会事前準備	長崎県中小企業家同友会	10
中小企業家同友会事前準備	長崎県中小企業家同友会	10
中小企業家同友会事前準備	長崎県中小企業家同友会	10
中小企業家同友会事前準備	長崎県中小企業家同友会	10
中小企業家同友会事前準備	長崎県中小企業家同友会	10
長崎広告業協会オンラインセミナー	株式会社九州広告	10
海洋教育フォーラム会議	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	10
長崎県青年・女性委員会 (長崎県建築士会)	個人名申込 (長崎県建築士会)	10
野崎地平税理士事務所 研修会	個人名申込 (野崎地平税理士事務所)	10
小児外科ハンズオンセミナー	テルモ株式会社	10
海洋教育フォーラム会議	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	10
打合せ	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	10
打合せ	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	10
打合せ	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	10
打合せ	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	10
打合せ	第13回日本Acute Care Surgery学会学術集会事務局	10
次世代情報化推進室会議	長崎県	10
アストラゼネカWebセミナー	アストラゼネカ株式会社	10
出島メッセ長崎維持管理部会1	日本管財 株式会社	10
株式会社カネカメディックス 会議	個人名申込 (株式会社カネカメディックス)	10
ヴィアトリス製薬社内会議	ヴィアトリス製薬株式会社	10
令和3年度九州地区果実基金協会連絡協議会担当者会	公益法人社団法人長崎県園芸振興基金協会	10
建設コンサル事業会議	株式会社PAL構造	10

催事名称	申込者名	人数
CSK会議	個人名申込（中外製薬株式会社）	10
第7回Nagasaki Ophthalmology Seminar	千寿製薬株式会社	10
長崎慢性便秘症について考える会	持田製薬株式会社	10
出島メッセ長崎維持管理部会2	日本管財株式会社	10
MV撮影	まつばや百貨店株式会社	10
日本マネジメント学会 中国・九州部会	日本マネジメント学会九州部会	9
旭化成ファーマ（株） 会議	旭化成ファーマ株式会社	9
医療情報学会看護学術大会 実行委員会会議	個人名申込（医療情報学会看護学術大会／長崎大学看護部）	9
興和(株) 会議	興和株式会社	9
催事前会議	株式会社 浜屋百貨店	8
催事前会議	株式会社 浜屋百貨店	8
催事前会議	株式会社 浜屋百貨店	8
催事前会議	株式会社 浜屋百貨店	8
催事前会議	株式会社 浜屋百貨店	8
催事前会議	株式会社長崎国際テレビ	8
催事前会議	株式会社長崎国際テレビ	8
経営フォーラム 第2分科会 会議	長崎県中小企業家同友会	8
第59回長崎県水産加工振興祭即売会打合せ3	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	8
九州肺癌胸膜中皮腫研究会	日本イーライリリー株式会社	8
第59回長崎県水産加工振興祭即売会打合せ3	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	8
会議	個人名申込	8
長崎工業会 正副会長・顧問会議	長崎商工会議所	8
西部ガス長崎 営業会議	個人名申込（西部ガス株式会社）	8
九州ブロック看護管理者等政策セミナー 会長会議	長崎県看護連盟	8
西部ガス長崎 営業会議	個人名申込（西部ガス株式会社）	7
会議	個人名申込	7
会議	株式会社マネジメント・シェルパ・クリエイト	7
第10回長崎臨床薬剤師循環器カンファランス	トーアエイヨーカブシキガイシャ	7
エアラインスクールIAA長崎校	合同会社ヒューマンナガサキ	7
持田製薬(株)社内研修	持田製薬株式会社	7
正副会長会	長崎県保育協会	7
MICE EXPO準備委員会	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	6
MICE EXPO準備委員会	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	6
第59回長崎県水産加工振興祭即売会打合せ2	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	6
MICE EXPO準備委員会	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	6
MICE EXPO準備委員会	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	6
MICE EXPO準備委員会	株式会社ふくおかファイナンシャルグループ	6

催事名称	申込者名	人数
インタビュー取材	長崎新聞社	6
水辺の森ファーマシーセミナー	個人名申込(中外製薬株式会社)	6
九小協長崎大会拡大実行委員会	九州地区小学校長協議会 長崎県小学校長会	6
海洋教育フォーラム会議	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	6
己書長崎日登美道場	個人名申込(己書)	6
会議	個人名申込	6
日本イーライリリー Dmtg	日本イーライリリー株式会社	6
西部ガス長崎 会議	個人名申込(西部ガス長崎株式会社)	6
己書長崎日登美道場	個人名申込(己書)	6
催事前会議	公益社団法人 松園尚己記念財団	5
催事前会議	公益社団法人 松園尚己記念財団	5
催事前会議	公益社団法人 松園尚己記念財団	5
催事前会議	公益社団法人 松園尚己記念財団	5
催事前会議	公益社団法人 松園尚己記念財団	5
ながさち企画会議2022	ワールドダイブ株式会社	5
フジオカTOYOTA車展示販売会 事前会議3	株式会社一広	5
スタッフ登録説明会	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	5
フジオカTOYOTA車展示販売会 事前会議4	株式会社一広	5
スタッフ登録説明会	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	5
フジオカTOYOTA車展示販売会 事前会議5	株式会社一広	5
スタッフ登録説明会	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	5
スタッフ登録説明会	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	5
長崎文化放送 MICE EXPO 控室	長崎文化放送	5
健康長寿日本一長崎県民会議総会(控室)	長崎県国保・健康増進課	5
株式会社コングレ九州支社社内打合せ	株式会社コングレ	5
信託長崎 勉強会	個人名申込	5
フジオカTOYOTA車展示販売会 事前会議	株式会社一広	5
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会事前会議	長崎県五島中央病院	5
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング準備	株式会社Vファーレン長崎	5
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会事前会議	長崎県五島中央病院	5
フジオカTOYOTA車展示販売会 事前会議2	株式会社一広	5
Nagasaki Diabetes Web Seminar	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	5
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング準備	株式会社Vファーレン長崎	5
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会事前会議	長崎県五島中央病院	5
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング準備	株式会社Vファーレン長崎	5
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会事前会議		

催事名称	申込者名	人数
第59回長崎県水産加工振興祭即売会打合せ4	一般社団法人長崎県水産加工振興協会	5
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング準備	株式会社Vファーレン長崎	5
ワールドファミリー株式会社説明会	個人名申込（ワールドファミリー株式会社）	5
第118回日本消化器病学会九州支部例会・第112回日本消化器内視鏡学会九州支部例会事前会議	長崎県五島中央病院	5
テルモ株式会社イメージングセミナー	個人名申込（テルモ株式会社）	5
海洋教育フォーラム会議	海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会	5
V・ファーレン長崎スポンサーミーティング準備	株式会社Vファーレン長崎	5
A B長崎エリア会議	アサヒビール株式会社九州北部統括支社	5
打合せ	九州IR推進協議会	5
打合せ	九州IR推進協議会	5
会議	税理士法人ASPIRE	5
株式会社サーベイリサーチセンター様 会議	株式会社サーベイリサーチセンター	5
長崎県青年・女性委員会（長崎県建築士会）	個人名申込（長崎県建築士会）	5
旭化成ファーマ株式会社 WEB講演会	個人名申込（旭化成ファーマ株式会社）	5
DX研修会	長崎県	5
ながさきICTフェア説明会	長崎県	5
次世代情報化推進室会議	長崎県	5
次世代情報化推進室 会議	長崎県	5
催事前会議	株式会社長崎国際テレビ	4
催事前会議	株式会社長崎国際テレビ	4
催事前会議	株式会社長崎国際テレビ	4
社内研修会	興和株式会社	4
BLAZE UP NAGASAKI 楽屋	株式会社長崎国際テレビ	4
アストラゼネカ株式会社 会議	アストラゼネカ株式会社	4
会議	一般社団法人ナガサキベイデザインセンター	4
社内研修会	興和株式会社	4
打合せ	株式会社コングレ	4
第4回 脳血管障害 UP DATE セミナー	株式会社日本旅行	4
已書	個人名申込（己書）	4
会議	株式会社グルメ枿屋	4
会議	個人名申込	4
長崎国際大学 ハイブリット授業	長崎国際大学	4
会議	ヴィアトリス製薬株式会社	4
長崎慢性便秘症について考える会	持田製薬株式会社	4
NAGASAKIしごとみらい博2021	一社 日本青少年育成協会	4
己書長崎日登美道場	個人名申込（己書）	3

催事名称	申込者名	人数
CHUAGI Web Seminar in Nagasaki	個人名申込（中外製薬株式会社）	3
社内会議	ひぐちグループ	3
ワールドファミリー株式会社説明会	個人名申込（ワールドファミリー株式会社）	3
滋慶学園グループ福岡 学校説明会	学校法人 滋慶学園	3
己書長崎日登美道場	個人名申込（己書）	3
第34回日本神経免疫学会学術集会主催打合せ	第34回日本神経免疫学会学術集会	3
己書	個人名申込（己書）	3
会議	個人名申込	2
S G 佐世保・S G R L 長崎ミーティング	西部ガスリアルライフ長崎株式会社	2
九州・四国エリアARNI WEB講演会	ノバルティスファーマ株式会社	2
令和3年度 長崎県原子力防災訓練事前講習会 テスト配信	有限会社自然文化創舎	2
WEB講演会	ノバルティスファーマ株式会社	2
己書長崎日登美道場	個人名申込（己書）	2

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 と 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-4	長崎さるく推進費	千円 34,758

1 概要

多様化するまち歩きのニーズに対応し、参加者の満足度と事業持続性を高めるため、まち歩き団体等との連携促進や修学旅行ガイド等の充実を図る。

また、一般観光客等を対象としたガイド付きまち歩きや修学旅行生を対象とした平和・歴史ガイド、観光施設の常駐ガイドを総合的に長崎さるくとして魅力発信を行い、ブランド力を活かしたまち歩き観光を推進するもの。

2 事業内容

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 長崎さるく情報発信等業務費 | 10,013 千円 |
| ・ 情報発信・予約システム運営費 | 4,713 千円 |
| ・ 利用者対応業務費 | 5,300 千円 |
| (2) 平和・歴史ガイド運営・管理費 | 23,865 千円 |
| ・ 修学旅行の受入対応等運営費 | 12,052 千円 |
| ・ ガイド育成等・管理経費 | 4,285 千円 |
| ・ ガイド謝礼金 | 7,528 千円 |
| (3) 消耗品費 | 880 千円 |

〔参考〕参加者数の推移

(単位：人)

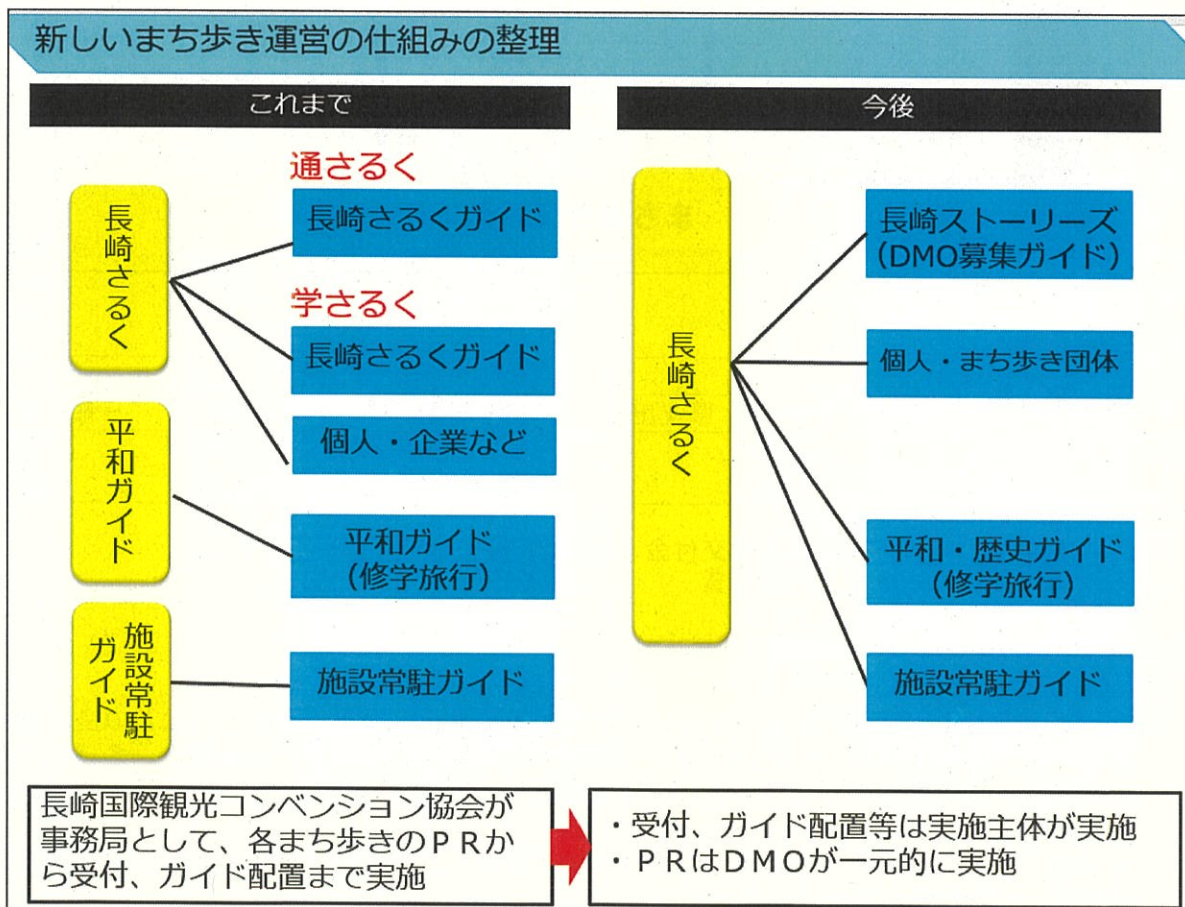
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
通さるく	8,185	6,419	5,541	4,559	1,275
学・食さるく	5,478	3,163	3,026	3,042	1,642
平和ガイド	28,770	24,413	32,562	35,426	20,557
合計	42,433	33,995	41,129	43,027	23,474

3 令和3年度実施中の新さるくへの見直しについて

(1) これまでの課題と対応について

これまでの課題	対応
観光客が求める観光スタイルの多様化	<ul style="list-style-type: none"> 各実施主体（個人・団体）の得意分野を活かしたまち歩きを推進するため、予約ページ（令和4年4月稼働予定）を新たに構築し、それぞれのまち歩きの魅力の発信を行う。 評価制度を導入し、ガイドやまち歩きコースごとの評価・口コミによるニーズの把握、ブラッシュアップを図っていく。
長崎さるくの参加者の減少と低迷、ガイドのモチベーション低下	<ul style="list-style-type: none"> 上記の魅力発信、ニーズを踏まえたまち歩きへの転換を図ることで、参加者数の増加を図る。 参加者数の増加によるガイド機会の創出を図り、モチベーションアップにつなげていく。
持続可能なまち歩き制度への転換	これまで（一社）長崎国際コンベンション協会が担っていた受付・ガイド配置業務をまち歩き企画者（個人・団体）が自ら行うことで、より自立型のまち歩き制度へと転換を図るとともに、事務局経費の縮減が図られた。

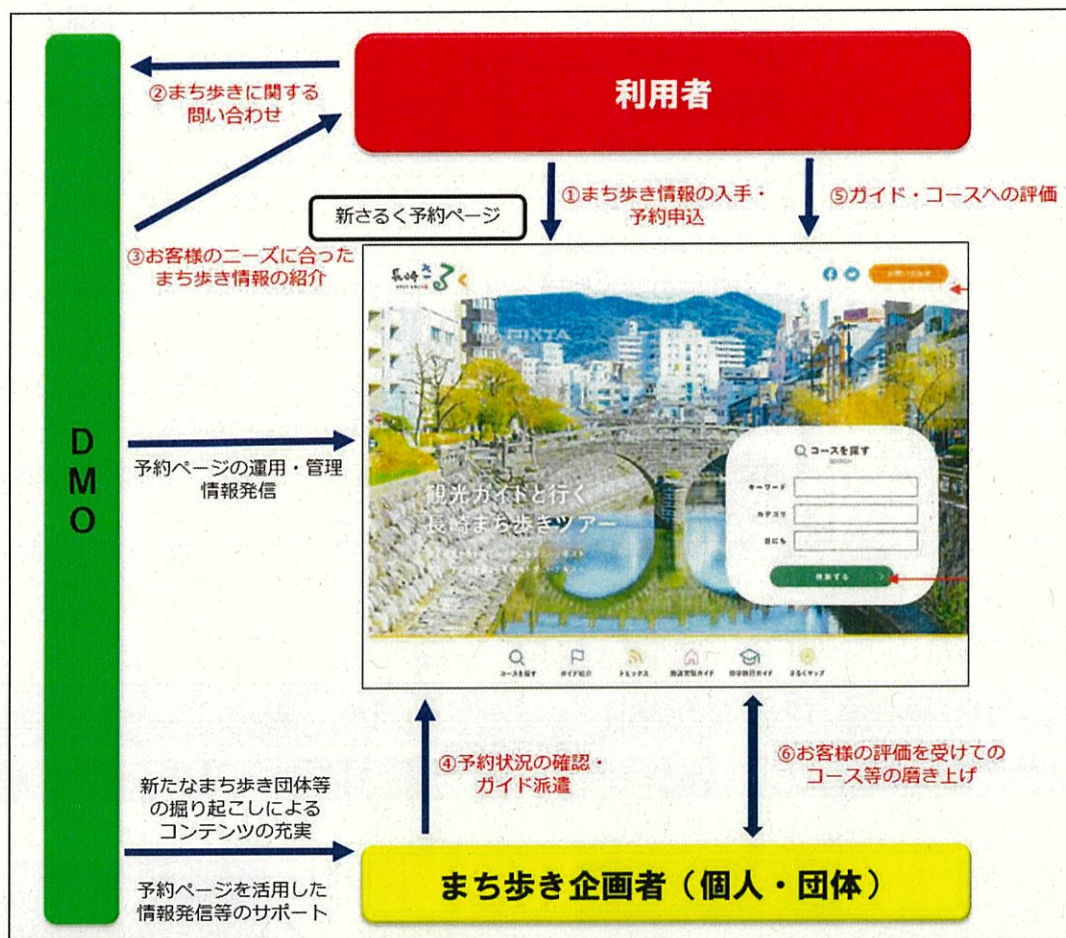
(2) 新しいまち歩き運営の仕組みの整理について



4 新しい長崎さるくの運用イメージ

新たに構築中の予約ページ（令和4年4月稼働予定）では、利用者の利便性向上を念頭に置いた情報分類、デザインの見直し、評価制度の導入などを行っている。

また、まち歩き企画者（個人・団体）のガイド・コース等の紹介のほか、平和・歴史ガイド、施設常駐ガイドの情報も長崎さるくブランドで一元的に情報を発信することとしている。



5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 34,758	千円 5,182	千円 —	千円 —	千円 23,500	千円 6,076

※1 地方創生推進交付金

※2 長崎県市町村振興協会市町交付金 10,000千円
修学旅行ガイドツアー参加費 13,500千円

6 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

・「まち活かし、人活かし」をテーマとした長崎の文化、歴史、自然、人などの良さを、観光客が直接体験することができるまち歩き観光「長崎さるく」を、引き続き、多様化するニーズ等に対応できるよう随時見直しを図りながら、その情報を一元的に発信していくことで、観光客の誘客及び満足度向上を図る必要がある。

・長崎を訪れる修学旅行生の平和学習への需要は高く、引き続き平和の発信と参加者の満足度向上につなげる必要がある。

(2) 効果

・新たな「長崎さるく」の情報発信を一元的に行うことで、観光客の誘客及び参加者の満足度向上につなげることができる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-6	アニメツーリズム推進費	千円 8,144

1 概 要

長崎市出身の漫画家の人気作品「弱虫ペダル」とタイアップし、長崎市の新たな魅力ある観光コンテンツの造成を図り、観光客の誘客及び周遊の促進を図る。

2 事業内容

(1) 「弱虫ペダル」原画等企画展

6,082 千円

作者・渡辺航氏等の協力をいただき、人気作品「弱虫ペダル」の肉筆原画や資料等を展示する企画展を長崎市で開催する。

- ▶ 実施期間：令和4年末～令和5年初旬予定
- ▶ 場所：長崎県美術館ホール（予定）
- ▶ 事業費
 - ・会場借上料 222 千円
 - ・企画展開催業務委託 5,000 千円
 - ・企画展チラシ製作費 385 千円
 - ・その他（旅費・消耗品費） 475 千円

(2) 「弱虫ペダルマンホール」等を活用した周遊の推進

2,062 千円

令和3年度中に、市内の景観等地域の魅力と作品のキャラクターの特徴を活かした「弱虫ペダルマンホール」を市内27カ所に設置する。

市内周遊をさらに推進するため、「弱虫ペダルマンホール」のほか市内に設置しているデザインマンホールをチェックポイントとし、スマホを活用したデジタルスタンプラリー（抽選で景品のプレゼント）を実施する。

- ▶ 事業費
 - ・スタンプラリー運用費 1,200 千円
 - ・景品購入費 396 千円
 - ・景品郵送費 466 千円



(令和3年度設置：デザインマンホール)



(令和3年度実施：記念ライド事業)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 8,144	千円 4,072	千円 -	千円 -	千円 -	千円 4,072

※1 地方創生推進交付金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

全国各地で盛んに取り組まれているアニメツーリズムについて、長崎市においてはコンテンツが十分でないため、長崎市出身の漫画家による人気作品とタイアップすることで、観光資源の造成・観光客の誘客を図る必要がある。

(2) 効果

ア 企画展開催による観光客の誘客促進

イ 地域の魅力・漫画のキャラクターを活かした周遊コースによる観光周遊促進

5 その他（弱虫ペダルの概要）

(1) 『弱虫ペダル』の概要

秋田書店の『週刊少年チャンピオン』に2008年から連載中であり、単行本では76巻発行されている。単行本の売上げ総数は2,500万部を超える人気作品であり、2020年夏には、人気アイドルを起用して実写映画化されている。

(2) 作者について

『弱虫ペダル』の作者は長崎市出身の漫画家・渡辺航（わたる）氏であり、本事業におけるデザインマンホールの製作等ご協力をいただいている。令和3年11月に、本事業に関連した記念セレモニーにおいて、長崎市観光大使にも就任していただいております。個人ブログにて情報発信も協力いただいている。

(3) ストーリーについて

ママチャリで千葉から秋葉原に通う、いわゆるオタク高校生である主人公の小野田坂道がチームで戦う自転車競技を題材にした物語となっており、インターハイ優勝を目標に、全国のライバル校と切磋琢磨するスポーツ漫画である。

(4) 登場人物（キャラクター）について

1チーム6人で競技を行う自転車競技（ロードレース）において、各登場人物には個性がある。例えば、主人公の小野田坂道は、小学生の頃からママチャリで秋葉原に通ったことで、登り坂を得意とするクライマーとして活躍するといった特徴がある。

したがって、これまでサイクリングのイメージが無かった長崎市においても、本作品との親和性が高い。

6 デザインマンホール設置箇所



7 マンホールのデザイン

・令和3年11月設置済み分



・令和4年2月設置予定分



・令和4年3月設置予定分



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-9	コンベンション開催費 補助金	千円 12,500

1 概要

コンベンションの主催者に対する助成制度を整備することにより、長崎市でのコンベンション開催に向けた環境を整え、誘致を促進するもの。

2 事業内容

長崎県及び長崎市が市内で開催されるコンベンション（九州大会以上の文化・学術コンベンション）の主催者に対して支援（長崎市内の宿泊施設に宿泊した延べ宿泊者数に応じた補助金の交付）を行う。なお、主催者への交付は長崎国際観光コンベンション協会が行う。

- (1) 名 称 長崎市コンベンション開催費補助金
- (2) 交付先 長崎国際観光コンベンション協会
- (3) 補助率 国際大会・全国大会・九州大会（持ち回り以外）：長崎市 1/2（長崎県 1/2）
九州持ち回り大会：長崎市 1/2

(4) 補助の対象

次に掲げる全ての要件に該当するもので、コンベンション協会から補助事業による補助の交付の決定を受けているもの

- ア 長崎市内で開催されるもの
- イ 参加者の範囲が九州大会に準じる規模以上のもの
- ウ 各種協会、団体、学会等が主体となって開催するもの

(5) 補助金の対象外となるもの

- ア 営利を目的とするもの
- イ 政治的又は宗教的活動を目的とするもの
- ウ 国又は地方公共団体から他の補助金の交付及び補助金に類する支援を受けているもの
- エ スポーツコンベンション大会及びスポーツ合宿
- オ その他市長が不相当と認めるもの

※スポーツコンベンションについては、平成 29 年度より県スポーツコミッションにおいて運用（スポーツ振興課所管）

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 12,500	千円 6,250	千円 —	千円 —	千円 —	千円 6,250

※ 地方創生推進交付金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

交流人口の拡大を図るにあたり、コンベンションの誘致促進は不可欠であり、都市間競争の中で、コンベンションの主催者に長崎市を開催地として選んでもらえるよう、支援を行う必要がある。

(2) 効果

コンベンションの誘致促進により、長崎市でコンベンションが開催されることで、国内外から多くの訪問客が訪れることにより、地域経済の活性化につながる。

5 令和4年度予定

延べ宿泊者数				補助基準額 (円)	補助件数(件)及び 延べ宿泊人数(人)		市補助金額(円) (補助基準額 x 1/2)
文化・学術 コンベンション	200人以上	300人未満		200,000	0	0	0
	300人以上	500人未満		300,000	0	0	0
	500人以上	1,000人未満		500,000	9	5,800	2,250,000
	1,000人以上	1,500人未満		1,000,000	2	2,000	1,000,000
	1,500人以上	2,000人未満		1,500,000	3	4,800	2,250,000
	2,000人以上	3,000人未満		2,000,000	4	8,000	4,000,000
	3,000人以上			3,000,000	2	6,000	3,000,000
	合計					20	26,600

予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-2	交通事業者連携事業費	千円 9,380

1 概要

西九州新幹線の開業を見据え、輸送力、宣伝力を有する交通事業者との連携を図りながら情報発信をはじめとした積極的なPRを行うことで、観光都市長崎の知名度をさらに高め、観光客の誘客を図る。

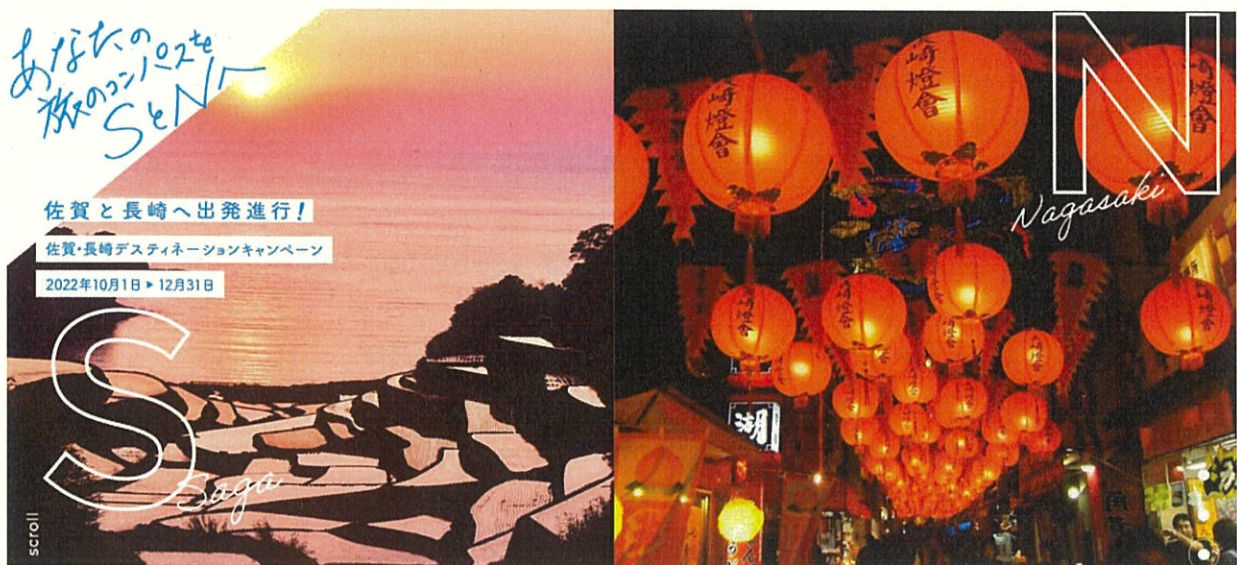
2 事業内容

(1) 佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン事業【負担金 8,623 千円】

ア 概要

JR グループ6社（JR 北海道、JR 東日本、JR 東海、JR 西日本、JR 四国及び JR 九州）と自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンである。JRの広告媒体等を利用して、全国的な情報発信が行われる。また、大手旅行会社等と連携しながら旅行商品造成、販売促進活動を実施する。

長崎県内の自治体や観光事業者で構成される『デスティネーションキャンペーン長崎実行委員会』に長崎市も参画している。



イ 主な実施予定事業（令和4年度）

- ・ 広報物（ガイドブック、ポスター等）を制作し、活用したPR
- ・ 令和3年度に制作した観光素材集を活用した商品造成・誘客促進のセールス活動
- ・ キャンペーンオープニングにあわせ、特別列車のお出迎えイベントの実施
- ・ メディアやキャンペーン専用サイトにおける観光素材等のPR
- ・ 観光キャラバンによる全国PR



(佐賀・長崎観光素材集)

ウ 長崎県デスティネーションキャンペーンのKPI

①新たな観光コンテンツの開発数（改善を含む）

目標：60件（前回のデスティネーションキャンペーンと同数）

②デスティネーションキャンペーン期間中の主要宿泊施設の延べ宿泊者数

目標：3%増加（令和元年同期比）

エ キャンペーン期間

令和4年10月から12月

オ 事業費内訳

デスティネーションキャンペーン長崎実行委員会に対する負担金 8,623千円

カ 負担割合

県：市町（21市町）：民間=50：40：10 総事業費200,000千円

キ 実施主体 デスティネーションキャンペーン長崎実行委員会

役員：会長（長崎県文化観光国際部長）

副会長（長崎県観光連盟専務理事、九州旅客鉄道(株)取締役長崎支社長）

構成団体：行政、地域観光協会、観光事業者、宿泊施設、交通事業者、旅行会社、
経済・農水・物産関連団体、九州旅客鉄道(株)

(参考) 令和3年度実施事業

令和3年10月～令和4年3月にはプレキャンペーンが開催されている。

- ・観光素材集の制作
- ・全国宣伝販売促進会議の開催（旅行会社に向けたプレゼン、エクスカージョン）
- ・JR九州のプレキャンペーン（二次交通商品の造成、プロモーション展開等）



(2) 大村線沿線活性化協議会 【負担金 757 千円】

ア 概要

JR九州長崎支社及び大村線沿線自治体（長崎市、長与町、諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町及び佐世保市）で構成される大村線沿線活性化協議会において、大村線沿線の観光情報の発信、観光列車の誘致活動を行う。

イ 主な実施予定事業（令和4年度）

- ・ デスティネーションキャンペーンに向けた HP や SNS での情報発信の強化
- ・ 新D&S列車運行を契機とした魅力発信
- ・ スタンプラリーやキャンペーンによる大村線周遊施策の実施

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 9,380	千円 4,690	千円 —	千円 —	千円 —	千円 4,690

※地方創生推進交付金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

JRや旅行会社、観光関連事業者等と連携した大型観光キャンペーンを実施し、開業が予定されている西九州新幹線のPR及び長崎市への来訪者を増加させる必要がある。

(2) 効果

キャンペーン実施による誘客効果に加え、テレビ、新聞などの各種メディアでの露出が期待され、観光都市長崎の知名度向上も期待される。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番 号		
232 ↳ 233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	3-1	世界・日本新三大夜景 推進費	4,725 千円

1 概 要

長崎夜景ブランドの認知度向上を図り、インバウンドや宿泊につながる観光客の誘致及び観光消費額を増加させることを目的として、長崎夜景の魅力を国内外に発信するもの。

2 事業内容

(1) 「世界新三大夜景」海外向けパンフレット制作等業務委託 (2,500 千円)

ア 委 託 先：一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー

イ 業務内容

(ア)内 容：世界新三大夜景に再認定された長崎の夜景を世界に発信する。

(イ)部 数：50,500 部(各国・各地域 5,000 部 国内 500 部)

(ウ)配布先：各国・各地域の観光関連組織

(スペイン、ハンガリー、ポルトガル、タイ、中国、台湾、フィリピン、モナコ、オーストラリア、トルコ)

(エ)言 語：11 か国語

(日本語、スペイン語、ハンガリー語、ポルトガル語、タイ語、中国語(簡体語、繁体語)、フィリピン語、フランス語(モナコ)、英語(オーストラリア)、トルコ語)

(2) 世界新三大夜景ライセンス使用料(1,000 千円)

ア 権 利 者：一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー

イ 内 容

(ア)内 容：世界新三大夜景が再認定されたことにより、一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューローが作成する世界新三大夜景ロゴのライセンス使用料。

(イ)期 間：令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで(3 年間)

(ウ)活 用：長崎市や DMO が作成するポスター・パンフレット、Web サイトに掲載するとともに、各観光関連事業者にホームページ等で使用していただくことにより、世界新三大夜景である長崎の夜景の認知度向上を図る。

世界新三大夜景ロゴ(日本語)

世界新三大夜景ロゴ(英語)



(3) その他(1, 225 千円)

ア 国内夜景サミット参加費 225 千円

(ア)旅 費：215 千円

- ・開催地(予定) 沖縄県沖縄市(国内夜景サミット)

(イ)参加負担金 10 千円

- ・5,000 円 × 2 人

(ウ)内 容

- ・夜景観光を促進している国内の都市が参画し、夜景観光の更なる発展のため、魅力や課題を共有する。

イ 日本新三大夜景情報発信(負担金) 1,000 千円

(ア)相手方：一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー

(イ)内容：日本新三大夜景都市の連携・共同情報発信(長崎市・札幌市・北九州市)

- ・日本新三大夜景公式 Web サイトの情報更新、スポットページの追加
日本語サイト、英語サイトの更新

- ・「日本新三大夜景都市」パンフレット製作

活 用：長崎夜景の情報発信ツールとして活用する。

部 数：10,000 部

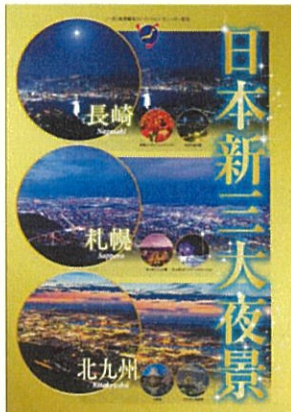
- ・「日本新三大夜景都市」新ポスター製作

部 数：50 部

配布先：観光案内所、長崎夜景観賞スポット(稲佐山ほか)

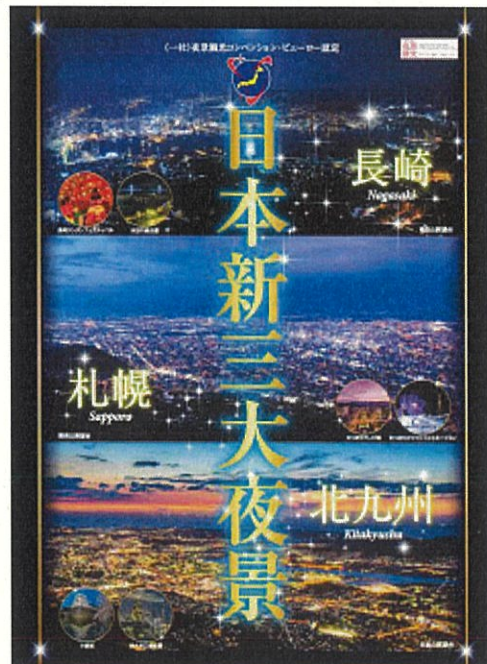
「日本新三大夜景」パンフレット

(画像は 2018 年作成のもの)



「日本新三大夜景」ポスター

(画像は 2018 年作成のもの)



3 財源内訳

事業費	財源内訳			
	国庫支出金※	県支出金	地方債	一般財源
千円 4,725	千円 2,255	千円 -	千円 -	千円 2,470

※ 地方創生推進交付金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

コロナ禍からの回復期を見据え、令和3年11月に長崎がモナコ、上海とともに世界新三大夜景に再認定された長崎の夜景を国内外に発信することは、国内観光客やインバウンド誘致に有効である。

(2) 効果

長崎の夜景ブランドの更なる認知度向上が図られ、新型コロナウイルス感染症からの「復活期」に向けて、国内外の観光客やインバウンドの誘致及び宿泊客の増加につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
232 ～ 233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	6-3	出島運営費	千円 126,253

1 概要

『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画』に基づき、平成8年度から本格的に取り組んでいる出島復元整備事業と併せ、企画展の充実等魅力向上を行いながら、国指定史跡の公開活用を図り、施設の適切な保存を行う。

また、川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」の複製を制作し、出島において展示・活用することで出島の史実に基づく価値を高め、新たな魅力とする。

2 事業内容

(1) 指定管理に係る経費 113,344千円

ア 指定管理者 出島 VOF (Vennootschap Onder Firma : 共同事業体を意味するオランダ語)

以下の5者により構成

- (ア) 代表団体 長崎自動車株式会社 (長崎市新地町3番17号)
- (イ) 構成団体 長崎バス商事株式会社 (長崎市新地町2番10号)
- (ウ) 構成団体 長崎バスホテルズ株式会社 (長崎市新地町3番17号)
- (エ) 構成団体 長崎バス建物総合管理株式会社 (長崎市茂里町1番55号)
- (オ) 構成団体 長崎総合警備株式会社 (長崎市旭町3番6号)

イ 指定期間 令和2年4月1日から令和17年3月31日まで (15年間)

ウ 令和4年度の収支算定

出島は完全利用料金制の施設で、本来であれば令和2年度の指定の際に指定管理者が提案していた固定納付金27,500千円を指定管理者が市へ納付するが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設入場者数の減少に伴い、利用料金収入が減少し、施設の運営経費に対する収入が不足することが想定されることから、固定納付金については全額減額する。

なお、不足する額については、指定管理委託料として、市が上限額を積算し、指定管理者が提案した収支に基づき額を決定する。

エ 令和5年度以降の収支の再算定

令和3年度及び令和4年度上半期の概ね1年6か月の期間における利用実績を踏まえて再算定を行ったうえで、指定管理委託料又は固定納付金を改めて決定する。

オ 入場者数の推移

(単位:人)

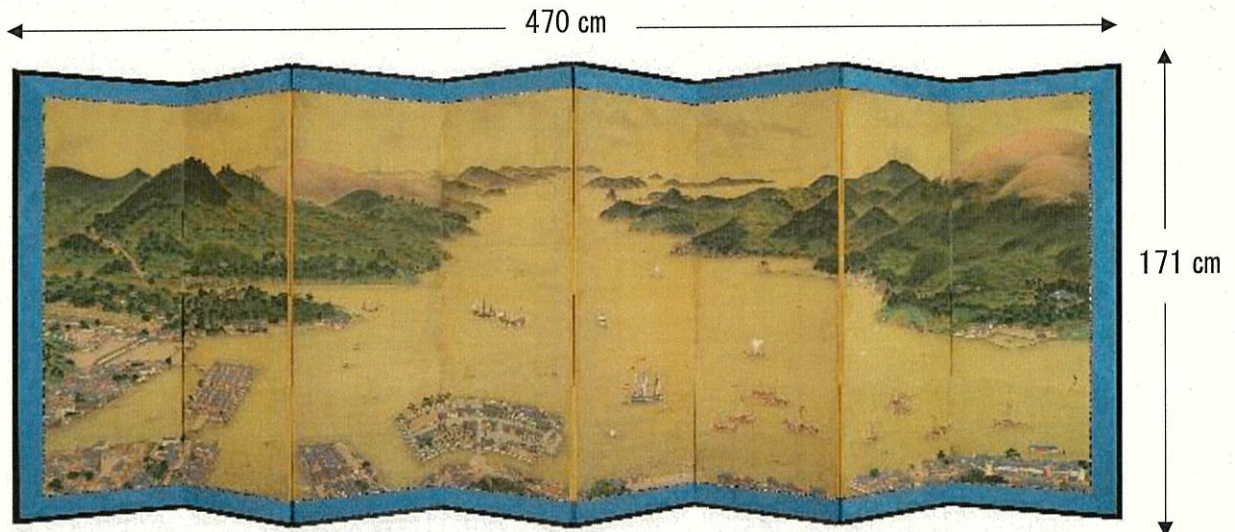
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 ※1月末まで
入場者数	532,013	459,147	165,191	167,501

カ 令和4年度の指定管理に係る委託料（指定管理者提案） 113,344 千円

収支		金額（千円）	内容
支出	人件費	100,927	給与、社会保険料等
	需用費	38,368	光熱水費、消耗品費、印刷製本費
	役務費	2,651	通信運搬費、保険料、手数料等
	委託料	14,035	エレベーター保守、消防用設備等保守等
	使用料・賃借料	1,522	電子複写機器借上料、下水道使用料等
	その他	5,861	事業所税等
	合計（A）	163,364	
収入	利用料金収入（B）	50,020	指定管理者の提案額
指定管理委託料（A）－（B）		113,344	

※なお、利用料金収入が指定管理者の提案額を上回った場合、指定管理者は上回った額を全額市に納付する。

(2) 川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」の複製の制作 5,666 千円



川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」
（ライデン国立民族学博物館所蔵）

ア 概要

平成30年7月にオランダのライデン国立民族学博物館が発見し、新収藏品とした、川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」は、現在までに発見されている江戸時代の長崎港図としては最も大きな資料であり、出島を画面中央に据えて、オランダ船や中国船のほか、中国貿易の拠点であった新地蔵や唐人屋敷の一部も描かれており、国際貿易港長崎の様子が見事に描写された傑作である。また制作された年代が明らかであり、長崎の町の歴史を後世に伝える重要な役割を果たすことから、出島での展示を目的として、屏風の複製を制作する。

イ 事業費

屏風複製制作業務委託 5,452 千円
旅費 214 千円

ウ 活用について

令和4年度に屏風を制作し、出島内で効果的に展示及び活用する。また、シーボルト来日200周年にあたる令和5年度に、その他記念事業と連携し、PR効果を高める。

(3) その他の経費 7,243千円

ア 企画展開催費（史跡指定100周年展） 770千円

(ア) 内容 出島和蘭商館跡が国指定史跡に指定されて100周年の節目を迎えることから100年間の歩みを振り返り、出島の魅力を紹介する企画展を実施する。

イ 委託料（企画展開催に係るものを除く） 2,240千円

(ア) 出島表門橋点検計画作成及び点検業務委託 970千円

(イ) 十六番蔵収蔵庫燻蒸業務委託等 1,270千円

ウ 施設等修繕料 2,228千円

(ア) カピタン部屋展示品修繕 1,228千円

(イ) 指定管理者の修繕料年間上限額を超える修繕 1,000千円

エ その他維持経費（旅費、消耗品費、備品購入費等） 2,005千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
126,253	—	—	—	104,431	21,822

※指定管理施設特定収入104,430千円、模写等使用料1千円

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

文化財保護法に基づき、国指定史跡「出島和蘭商館跡」を適切に保存し、効果的に活用し、長崎市の魅力として後世に広く伝えていく。

(2) 効果

世界的に重要な役割を果たした出島の文化的価値を、長崎市民をはじめ、国内外に広め、市民の地域への愛着と誇りが高まり、市外から長崎を訪れたい魅力として発信される。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
234 ? 235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	6-26	長崎歴史文化博物館 特別企画展負担金	千円 10,000

1 概要

令和4年に隠元禅師の350年大遠忌を迎えるのに合わせて、隠元禅師によって日本全国に伝えられた黄檗文化を紹介する特別企画展「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—」（仮称）を長崎歴史文化博物館において開催し、その経費の一部を負担する。

※本企画展は令和2年度の興福寺開創400年に合わせて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度に延期となったもの。

2 事業内容

- (1) 企画展仮称 長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—
- (2) 実施期間 令和4年10月15日～11月27日 41日間
- (3) 主 催 長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館
- (4) 観 覧 料 一般 800円（予定）
- (5) 展 示 内 容

ア 序 章 隠元渡来前夜

中国の高僧であった隠元が長崎へ渡るに至った背景や、後に日本中に広まることとなる黄檗禅の日本における初期の受容を紐解くべく、隠元が長崎に渡来する以前の長崎の様子を紹介

イ 第1章 隠元禅師の渡来

長崎の僧俗による熱心な招請に応え来日した隠元が使用した品々や渡来僧の墨蹟などを中心に、隠元の人となり、魅力を明らかにしながら、来日の意義と功績を紹介

ウ 第2章 隠元禅師のもたらしたもの

今なお身近な暮らしの中に息づく黄檗文化が日本で受容された様相について紹介

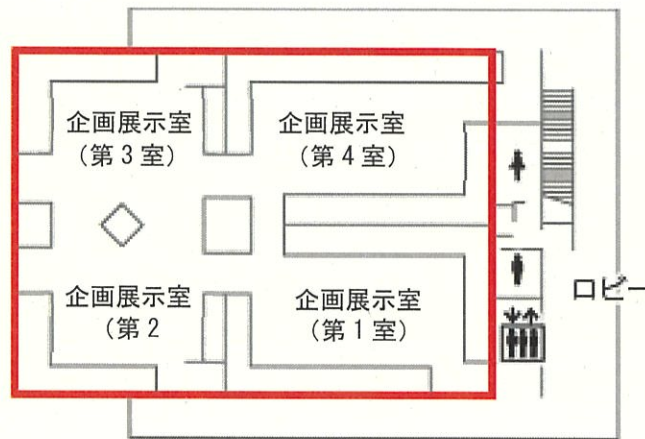
エ 第3章 長崎の黄檗—唐寺の寺宝

近年の調査によって見出された唐寺（興福寺、崇福寺、福濟寺、聖福寺）の寺宝を中心に、「長崎ならではの黄檗文化」について紹介

オ 第4章 花開く黄檗文化

日本の各所に伝わる美術品を中心に、黄檗禅とともに伝わった中国の文化が日本でどのように広まり、「黄檗文化」として花開き、今に息づいているのかを紹介

(5) 会場 長崎歴史文化博物館3階 企画展示室(第1室～第4室)



(6) 展示点数 木像、絵画、書など約160点(予定)



隱元騎獅像



開祖林公琰一官絵像



香炉(逸然銘)

(7) 入場者見込数 約15,000人

(8) 事業費

総事業費	負担額(※)		観覧料・物販収入
	長崎県	長崎市	
千円 27,882	千円 10,000	千円 10,000	千円 7,882

※負担割合は「長崎歴史文化博物館の運営に関する協定書」に基づき、県1：長崎市1

<事業費内訳>

- ・調査打合せ 1,360千円
- ・輸送費 8,700千円
- 借用資料の運搬費、保険代

- ・会場設営費 6,940 千円
作品展示撤去費、展示室壁面造作、キャプション・パネル製作費 ほか
 - ・広報費 4,000 千円
パンフレット、ポスター、チラシ作成 ほか
 - ・レセプション・関連行事経費 3,250 千円
 - ・監視員 1,946 千円
 - ・その他 1,686 千円
- 計 27,882 千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,000	—	—	—	—	10,000

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
234 ? 235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-1	【補助】観光施設整備事業費 総合観光案内所	千円 36,000

1 概要

西九州新幹線の開業（令和4年秋頃）に合わせ、現在の総合観光案内所（令和2年3月からは仮設案内所を供用）を新駅舎1階に移転整備を行う。

2 事業内容

(1) 新総合観光案内所の概要

設 置 場 所	西九州新幹線長崎駅舎1階〔高架下〕
供 用 開 始(予定)	令和4年秋頃
施 設 概 要	<p>観光案内所は、来崎される観光客等をお迎えする玄関口、いわゆる「顔」となる施設となるため、観光情報はもちろんのこと、宿泊や飲食、二次交通情報など、様々な情報がワンストップで入手できる施設とする。</p> <p>また、国内旅行者のみならず、訪日外国人旅行者にも円滑に長崎観光を満喫いただけるよう、常時、多言語での対応を可能とする人員を配置する。</p> <p>ア 面積 : 約200㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内スペース [受付、事務スペース等] ・情報収集スペース [インターネット環境等] ・情報発信スペース [デジタルサイネージ、パンフレットラック等] <p>イ 人員体制(予定) : 4名 [多言語対応]</p>

(2) 総事業費

年 度	内 容	金 額
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備 工事請負費 : 66,000千円(繰越額: 30,000千円) (内装改修・インフォメーションカウンター設置等、電灯設備等、空調調和設備等) 	50,000千円 (繰越額 46,548千円)
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト整備 委託料 : 20,000千円(繰越額: 16,548千円) (機器一式、什器類、パソコン等事務用品他の導入費) 	36,000千円
合 計 〔総事業費〕		86,000千円

3 財源内訳

	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
令和3年度 当初予算額	千円 50,000	千円 25,000	千円 -	千円 22,500	千円 -	千円 2,500
令和3年度 繰越明許額 (A)	千円 46,548	千円 23,274	千円 -	千円 21,000	千円 -	千円 2,274
令和4年度 債務負担額	千円 36,000	千円 18,000	千円 -	千円 16,200	千円 -	千円 1,800
令和4年度 当初予算額 (B)	千円 36,000	千円 18,000	千円 -	千円 16,200	千円 -	千円 1,800
合計 (A+B)	千円 82,548	千円 41,274	千円 -	千円 37,200	千円 -	千円 4,074

※1 地方創生推進交付金 補助率：1/2

※2 一般補助施設整備等事業債 充当率：90%（交付税措置率：30%）

4 長崎市が目指す総合観光案内所のあり方

(1) これまでの課題

- ・ 非常に手狭なため、イベント情報や交通情報など、必要な情報（パンフやポスター等）を掲出することができず、また、「食」なども含め長崎の特産品、素材を紹介するコーナーの設置ができていない。
- ・ JNTO（日本政府観光局）カテゴリーで「カテゴリー2」に位置付けられており、長崎市外も含め、広域な情報を提供する必要があるが、やはりスペースの問題で十分な情報を提供できていない。
- ・ 観光情報のみならず、タウン情報等についても案内を求められるが、情報の集約ができていない。
- ・ ほぼ全ての利用者が窓口を訪れるが、利用者が非常に多く、その対応業務に追われ、電話での対応が不十分な状況となっており、「電話が繋がらない」「電話を取らない」といった苦情が寄せられている。
- ・ 車いすやベビーカーが設置できない。
- ・ 障がいをお持ちの旅行者の方への対応が十分にできていない。
- ・ 着地型の体験コンテンツの情報提供、紹介、予約等の機能が不十分である。

(2) 新総合観光案内所の目指すべきビジョン

新総合観光案内所については、令和3年度から取り組んでいる長崎市観光・MICE戦略に基づき、「選ばれる21世紀の交流都市」にふさわしい「安全安心・快適な滞在環境機能と訪問者ニーズに即したワンストップの観光情報発信機能」を有するものとする。現状の総合観光案内所の課題解決を図り、訪問客の利便性と満足度向上を目指す。

【参考】

- 観光・MICE戦略 ビジョン 「選ばれる21世紀の交流都市」 ～まちは変わる。ひとが、訪れる価値をつくっていく。

● 観光・MICE戦略 基本方針・施策

・C-3 DMOを中心としたワンストップの誘客・MICE誘致（旅マエ・旅ナカ・旅アトの情報発信）

旅ナカにおいては、訪問客が求める観光情報（観光ルートや観光ガイド、宿泊施設、交通アクセス等）や観光コンテンツ等を円滑に提供できるよう、デジタル化等によりワンストップで案内できる機能を持った新たな総合観光案内所を長崎駅に設置し、訪問客の利便性と満足度向上を図ります。

・B-2・3 安全安心・快適な滞在環境づくりとユニバーサルツーリズムの推進

新型コロナウイルス等の感染症対策に継続的に取り組むとともに、多言語対応や視覚的・聴覚的工夫など、多様な訪問客に対応する配慮によって、誰もが必要な情報を得られる案内を充実させ、ストレスフリーな滞在と回遊を実現します。

また、長崎空港のUTセンターと長崎市総合観光案内所の連携などにより、ユニバーサルツーリズムの推進に向けて快適な環境づくりを進めます。

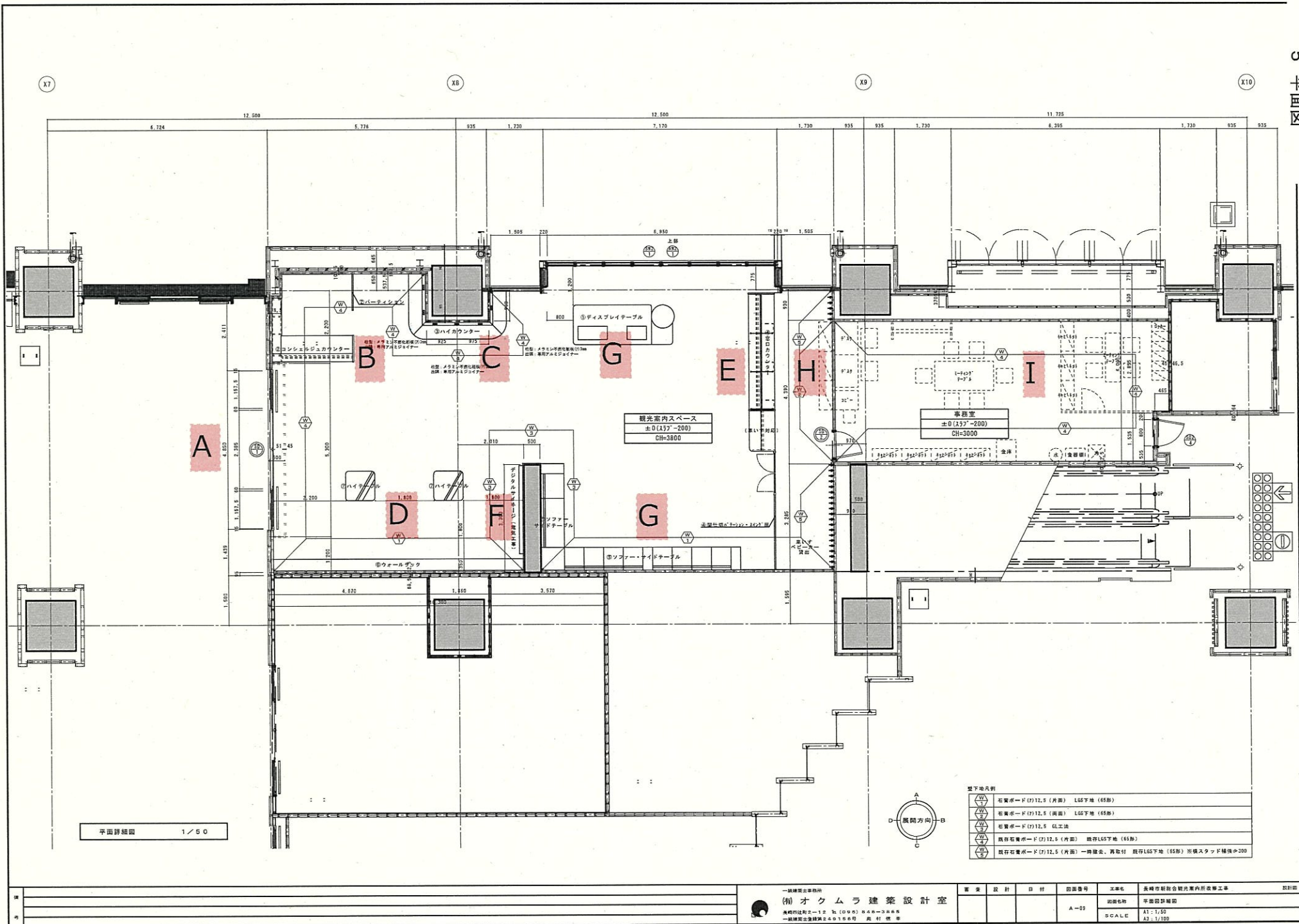
(3) 新総合観光案内所と現総合観光案内所の機能等の比較

ア 体制等

項目	新	旧
面積	200㎡	24.4㎡ ※仮設案内所 20㎡
人員体制	4名	3名

イ 主な業務内容

サービス名	新	旧
① 観光案内全般、② 運行情報の提供（新幹線、在来線の発車・到着時刻表） ③ マップ・パンフレットの配布、④ 多言語対応できるスタッフの配置 ⑤ 2次交通の案内・予約、⑥ 各種チケット販売、 ⑦ ガイド紹介（さるく含む）	○	○
⑧ 宿泊施設の案内・予約、⑨ 着地型旅行商品の販売	○	△
⑩ AIを活用したFAQ（タブレット等使用）、⑪ 遠隔手話通訳サービス ⑫ デジタルサイネージによるイベント情報・PR動画、⑬ 情報検索コーナー ⑭ コンシェルジュ（きめ細やかな観光案内を行う係員）の配置 ⑮ ユニバーサル・ツーリズムの受付、⑯ 車いす・ベビーカーの貸出 ⑰ スマホ充電設備の設置、⑱ 災害時情報発信	○	—



平面詳細図 1/50

壁下地凡例	
	石質床一F (F) 12.5 (片面) L65下地 (65影)
	石質床一F (F) 12.5 (両面) L65下地 (65影)
	石質床一F (F) 12.5 (両面) L65下地 (65影)
	既存石質床一F (F) 12.5 (片面) 既存L65下地 (65影)
	既存石質床一F (F) 12.5 (片面) 一時撤去、再取付 既存L65下地 (65影) ※橋スタッド補強φ200

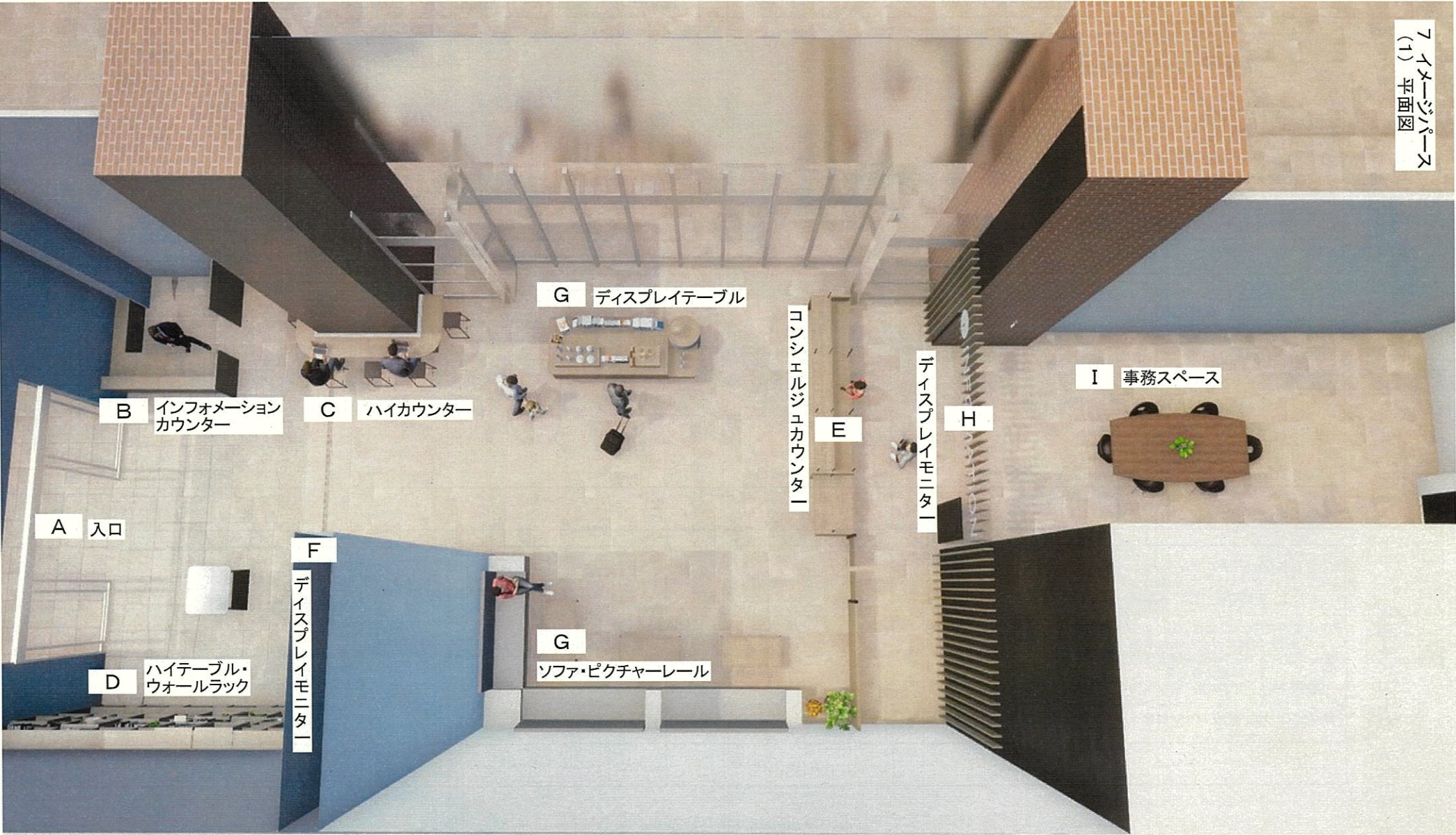


65

利用者動線	外観(入口、東口側)(A)	インフォメーションカウンター(B)	ハイカウンター(C)	ハイテーブル、ウォールラック(D)	コンシェルジュカウンター(E)
☆提供するサービスや機能	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合観光案内所の顕在化 ・案内所で提供するサービスの紹介 ・MICE含イベント開催情報、観光情報の発信 ・出島メッセでの催事の紹介 ・災害情報(緊急時)の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語での対応(英・韓or英・中が話せること) ・観光施設、観光名所、イベント情報、二次交通情報の案内 ※その他軽易なQA対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の検索 ・スマホ、タブレット等の充電 ・観光マップ等の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品等の紹介 ・イベント情報、観光情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語での対応(英・韓or英・中が話せること) ・観光施設、観光名所、イベント情報、二次交通情報の案内 ・宿泊施設の案内(市内すべて)・予約 ・着地型旅行商品の案内・販売 ・チケット等(電車・バス一日乗車券等)の販売 ・充電器、タブレットの貸出 ・ガイド紹介 ・ユニバーサルツーリズムの受付
その他付加機能	ディスプレイモニター(案内所内壁面)(F)	ディスプレイテーブル & ソファ & ピクチャーレール(G)	ディスプレイモニター(カウンター背面)(H)	事務スペース(バックヤード)(I)	その他
☆提供するサービスや機能	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE含イベント開催情報、観光情報の発信 ・出島メッセでの催事の紹介 ・災害情報(緊急時)の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品等の紹介 ・お連れの方、順番待ちの方の待機場所の確保 ・イベント情報、観光情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE含イベント開催情報、観光情報の発信 ・出島メッセでの催事の紹介 ・災害情報(緊急時)の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、FAX、メールの対応 ・事務作業(パンフレット発送、請求書作成等)として使用 ・会議場所として使用 ・休憩場所として使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用したFAQ ・遠隔手話通訳サービス

デジタルサイネージのイメージ





I 事務スペース

H デisplayモニター

E

コンシェルジュカウンター

G デisplayテーブル

C ハイカウンター

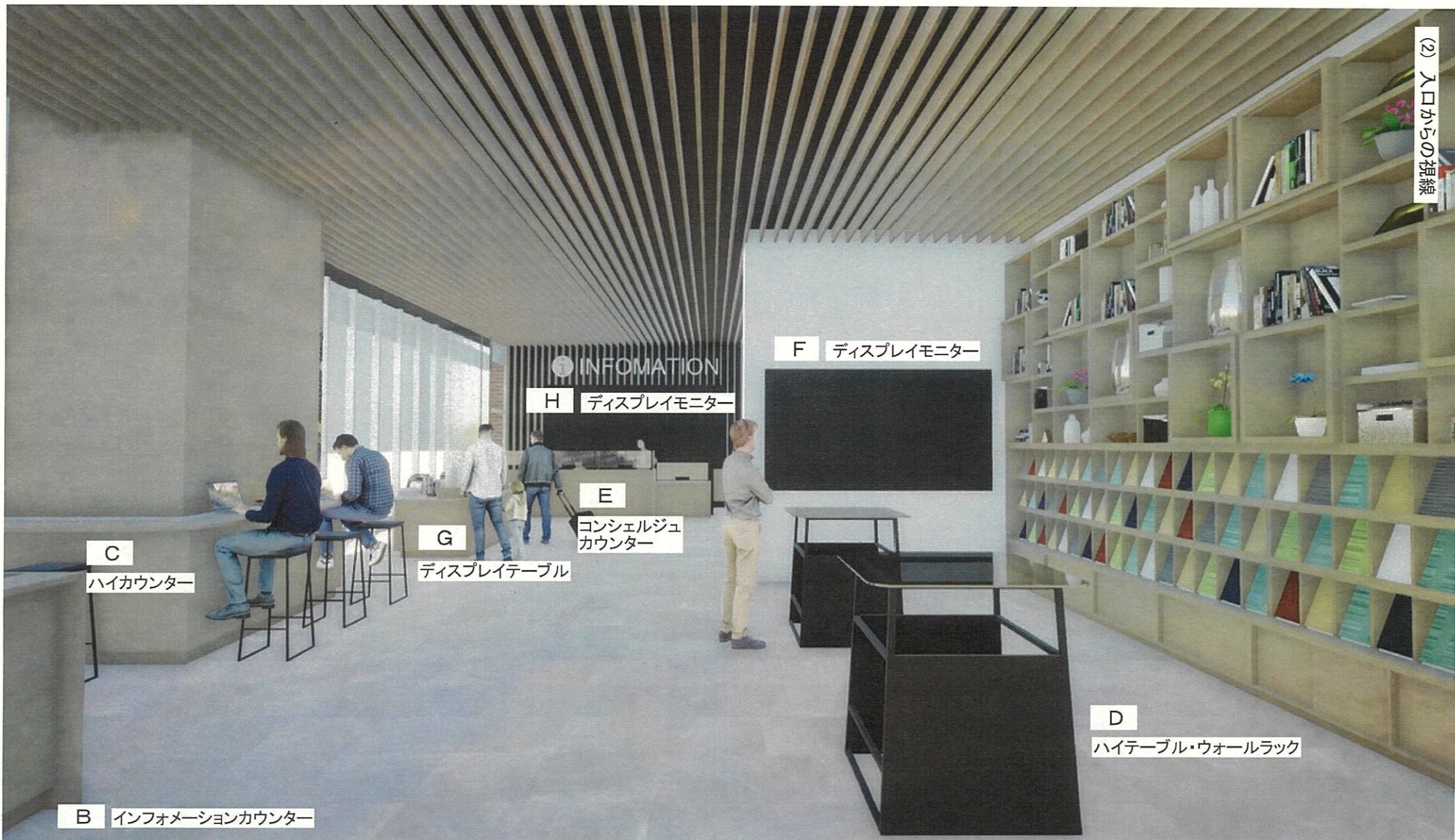
B インフォメーション
カウンター

A 入口

G ソファ・ピクチャーレール

F デisplayモニター

D ハイテーブル・
ウォールラック



D
ハイテーブル・ウォールラック

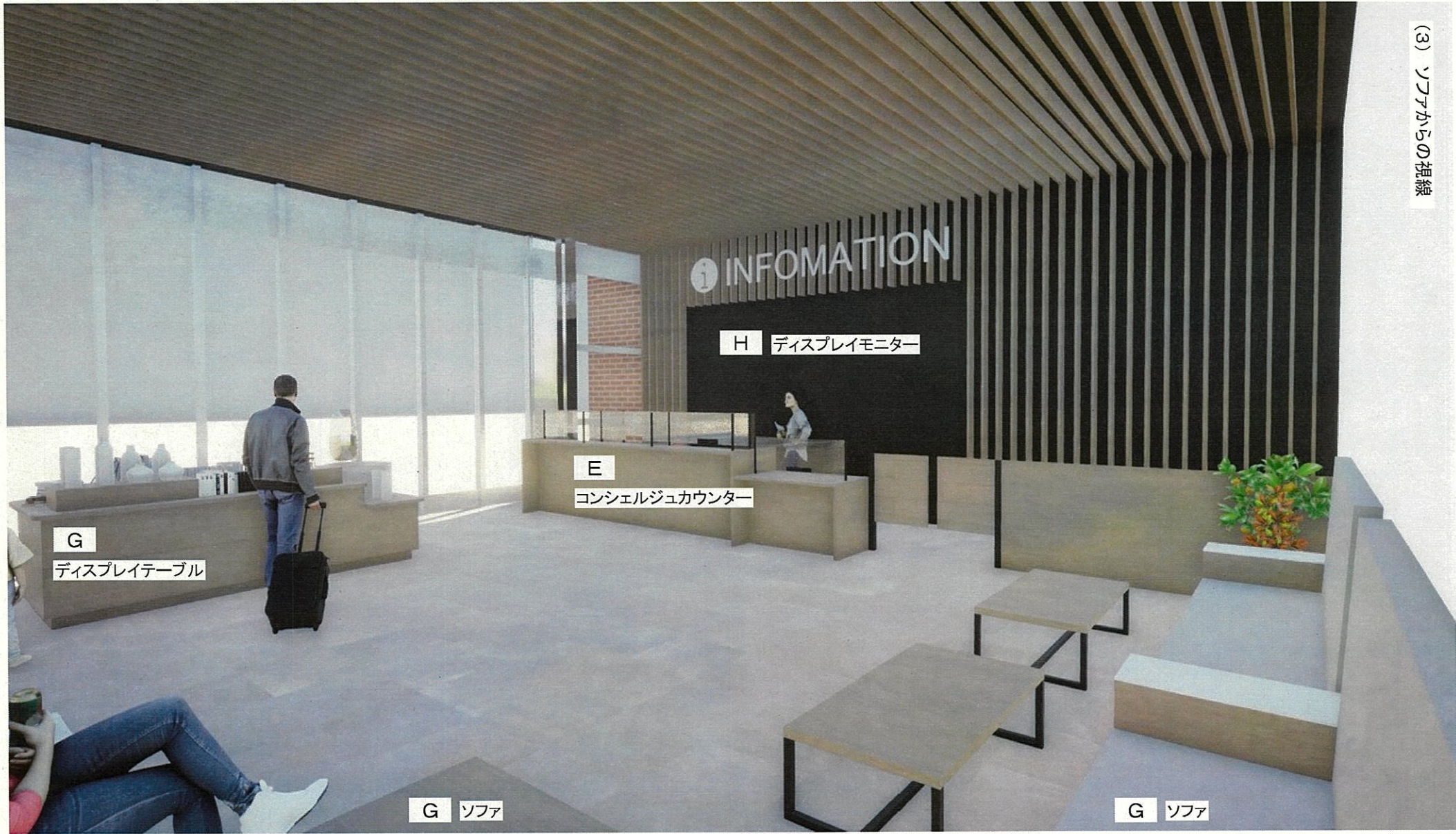
F
ディスプレイモニター

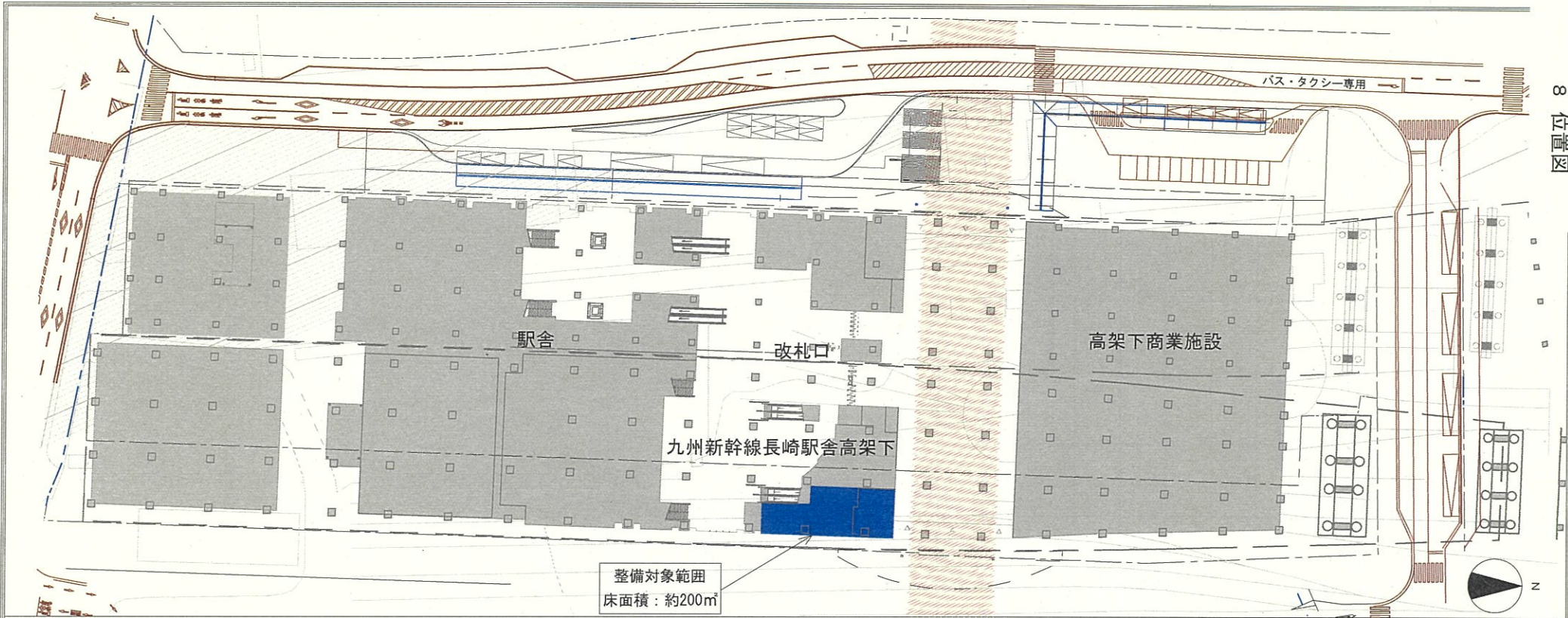
H
ディスプレイモニター

E
コンシェルジュ
カウンター
ディスプレイテーブル

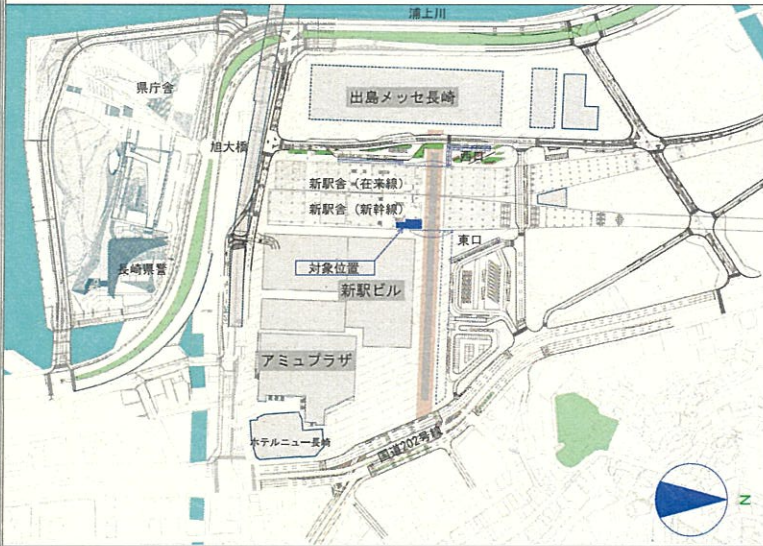
C
ハイカウンター

B
インフォメーションカウンター

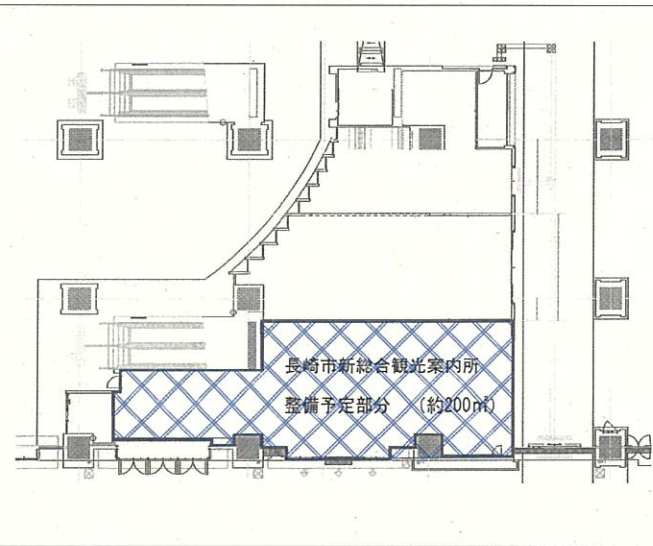




敷地図及び周辺配置図 S=1/400



案内図 Non Scale



平面図 Non Scale

長崎駅高架下総合観光案内所 案内図・配置図

9 今後のスケジュール(施工スケジュール)

	項目	R3				R4			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
変更前 〔当初スケジュール〕	JRから引渡し			→					
	工事契約			●					
	工期			→					
	案内所(高架下)供用開始					●	→	→	→
	新幹線開業					●	→	→	→
変更後 〔現スケジュール〕	JRから引渡し						→		
	工事契約				●				
	工期					→	→		
	案内所(高架下)供用開始						●	→	→
	新幹線開業						●	→	→

令和4年秋

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
234 ? 235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	11-1	【単独】観光施設整備事業費 出島	千円 96,100

1 概要

出島内には、第Ⅰ期（平成12年3月完成）復元建造物5棟、第Ⅱ期（平成18年3月完成）復元建造物5棟、第Ⅲ期（平成28年10月完成）復元建造物6棟が完成しており、他に旧出島神学校等の明治期の洋館等を含めて、全21棟の建物が存在している。このうち、第Ⅲ期復元建造物を除く15棟の建物については、経年劣化による傷み等が発生しているため、令和元年度に、年次改修計画を策定した。

この改修計画に基づき、入場者の見学への支障を最小限にとどめること等に配慮しつつ、緊急度の高い建物から計画的・効率的に改修工事を実施する。

2 事業内容

(1) 事業費

- ア 既存復元建造物改修工事設計業務委託 6,000千円
- イ 既存建物改修工事 90,100千円
 - ・カピタン部屋（外部塗装、屋根漆喰補修、壁漆喰補修、唐紙補修等）
 - ・乙名部屋（建具改修、雨戸やり替え）

(2) 改修工事の進め方

建物外部の覆いは5か月程度を予定しているが、この間、建物への入場は可能。ただし、カピタン部屋の内部漆喰補修施工時等は数週間程度ずつ、建物内の一部に入場できない時期がある。

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 96,100	千円 —	千円 —	千円 86,400	千円 9,700	千円 —

※1は地域活性化事業債 充当率90%（交付税措置率30%）

※2は出島史跡整備基金繰入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

出島内にある復元建造物及び明治期の洋館等の既存建造物を文化観光施設として永続的に活用しながら、入場者の安全確保と建造物の適切な保存を図るためには、経年劣化の程度を考慮しながら計画的に改修していく必要がある。

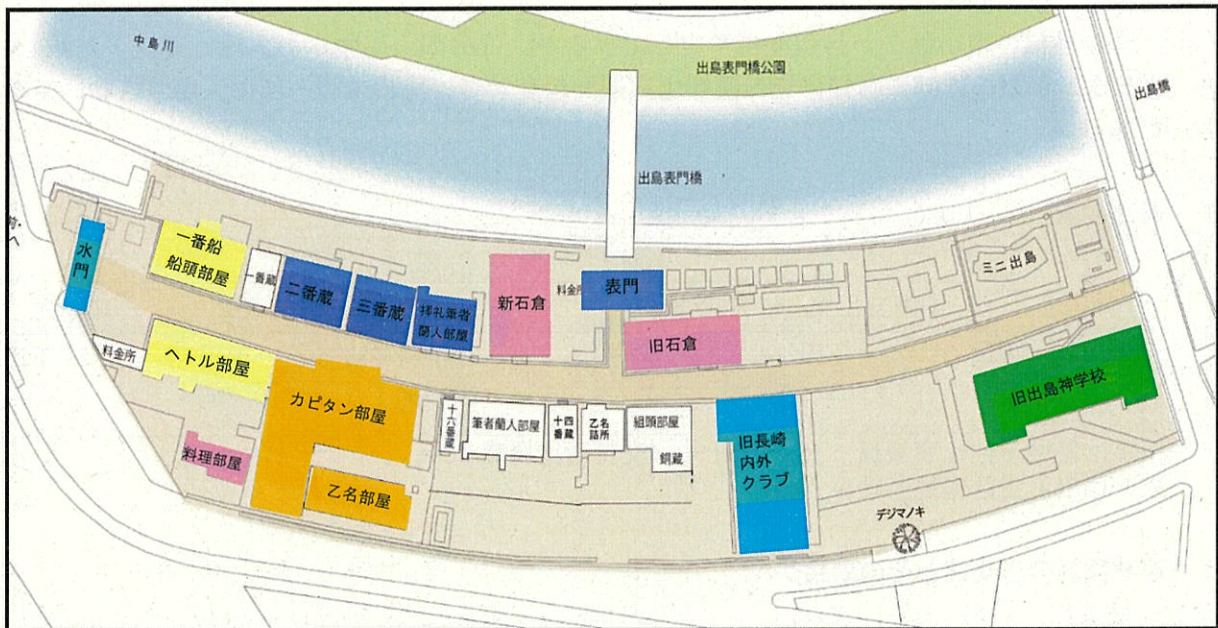
(2) 効果

既存建造物の改修を計画的かつ効率的に実施することで、入場者への危険を回避するとともに、出島の街並みを安全で美しい状態に保つことができ、入場者の満足度を向上させ、ひいては入場者の増加につながると考えられる。

5 今後の改修計画予定

年度	建物等	改修内容
令和4年度	カピタン部屋	外部塗装、屋根漆喰補修、壁漆喰補修、唐紙補修等
	乙名部屋	建具改修、雨戸やり替え
令和5年度	旧長崎内外クラブ	外壁補修、建具やりかえ等
	水門	外部塗装、瓦漆喰補修等
	乙名部屋	たたきやりかえ、外部塗装、瓦漆喰補修等
令和6年度	二番蔵	瓦漆喰補修、外壁漆喰補修等
	三番蔵	外部塗装、外部板張り補修、瓦漆喰補修等
	拝礼筆者蘭人部屋	たたきやりかえ、壁中塗りやりかえ等
	表門	外部漆喰塗りかえ、外部塗装等
令和7年度	旧出島神学校	外壁補修、建具やりかえ、瓦・瓦漆喰補修等
令和8年度	北側漆喰練塀	中塗りやり替え、漆喰やりかえ等
	一番船船頭部屋	外壁漆喰やりかえ、板庇やりかえ等
	ヘトル部屋	外部塗装、外壁漆喰やりかえ、板庇やりかえ等

(参考) 出島平面図

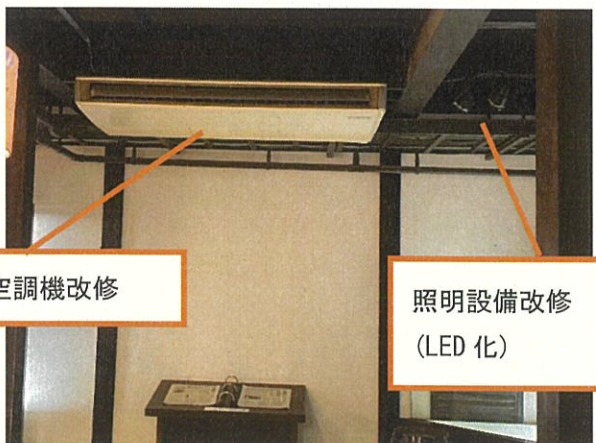
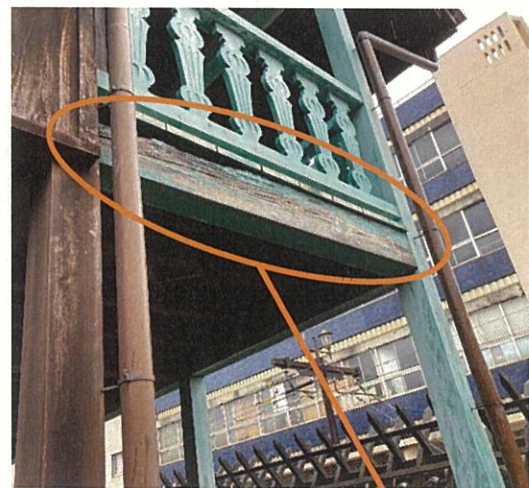


※令和元年度は、ヘトル部屋、カピタン部屋の2棟実施。

※令和2年度は、一番船船頭部屋、一番蔵、拝礼筆者蘭人部屋の3棟実施。

※令和3年度は、料理部屋、新石倉、旧石倉の3棟実施。(ピンク着色)

【カピタン部屋（平成 18 年復元）】



【乙名部屋（平成 18 年復元）】



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
234 ↳ 235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	11-2	【単独】観光施設整備事業費 旗竿再現（出島）	千円 2,700

1 概要

出島に設置されていたオランダ国旗を掲揚するための旗竿は、当時の出島を象徴する構造物であり、出島復元整備事業では旗竿の復元を計画しているが、遺構が検出されず、復元ができない。また、往時の旗竿は、大型構造物であったことから、設置にあたっての遺跡への影響等に配慮した工法の検討が困難な状況にある。

このような状況の中、出島においてオランダ国旗が翻っていた様子を再現し、和蘭商館として担った国際的な位置付けを顕在化することを目的として、往時の旗竿より簡易な構造物を、旗竿が設置されていたと推定される位置に設置する。

2 事業内容

(1) 令和4年度 実施設計業務委託 2,700千円

遺構への影響を及ぼさず、かつ安全性を確保した工法で旗竿を象徴的に再現するための設計に取り組む。

(2) 令和5年度 設置工事

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 2,700	千円 —	千円 —	千円 2,400	千円 —	千円 300

※ 地域活性化事業債 充当率 90% (交付税措置率 30%)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・ 旗竿の再現は、出島の歴史的価値を顕在化し、和蘭商館として出島が担った国際的な役割を視覚的に現代に伝え、理解促進を図るうえで有効である。
- ・ 旗竿は日蘭交流を象徴する構造物として、いったんは平成8年度に出島の中央部に設置され、その後、出島内の復元工事の進行に伴い平成24年度に撤去された経緯があり、長年再設置が望まれている。

(2) 効果

- ・ 出島に新しい魅力が生まれることにより、出島に関する情報が効果的に発信され、来場者の満足度向上、交流人口の増加につながる。
- ・ オランダと長崎との関係をさらに深めるとともに、シーボルト来日200周年にあたる令和5年度までの完成を目指すことにより、他事業と連携し、世界に向けて交流都市長崎をアピールする効果を高める。

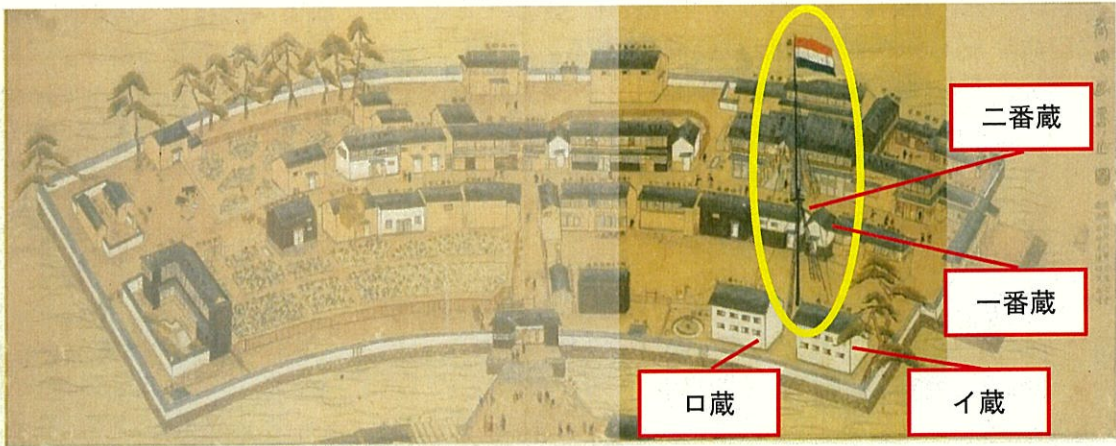
5 その他

(1) スケジュール

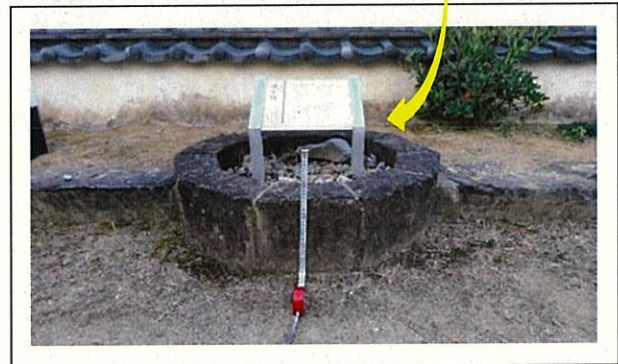
年度	内容
令和3年度	旗竿の再構築に向けた検討及び関係機関協議
令和4年度	簡易な旗竿の実施設計
令和5年度	簡易な旗竿の設置工事 ※完成後は、シーボルト来日200周年に係る事業の中でも活用予定。

(2) 設置場所

一番葦、二番葦や絵図面から推定される位置に設置する。



伝川原慶賀筆 長崎出島之図（19世紀初頭）【長崎大学経済学部附属図書館】



※現在、旗竿の推定位置を石で表示

(3) 設置イメージ



- ・ 江戸時代のような大型構造物（帆船のマスト状）ではなく、一本の棒状の簡易な旗竿で、高さは、復元建物の屋根より上部に旗が位置するように（約12～15m。本来の高さの半分程度）設置する。
- ・ 簡易な構造物とすることにより、大型の基礎を必要としない工法とし、遺跡への影響に配慮する。
- ・ 周囲の復元建物や河川への倒壊の恐れがないように安全面への配慮を行う。
- ・ 基礎の埋め方、見え方を検討し、修景に配慮する。揭示物などもあわせて検討する。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
236 ～ 237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	11-5	【単独】観光施設整備事業費 鳴滝塾模型	千円 4,100

1 概要

国指定史跡シーボルト宅跡においては、現在、遺構として井戸や石垣等が保存されているが、鳴滝塾建物の遺構は残されていない。ミュンヘン五大陸博物館所蔵の鳴滝塾模型は、近年、シーボルト直筆の解説原稿が発見され、建物の詳細を知ることができる重要な資料であることが明らかとなっている。このため鳴滝塾の復元に向けた検討資料として活用するためその模型の詳細調査及び複製を行う。

また、複製品はシーボルト記念館に展示して、鳴滝塾に関する歴史的価値の顕在化を図る。

2 事業内容

(1) 令和3年度（繰越）

模型複製製作に係る調査・図面作成

(2) 令和4年度 模型複製品製作・展示（シーボルト記念館）

令和3年度事業で取得するミュンヘン五大陸博物館所蔵の鳴滝塾模型のデータをもとに複製品を製作する。

・ 鳴滝塾模型レプリカ作成委託費 4,100 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
4,100	—	—	—	—	4,100

4 事業実施の必要性和その効果

(1) 必要性

- ・ 鳴滝塾模型は、シーボルト自身が製作させたものであり、その複製品は、今後、シーボルト宅跡における鳴滝塾復元について検討するために欠かせない資料となる。
- ・ 当時の様子が具体的に理解できる鳴滝塾模型の複製を製作し展示することは、シーボルトや鳴滝塾の歴史的価値を顕在化し、理解促進を図るうえで有効である。

(2) 効果

- ・郷土の歴史や文化に関する理解を深め、文化財の保存継承についての認識を促す。
- ・シーボルト宅跡、鳴滝塾に関する情報が効果的に発信され、見学者の満足度向上、交流人口の増加等につながる。

5 その他

(1) スケジュール

区 分	令和3年度				令和4年度			
	月	4	7	10	1	4	7	10
模型複製製作に係る調査・図面作成					→ (R3年度11月議会繰越済)			
模型複製品製作						→		

(2) 参考

- ・鳴滝塾家屋模型（ミュンヘン五大陸博物館所蔵）

本模型は、国立歴史民俗博物館等が実施した調査（2010年～2015年）で発見されたシーボルト自筆草稿中の記述により、江戸後期に製作された鳴滝塾の建物模型であることが確認されている。主に木材を使って製作されている精巧な模型である。鳴滝塾建物の詳細を把握することができる重要な資料であり、今後、シーボルト宅跡における鳴滝塾復元について検討する際の根拠資料の一つとして活用できるものと考えられる。



模型写真
(模型寸法：縦 32.0 cm × 横 60.4 cm × 高 57.0 cm)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
236 ～ 237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	11-6	【単独】観光施設整備事業費 ペーロン体験施設	千円 11,000

1 事業概要

牧島ペーロン体験施設（体験施設棟）については、錆びて腐食が進んでいる箇所が多数見受けられ、施設の外観に影響が出ているほか、現況を放置した場合、利用者の安全確保に問題が生じる可能性があり、早急な対応を要する状況となっている。

本施設は、以下の理由により、今後も引き続き健全に運営していく必要があることから、体験施設棟の建替えを実施することとし、建替えに伴う実施設計及び土質調査を行うもの。

【理由】

(1)長崎の伝統行事であるペーロンを体験することができる本施設は、体験型観光メニューの1つとして、主に修学旅行で利用されており、平成8年度から令和2年度まで、延べ404,976人(3,179校)が利用する等、本市における観光業を通じた交流人口の拡大に大きく寄与しているほか、ペーロンの保存継承にも役立っている。

(2)体験施設棟が使用できなくなることは、施設そのものの休止あるいは廃止につながることであり、仮に休止あるいは廃止する場合、本市の修学旅行先としての魅力度低下、ひいては、年間約1万人～2万人の交流人口を創出する機会の減にもつながる。

2 施設概要

(1)設置目的：長崎の伝統行事であるペーロン体験の受入態勢を整備することにより、体験型修学旅行の誘致促進を図る。

(2)所在地：長崎市牧島町413-39及び413-40

(3)体験料：1,500円/人（小学生は1,300円/人）

(4)運営管理者：牧島ペーロン保存愛好会

※市と愛好会とで平成13年4月1日付で施設管理に関する協定書を締結

(5)利用者数

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
体験者数 (人)	18,941	18,776	12,829	16,852	17,436	12,774	3,799
校 数 (校)	146	128	84	120	130	90	31

※R元年度及び2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少。

3 事業内容

(1) 牧島ペーロン体験施設（体験施設棟）建替えに伴う実施設計業務委託（4,891千円）
新築設計、既存解体設計、電気・機械設備設計等

(2) 牧島ペーロン体験施設（体験施設棟）建替えに伴う土質調査業務委託（6,069千円）
ボーリング調査・掘削、標準貫入試験、試験結果解析等

(3) スケジュール（予定）

令和4年4月～10月	実施設計業務委託、土質調査業務委託
令和5年4月～令和6年3月	建替え工事※
令和6年4月～	供用開始

※建替え工事期間中は、体験施設棟以外の棟を使用し、受入人数を絞って供用継続予定

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 11,000	千円 -	千円 -	千円 9,900	千円 -	千円 1,100

※地域活性化事業債（充当率：90%）

5 建替え後の建物の規模等（既存の建物と同程度）

(1) 構造：鉄骨造2階建て

(2) 延床面積：約370㎡

(3) 機能：ペーロン船格納庫（6隻程度格納）、事務所、更衣室×2、男女便所、倉庫、プロパン庫、シャワー室等

6 事業実施の必要性と効果

(1) 必要性

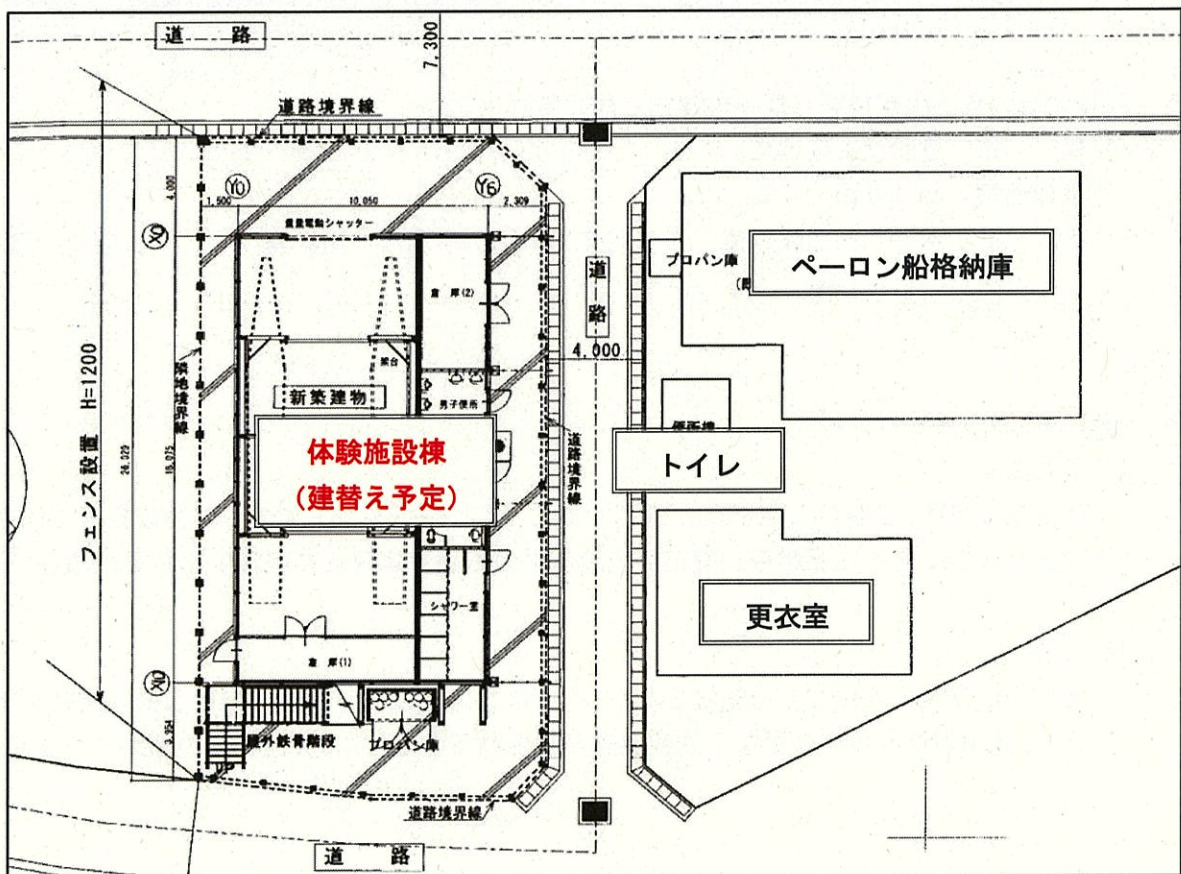
体験施設棟は、全体的に老朽化が進行しており、ピンポイントでの改修や修繕等では対応できない状態にあることから、適正な施設運営のため、建替えを実施する必要がある。

(2) 効果

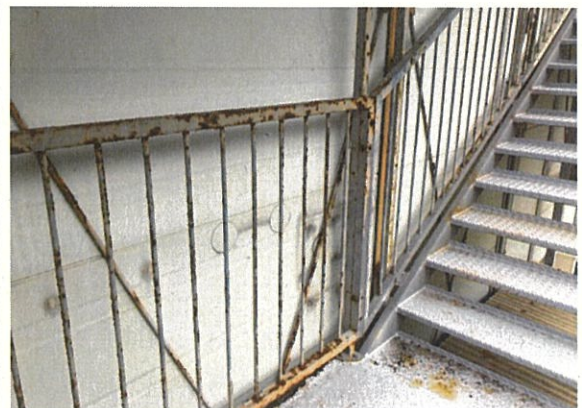
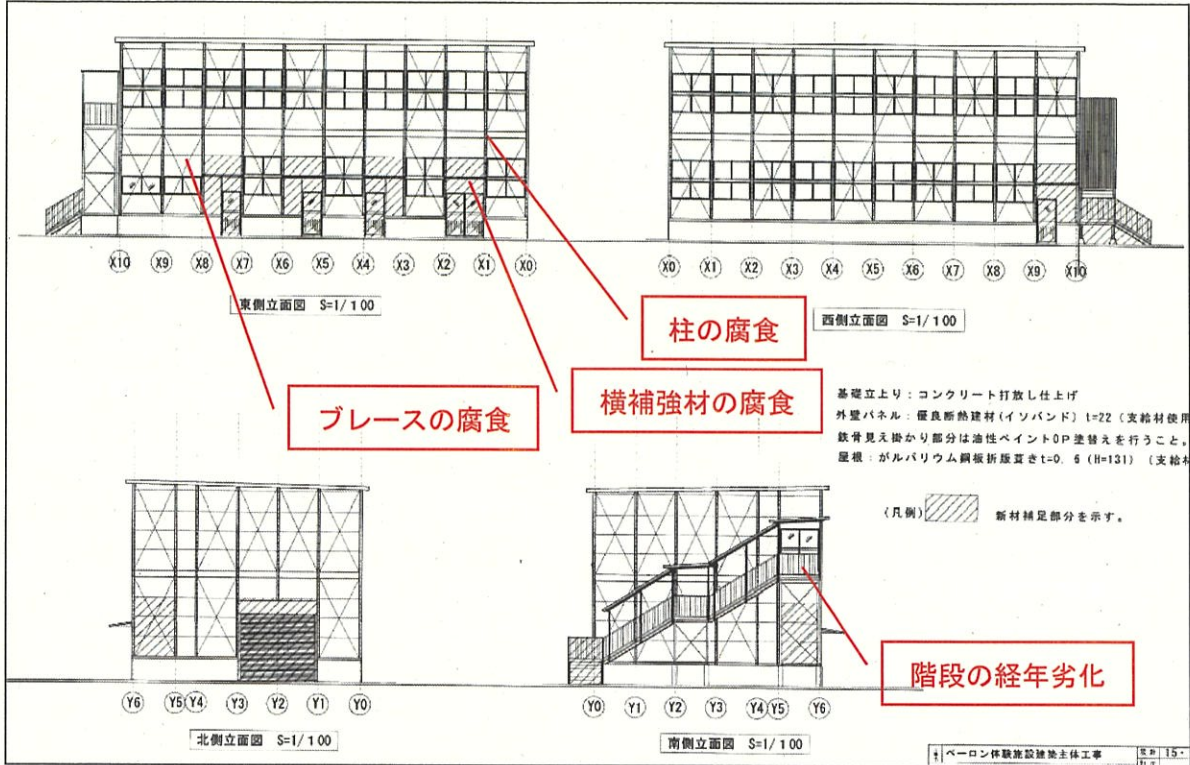
本施設が安全に利用できる施設となり、ペーロン体験のハード面における受入態勢が整うことで、体験型修学旅行の更なる誘致促進が図られるとともに、交流人口の拡大につながる。

7 参考

(1) 位置図及び平面図



(2) 現況



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
288 ? 289	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	1-12	長崎郷土芸能保存協議会 補助金	千円 11,981

1 概要

市内各地域の伝統ある優れた郷土芸能の保存・継承を目的として活動する「長崎郷土芸能保存協議会」に補助金を交付し、長崎郷土芸能大会の開催を通じて郷土芸能の保存・継承を図る。

2 事業内容

(1) 補助金の交付先 長崎郷土芸能保存協議会（加盟団体：50 保存会）

(2) 補助対象事業

- ア 長崎郷土芸能大会開催費（出演団体補助金を含む）
- イ 後継者育成費補助金
- ウ 事務費

(3) 主な変更点

ア 出演団体数の拡大（令和4年度のみ）

長崎郷土芸能大会には例年5 団体が出演している。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が2 年連続で中止となり、令和4 年度は3 年ぶりの開催となるため、加盟団体に対する大会への出演機会の拡大を目的として、出演団体数を拡大し、11 団体の出演を予定している。

（ア）出演団体（予定）

協議会加盟団体 10 団体

ゲスト出演団体 1 団体（大薩摩黒丸踊保存会：大村市）

（イ）経費

出演団体補助金 7,500 千円（750 千円×10 団体）

ゲスト出演団体への謝礼金 600 千円

イ 後継者育成費補助金（新設）

現在、文化財指定の有無にかかわらず、郷土芸能の保存継承が困難になってきており、令和2 年度をもって活動困難を理由に長崎郷土芸能保存協議会から2 団体が退会し、また現在加盟している団体においても、10 団体程度が活動休止に近い状況にある。

長崎郷土芸能保存協議会に加盟している団体のうち、市の無形民俗文化財の指定を受けている7 団体については、無形民俗文化財保存育成費補助金として、隔年で団体が行う後継者育成活動に対し補助金を交付しているが、指定を受けていない43 団体への支援は長崎郷土芸能大会への出演団体補助金に限られるため、当該団体に対しても市指定団体と同様の後継者育成活動に対する補助制度を新設する。

(ア) 交付予定数

20 件

(イ) 経費

後継者育成費補助金 1,000 千円 (50 千円×20 団体)

	無形民俗文化財保存育成費補助金	長崎郷土芸能保存協議会補助金 (後継者育成費補助金)
交付対象	市の無形民俗文化財の指定を受けている団体 (7 団体)	長崎郷土芸能保存協議会に加盟している左記以外の団体 (43 団体)
補助対象経費	後継者育成活動に必要な経費 (指導者謝礼金、衣装等消耗品の購入費、クリーニング代、会場借上料 など)	同左
補助率	1/2	同左
補助上限額	1 団体あたり 50 千円	同左

※市の無形民俗文化財の指定を受けている団体に対しては、後継者育成に係る上記経費以外にも、保存継承のために必要な楽器、機材などの用具等の購入、制作、修繕に係る経費を補助対象とする制度がある。

(4) 収支予算

収 入		支 出		
補助金	11,981 千円	大会開催経費	出演団体補助金	7,500 千円
広告料収入	100 千円		ゲスト出演団体謝礼金	600 千円
前年度繰越金	188 千円		その他	2,781 千円
			後継者育成費補助金	1,000 千円
			事務費 (理事会、総会開催費等)	200 千円
			予備費	188 千円
計	12,269 千円		計	12,269 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 11,981	千円 5,440	千円 -	千円 -	千円 -	千円 6,541

※地方創生推進交付金 50%

(対象経費：大会開催経費 (新幹線開業 PR ブース出展事業) 10,881 千円)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

知識・技術の習得や人材育成をはじめとした各地域における郷土芸能の保存・継承活動を支援するため、経費の助成が必要である。

(2) 効果

「長崎郷土芸能大会」を開催することにより、各地域で保存・継承されてきた郷土芸能を市民に広く周知することができ、出演団体における保存・継承活動の存続と地域コミュニティの醸成が図られる。

また、後継者育成費補助金を新設することにより、市の無形民俗文化財の指定を受けていない団体に対し、市指定団体と同様の後継者育成活動に対する補助を行うことができ、各地域における郷土芸能の保存・継承が図られる。

【参考】

1 令和4年度 第45回長崎郷土芸能大会開催概要（予定）

日 時：令和4年9月25日（日） 9：30～16：30 ※例年は13：00～16：00

会 場：市民会館 体育館

入場料：無料

2 長崎郷土芸能大会開催実績

年 度	開催日・開催場所	出演保存会 (地区名)	来場者数
平成29年度 (第42回)	平成29年10月1日 市民会館 体育館	・長崎シャギリ (東長崎) ・馬場本浮立 (東長崎) ・高浜八幡神社大祭奉納相撲 (野母崎) ・横尾だんじり (西浦上) ・住吉コッコデショ (西浦上)	1,860人
平成30年度 (第43回)	(台風接近のため中止)	・安珍清姫 (式見) ・長崎明清楽 (中央) ・間の瀬狂言 (東長崎) ・蠣道浮立 (東長崎) ・長崎半島樺島ハイヤ節 (野母崎) ※大会中止のため、出演予定団体を記載	
令和元年度 (第44回)	令和元年9月29日 市民会館 体育館	・矢上平野浮立 (東長崎) ・相川町月の輪太鼓 (式見) ・長崎半島樺島ハイヤ節 (野母崎) ・中尾獅子浮立と唐子踊 (東長崎) ・滑石竜踊 (西浦上)	1,120人

※令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
288 ? 289	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-1	【補助】文化財保存整備 事業費 国指定重要文 化財旧長崎英国領事館	千円 302,500

1 概要

明治41年の建設以来、大規模な修理等がなされておらず、地盤沈下や建物の傾斜、外壁の劣化等が進行している旧長崎英国領事館について、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事を実施するとともに、公開活用に必要な防災施設等を整備する。

<建物>

本 館 煉瓦造2階建 棧瓦一部銅板葺 建築面積 464.70 m²
 附 属 屋 煉瓦造平屋建 棧瓦一部鉄板葺 建築面積 109.4 m²
 職員住宅 煉瓦造・木造2階建 棧瓦一部鉄板葺 建築面積 219.70 m²

2 事業内容

(1) 保存修理、耐震補強工事

事業期間：平成27年度～令和7年度

令和4年度：300,000千円

本 館：屋根復旧、外壁補修、木造作復旧、左官下地復旧、建具復旧

附 属 屋：外壁補修、木造作復旧、左官下地復旧、建具復旧

職員住宅：左官仕上復旧、鋼管杭打設、基礎補強

(2) 防災施設整備（公開活用に必要な整備）

事業期間：令和3年度～令和7年度

令和4年度：0千円

(3) 活用施設整備（公開活用に必要な整備）

事業期間：令和3年度～令和7年度

令和4年度：1,500千円

エレベータ及び通路屋根基礎工事

(4) その他（敷地境界確定に係る業務委託）

事業期間：令和4年度

令和4年度：1,000千円

3 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

旧長崎英国領事館においては、創建以来、本格的な保存修理が行われておらず、劣化した本館、附属屋、職員住宅などの建造物及び石塀等の工作物を含む全体の保存修理、耐震補強工事等を行い、その保存と活用を図る必要がある。

(2) 効果

長崎港に面する重要伝統的建造物群保存地区内にある重要文化財で、景観の主軸となる建造物等の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

4 財源内訳

(単位：千円)

区分	事業費	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	一般財源
保存修理	300,000	※1 150,000	※3 7,500	※4 142,500	0
防災	0	—	—	—	—
活用	1,500	※2 825	—	※5 600	75
その他	1,000	—	—	—	1,000
計	302,500	150,825	7,500	143,100	1,075

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率：50%（建造物保存修理）

※2 観光拠点整備事業（文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業）
補助率：55%（上限 5,000 万円）

※3 指定文化財保存整備事業補助金 補助率：国庫支出金を除く 2/5

※4 合併特例事業債 充当率：95%（交付税措置率 70%）

※5 一般補助施設整備等事業債 充当率：90%（交付税措置率 30%）

5 活用の検討

旧長崎英国領事館修理委員会（長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会が設置する小委員会）の意見を踏まえ、令和元年度から令和2年度にかけて保存活用計画を策定した。

<旧長崎英国領事館活用の基本方針>

- ・重要文化財としての価値や歴史に関する情報を発信
- ・領事の仕事や生活に関する情報を発信
- ・芸術の発信、人々の交流拠点

(1)本館

- 1階 英国領事館の価値や歴史に関する情報を発信
- 2階 野口彌太郎に関する展示（絵画、資料、アトリエ展示等）

(2)附属屋及びオープンテラス

英国の雰囲気を感じ、飲食を提供することも可能な交流・憩いの場として活用

(3)職員住宅

ミュージアムショップ、貸室等として多目的に活用

6 長崎居留地歴まちグランドデザイン

長崎市歴史的風致維持向上計画の重点区域の範囲（東山手・南山手区域）において歴史的資源を生かしたまちづくりに官民協同で取り組み、地域の歴史的風致の維持向上を図ることで持続可能な地域を実現するため、将来像とその実現のための基本的な方向性を示すことを目的として計画を策定している。（令和3年11月）

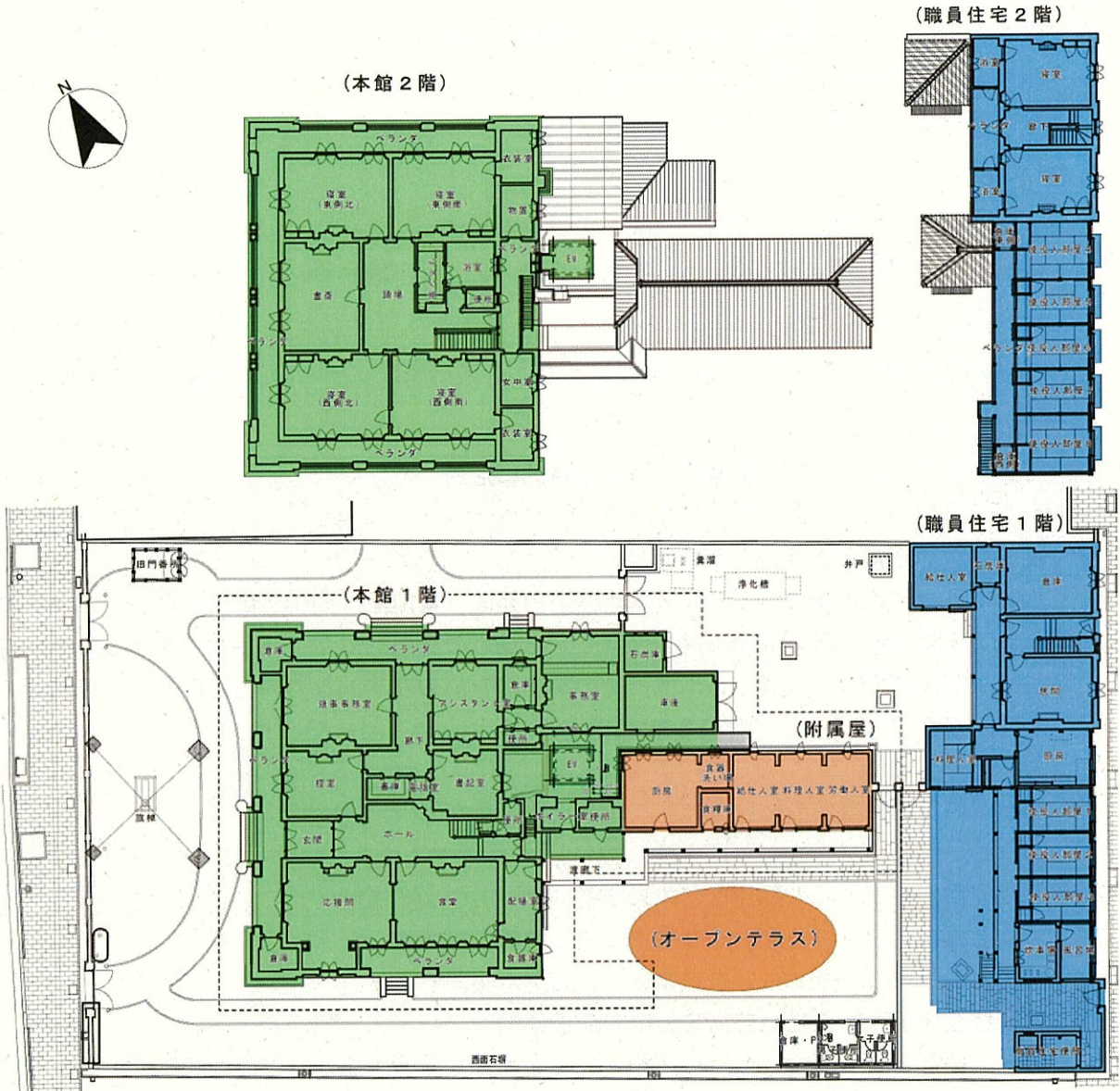
<旧長崎英国領事館の位置付け>

暮らし・賑わいゾーンにおける陸のゲート

- ・観光案内やガイドの拠点などの来訪者のゲートウェイ機能
- ・重要文化財建造物の魅力や歴史を伝える情報発信機能
- ・当時の領事の仕事や生活を追体験できる展示機能
- ・区域全体の歴史文化や芸術等の情報発信機能
- ・魅力的な物販・飲食やワークスペース等の多様な機能が集積した地域活性化・交流拠点機能
- ・英国との国際交流の歴史を生かしたコンテンツの創出

【参考】旧長崎英国領事館

1 平面図



- 【凡例】
- : 本館
 - : 附属屋及びオープンテラス
 - : 職員住宅

2 建物外観



本館



附属屋



職員住宅（煉瓦棟）



職員住宅（木造棟）

3 沿革

明治 41 年	旧長崎英国領事館現在地に竣工
昭和 17 年頃	英国領事館閉鎖
昭和 30 年	長崎市買収
昭和 32 年	長崎市立児童科学館設置
平成元年 3 月 31 日	長崎県有形文化財指定
平成 2 年 3 月 19 日	国重要文化財に指定（県指定有形文化財解除）
平成元年度～平成 2 年度	職員住宅保存修理工事実施
平成 3 年度～平成 4 年度	美術館として活用するため保存整備工事実施
平成 5 年 4 月	長崎市野口彌太郎記念美術館として開館
平成 19 年 3 月	長崎市野口彌太郎記念美術館を移転し閉館
平成 23～平成 24 年度	保存修理事業（建造物の破損調査及び構造補強方針策定）
平成 26～平成 30 年度	保存修理第 1 期工事実施
平成 30 年度（3 月）	保存修理第 2 期工事に着手
令和元年度（9 月）	保存活用計画策定に着手
令和 3 年 3 月	保存活用計画策定

旧長崎英国領事館保存整備事業(スケジュール)

事業年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			計	
	月	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1		
継続費		千円 150,000			千円 500,000			千円 400,000			千円 450,000			千円 400,000			千円 400,000			千円 400,000			千円 300,000			千円 300,000			千円 300,000			千円 311,000			千円 3,911,000
保存 修理	1 期 工 事	<p>1期工事①(建物の解体・格納、土留、素屋根及び揚屋工事) 決算額:1,174,967,640円(工期:H27.9.24~H30.12.28)</p> <p>1期工事② 決算額:5,011,200円(工期H30.12.19~H31.3.20)</p> <p>設計監理業務等(1期工事) 決算額:319,091,400円(期間:H27.2.22~H31.3.20)</p>																														(1,500,000)			
	2 期 工 事	<p>2期工事(建物の構造補強、保存修理工事) 予算額:約1,940百万円(工期:H31.3.15~R7.6.30) 契約額:1,929,647,600円</p> <p>設計監理業務等(2期工事) 予算額:約471百万円(期間:H31.3.25~R7.9.30) 契約額:463,938,160円</p>																														(2,411,000)			
防災 活用 展示 その他	<p>保存活用計画策定 契約額:9,526,000円(期間:R元.9.24~R3.3.30)</p> <p>防災・活用設計 予算額:約29百万円</p> <p>(エレベータ・通路屋根) 基礎工事</p> <p>(敷地境界確定に係る業務委)</p> <p>(防災・活用整備)</p> <p>(展示設計・整備)</p>																																		

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
288 ～ 289	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-2	【補助】文化財保存整備 事業費 国指定重要文 化財旧オルト住宅	千円 13,000

1 概要

旧オルト住宅は、タスカン風列柱のベランダ中央に切妻屋根のペディメントを持つポーチがあり、軒高の高い堂々たる偉容で、幕末明治期洋館遺構中の最も秀でた建物で、昭和47年5月15日に国の重要文化財に指定されている。しかし、前回の保存修理工事から約40年が経過し、建物各所で経年劣化が進行している。

また、令和元年度から2年度にかけて実施した耐震診断により、部分的に耐震補強が必要であることが判明していることから、耐震補強を含む保存修理工事を行うもの。

2 事業内容

- (1) 建物概要
- | | | | |
|-----|-----------|-----|---------------------------|
| 主屋 | 木造及び石造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 504.1 m ² |
| 付属屋 | 煉瓦造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 108.1 m ² |
| 倉庫 | 煉瓦造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 12.5 m ² |

(2) 実施内容 保存修理・耐震補強工事

ア 保存修理工事（主屋・付属屋・倉庫）

- (ア) 屋根瓦の葺き替え
- (イ) 外部：石・煉瓦の含浸強化処理、建具等の塗装改修
- (ウ) 内部：漆喰改修、天井及び壁の紙貼改修、建具等の塗装改修
床板改修

イ 耐震補強工事（主屋・付属屋）

- (ア) 煉瓦煙突の補強（鉄筋挿入）
- (イ) 石柱の柱頭及び柱脚補強（ダボ埋込・水平ブレース設置）
- (ウ) 外部石壁補強（石積み頂部を内部軸組へ緊結）
- (エ) 土壁下土台補強（足固め）
- (オ) 煉瓦躯体の補強（鉄骨補強・アラミドロッド目地置換）

令和4年度

設計監理業務委託

仮設工事（一部）

(3) 実施期間 令和4年度～令和7年度

(4) 事業費 令和4年度 13,000千円

工事費 6,402千円

委託費 4,169千円

委員会費等 2,429千円（旅費を含む）

3 財源内訳

事業費	財源内訳			
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源
千円 13,000	千円 5,350	千円 2,140	千円 4,900	千円 610

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率：1/2（補助対象経費 10,700 千円）

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率：国庫支出金を除く 2/5

※3 一般補助施設整備等補助事業債 充当率：90%（交付税措置率：30%）

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

以前の保存修理（昭和 54 年終了）から約 40 年が経過し、建物の劣化が進んでいる状況の中、平成 26 年度には保存活用計画を策定しており、旧オルト住宅の適切な保存管理と公開活用を図るため、同計画に基づく本格的な保存修理及び耐震補強工事を行う必要がある。特に、多くの観光客等が来訪する施設であり、安全性確保のうえで早急な事業実施が求められる。

(2) 効果

文化財建造物の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

5 スケジュール

<旧オルト住宅保存修理事業>

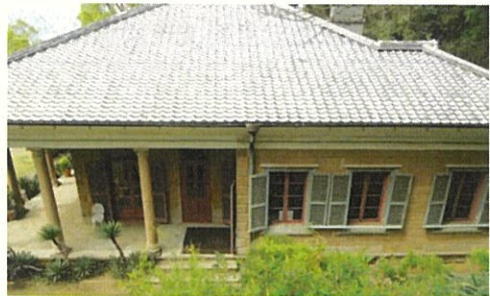
年 度	平成						令和							
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6	R.7	
事業 内容	■■■■■■■■■■▶ 保存活用計画策定						■■■■■■■■■■▶ 耐震診断			—————▶ 設計・工事監理業務				
										—————▶ 保存修理・耐震補強工事				

6 建物外観

ア 主屋（西側）



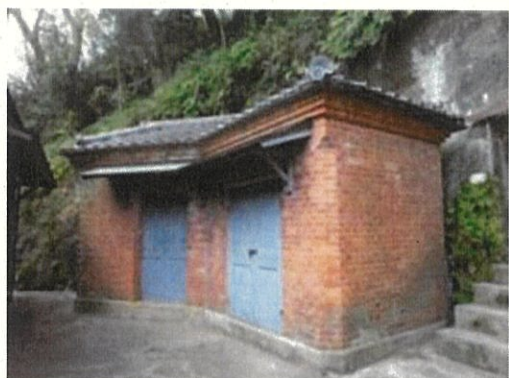
イ 主屋（南側）



ウ 付属屋



エ 倉庫



7 沿革

文久3年（1863）

オルト商会社員シムソンとベッドウェルが南山手 14 番地を借地

慶応元年～明治元年

オルト一家が居住

明治 36 年～昭和 16 年

リンガーが購入し、長男フレデリック・E・E・リンガー一家が居住

昭和 45 年

長崎市が取得

昭和 47 年

重要文化財の指定を受ける

昭和 49 年

グラバー園オープン

昭和 52 年～54 年

保存修理事業（半解体工事）

平成 25 年～26 年

保存活用計画策定

令和元年～令和 2 年

耐震診断実施

継続費		期 間	総事業費
第2表 ページ	事 項		
328~329	文化財保存整備事業 国指定重要文化財旧オルト住宅	令和4年度 ~令和7年度	千円 600,000

1 継続費の目的

旧オルト住宅は、昭和50年度から昭和52年度に行った大規模な修理から40年余り経過しており建物の随所に劣化がみられることから、耐震補強工事を含めた保存修理工事を実施する。

当該事業については、建物を部分的に解体し格納したうえで復原を行い、保存修理・耐震補強を行うものであり、建造物等の解体状況に応じ、計画的かつ段階的に事業を行っていかねばならないため、令和4年度から令和7年度までに係る事業費について、継続費を設定するもの。

※継続費とは・・・二会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：円

事業年度	事業費	内 訳		
		工事費	設計・監理費	その他
令和4年度	10,700,000	6,402,000	4,169,000	129,000
令和5年度	205,600,000	185,559,000	19,800,000	241,000
令和6年度	239,800,000	224,202,000	15,510,000	88,000
令和7年度	143,900,000	131,436,800	12,375,000	88,200
総事業費	600,000,000	547,599,800	51,854,000	546,200

※令和5年度～令和7年度については予定金額である。

(1) 工事内容

ア 重要文化財旧オルト住宅の主屋、付属屋、倉庫の保存修理、耐震補強工事

(2) 設計・監理業務内容

ア 重要文化財旧オルト住宅の主屋、付属屋、倉庫の工事監理。

イ 工事中の痕跡調査等に基づく設計変更や現状変更許可申請書の作成。

ウ 委員会運営に対する支援業務

3 財源内訳

単位：千円

事業年度	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	その他	一般財源
R 4	10,700	5,350	2,140	2,800	—	410
R 5	205,600	102,800	10,300	92,500	—	—
R 6	239,800	119,900	12,000	107,900	—	—
R 7	143,900	71,950	7,250	64,700	—	—
計	600,000	300,000	31,690	267,900	—	410

※1…国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率：1/2

※2…指定文化財保存整備事業補助金 補助率：国庫支出金を除く 2/5 *

※3…一般補助施設整備等事業債 充当率：90%（交付税措置率 30%）

* 指定文化財保存整備事業補助金の詳細

〈年度事業費が1億円未満の場合〉

年度事業費 (①)			
国庫支出金 (②) 1/2 (50%)	県支出金 (③) 国庫支出金を 除く 2/5 (20%)	市負担	
		地方債 ①-②-③×90% (27%)	一般財源 (3%)

〈年度事業費が1億円以上の場合〉

年度事業費 (①)			
国庫支出金 (②) 1/2 (50%)	市負担		
	地方債 ①-②×90% (45%)		一般財源 (5%)
	交付税措置 (13.5%)	真水負担 (31.5%)	
市負担 (18.9%)		県支出金 2/5 (12.6%)	

市負担 (3%)
県支出金 2/5 (2%)

予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
288 ～ 289	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	4-1	【補助】文化財保存整備事業費補助金 伝統的建造物群保存地区	千円 93,623

1 概要

国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の保存修理等事業に対し、長崎市伝統的建造物群保存地区保存条例第11条の規定に基づき、事業費の一部について補助を行うもの。

2 事業内容

伝統的建造物群保存地区内の特定された伝統的建造物の保存修理等事業に対する補助。
(伝統的建造物 補助率：対象事業費の2/3)

3 対象事業

(1) マリア園(南山手)：伝統的建造物の保存修理・耐震補強工事

<建物>

建築年月日 明治31(1898)年

特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

H30年度：耐震診断・設計 25,855千円(総事業費 38,783千円)

R元年度：耐震設計・工事 37,567千円(総事業費 56,351千円)

R2年度：耐震補強工事 30,182千円(総事業費 45,274千円)
(繰越：令和3年2月補正)

R3年度：耐震補強工事 91,948千円(総事業費 137,922千円)
(繰越：令和3年11月補正)

R4年度：耐震補強工事 86,066千円(総事業費 129,100千円)

R5年度：耐震補強工事 376,930千円(総事業費 565,395千円)「予定」

事業スケジュール

区分	H30			R元			R2			R3			R4			R5			
	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	
耐震診断・設計			→																
外壁修理工事						→													
耐震補強工事									→									

※令和6年開業予定

(2) A氏宅(南山手) : 伝統的建造物の保存修理工事

<建物>

建築年月日 明治中期

特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

R4年度: 保存修理工事 1,615千円 (総事業費 2,422千円)

(3) B氏宅(南山手) : 伝統的建造物の保存修理工事

<建物>

建築年月日 明治中期

特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

R4年度: 保存修理工事 1,538千円 (総事業費 2,307千円)

(4) C氏宅(南山手) : 伝統的建造物の保存修理工事

<建物>

建築年月日 明治中期

特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

R4年度: 保存修理工事 4,404千円 (総事業費 6,607千円)

4 財源内訳

補助対象	総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳			事業者(主) 負担額 ①-②
			国庫支出金 (5/10) ※1	県支出金 (2/10) ※2	一般財源 (3/10)	
マリア園	129,100	(2/3) 86,066	43,033	17,213	25,820	43,034
A氏宅	2,422	(2/3) 1,615	807	323	485	807
B氏宅	2,307	(2/3) 1,538	769	308	461	769
C氏宅	6,607	(2/3) 4,404	2,202	880	1,322	2,203
計	140,436	93,623	46,811	18,724	28,088	46,813

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2
(重要伝統的建造物群保存地区保存事業)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/5

5 事業実施の必要性とその効果

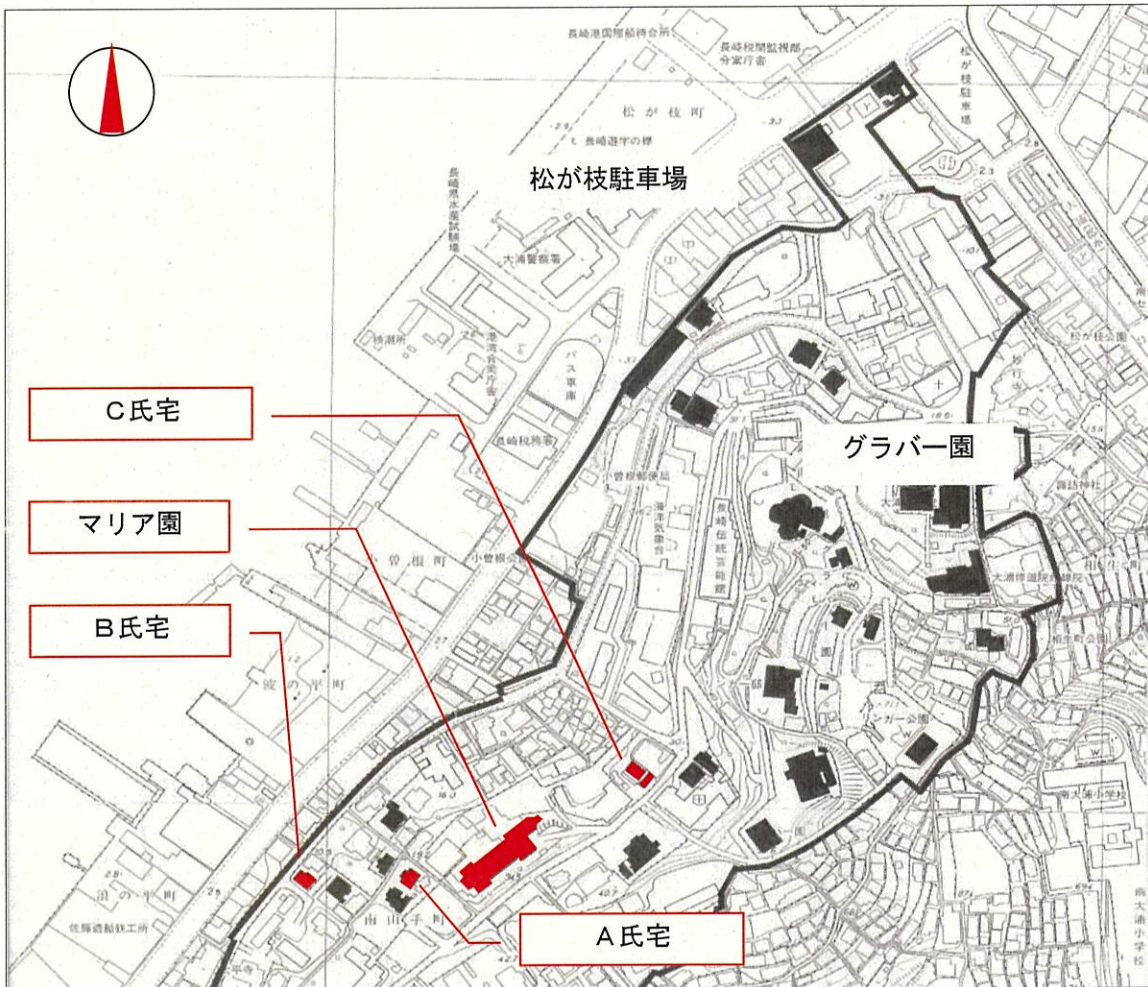
(1) 必要性

- ・東山手・南山手伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物は幕末から大正時代に建設されたものであり、定期的な維持補修や、建物の活用状況に伴う耐震対策等が必要である。
- ・伝統的建造物群保存地区を後世に継承するために、民間所有の伝統的建造物の適切な修理や整備を行ううえで、費用の助成が必要である。

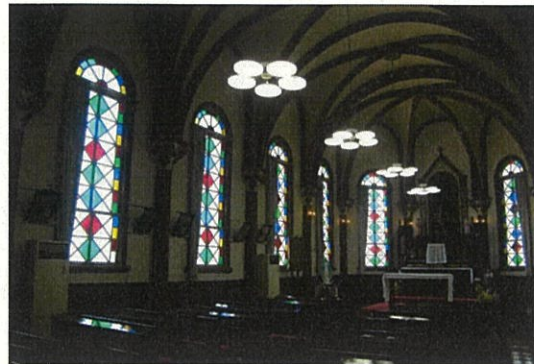
(2) 効果

国選定重要伝統的建造物群保存地区の長崎市東山手・南山手伝統的建造物群保存地区における建造物等を保存整備することで、後世に継承することができる。また、修理費用の補助や技術的支援などにより、所有者の理解と協力を得ることができる。

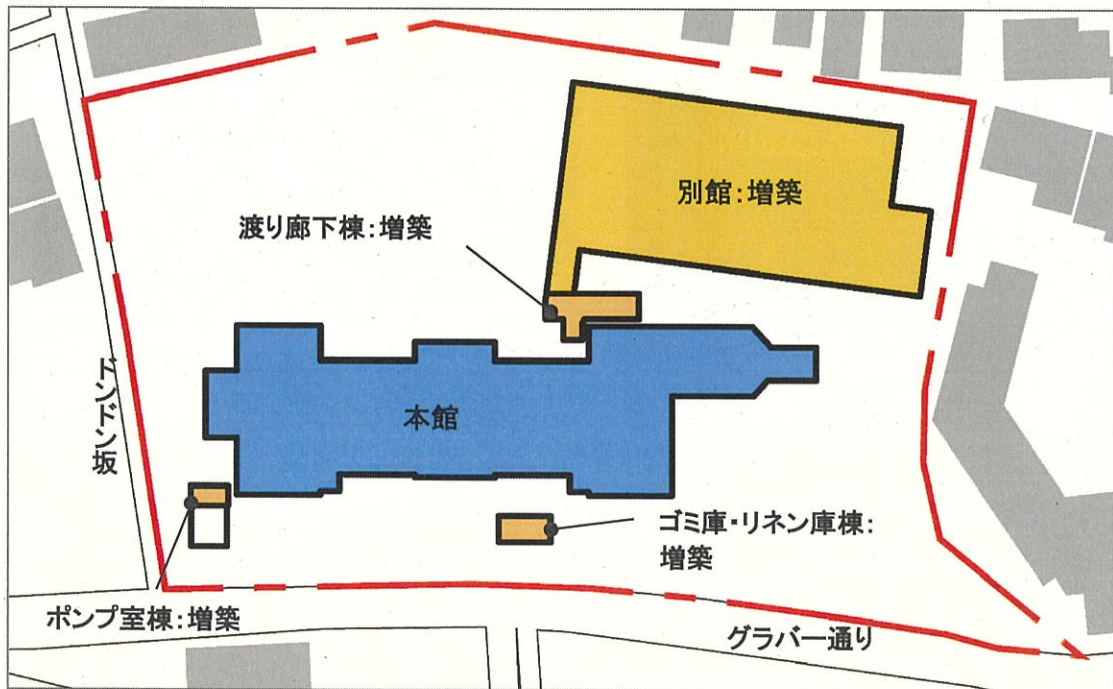
6 位置図等



<マリア園>



敷地配置 (予定) 図



<A氏宅>



< B氏宅 >



< C氏宅 >



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
290 ? 291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	6 - 1	【単独】文化財保存整備事業費 補助金 各種文化財	千円 17,709

1 概要

国指定文化財、長崎県指定文化財、または長崎市指定文化財の民間所有者が実施する保存整備事業（修理）に対し、事業費の一部を補助するもの。

2 事業内容

文化財名称	主な事業内容
(1) 国指定重要文化財 聖福寺 4 棟 (大雄宝殿・天王殿・鐘楼・山門)	ア事業期間（予定） 令和2年度～令和11年度 イ令和4年度整備内容 (大雄宝殿) 耐震診断、素屋根組立・解体 (山門) 耐震診断
(2) 国指定史跡 小菅修船場跡	ア事業期間（予定） 令和4年度～令和5年度 イ令和4年度整備内容 曳揚げ機小屋の耐震補強等工事
(3) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門	ア事業期間（予定） 令和4年度～令和8年度 イ令和4年度整備内容 保存整備工事
(4) 市指定有形文化財 黄檗開祖国師三幅対	ア事業期間（予定） 令和4年度 イ令和4年度整備内容 修復及び表具新調
(5) 市指定史跡 上野(彦馬)家墓地	ア事業期間（予定） 令和4年度 イ令和4年度整備内容 石積復旧修繕
(6) 市指定史跡 浦上村瀧庄屋志賀家墓地	ア事業期間（予定） 令和4年度～令和5年度 イ令和4年度整備内容 樹木の伐採、石積等保存整備
(7) 市指定天然記念物 滑石大神宮社叢	ア事業期間（予定） 令和4年度 イ令和4年度整備内容 社叢高木（5本）の剪定
(8) 市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群	ア事業期間（予定） 令和3年度～令和8年度 イ令和4年度整備内容 クスノキ（1本）の剪定

3 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

民間所有の指定文化財を後世に継承するため、適切な保存修理、整備を行う必要がある。

(2) 効果

長崎市の貴重な文化遺産の保存・活用が適切に行われる。

4 財源内訳

(単位：千円)

補助対象	① 総事業費	② (※1) 国庫支出金	③ (※2) 県支出金	④ (※3) 市予算額		事業者(主) 負担額 ①-②-③-④
					一般財源	
(1) 聖福寺4棟	130,000	110,500 ※(17/20)	6,500 (1/20)	4,875 (3/80)	4,875	8,125
(2) 小菅修船場跡	36,499	18,249 (1/2)	6,083 (1/6)	4,562 (1/8)	4,562	7,605
(3) 皓台寺仁王門	4,000	—	2,000	1,000 (1/4)	1,000	1,000
(4) 黄檗開祖国師 三幅対	3,630	—	—	1,815 (1/2)	1,815	1,815
(5) 上野(彦馬)家 墓地	2,156	—	—	1,078 (1/2)	1,078	1,078
(6) 浦上村瀨庄屋 志賀家墓地	3,410	—	—	1,705 (1/2)	1,705	1,705
(7) 滑石大神宮 社叢	4,029	—	—	2,014 (1/2)	2,014	2,015
(8) 松森神社の クスノキ群	1,320	—	—	660 (1/2)	660	660
合計	185,044	128,749	14,583	17,709	17,709	24,003

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2

*事業者の事業規模指数に応じ補助率の加算(加算率上限 35%)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/2 以内

(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の 1/3 以内)

※3 市指定文化財等保存整備事業補助金 補助率 1/2 以内

(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の 1/4 以内)

5 現況等

(1) 国指定重要文化財 聖福寺 4 棟 (建造物の劣化・破損)



大雄宝殿 (正面全景)



天王殿 (背面全景)



鐘楼 (北側面全景)

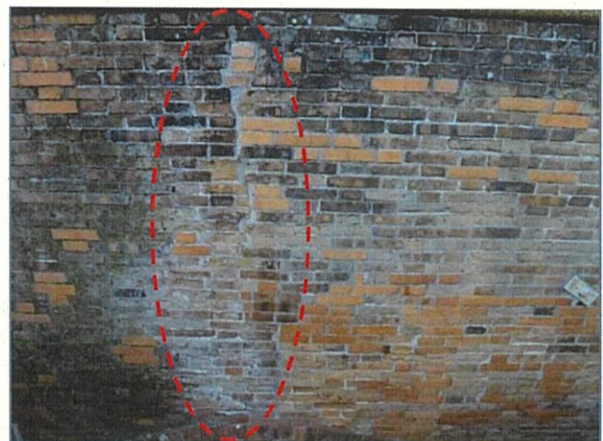


山門 (正面全景)

(2) 国指定史跡 小菅修船場跡



史跡内曳き揚げ機小屋 (正面)



煉瓦壁面のクラック

(3) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門（蟻害による建造物の傾斜）

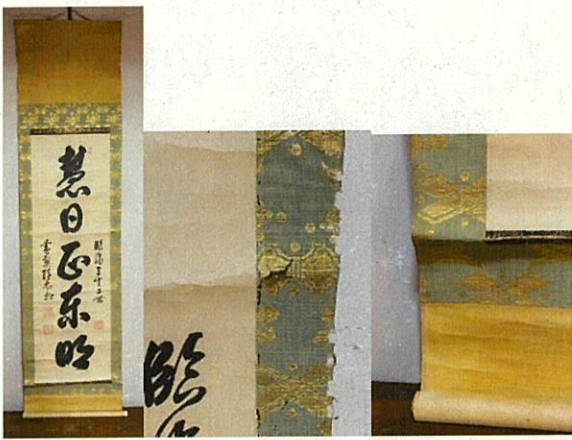


正面全景



側面全景

(4) 市指定有形文化財 黄檗開祖国師三幅対



左の画像は中幅の現況、右の画像は右幅の現況（左幅もほぼ同じ状態）

(5) 市指定史跡 上野（彦馬）家墓地（墓碑の土台石積みに孕み出しが生じている）



(6) 市指定史跡 浦上村淵庄屋志賀家墓地 (高木により石塀・石段が傾いている)

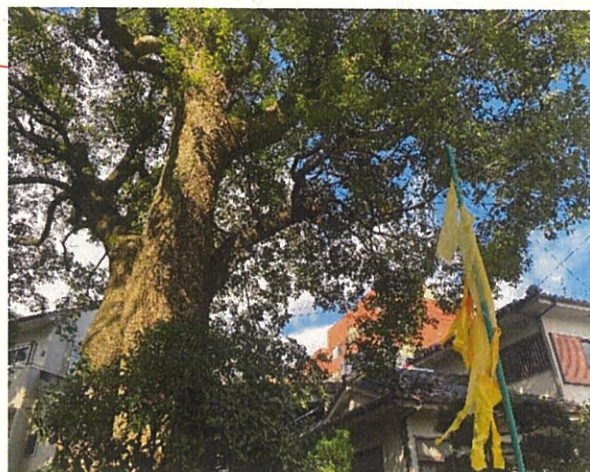


※応急措置として倒壊を押さえている

(7) 市指定天然記念物 滑石大神宮社叢 (参道や建物の上まで樹木の枝が突出しており危険)



(8) 市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群 (近隣民家の上まで枝が突出しており危険)



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
290 ～ 291	10 教育費	6 社会 教育費	4 出島 復元費	1 - 2	遺構調査及び遺物整理費	千円 7,116

1 概要

国指定史跡「出島和蘭商館跡」（以下、「出島」という。）の発掘調査により出土した遺物の分類や、整理検討を行う。

また、昭和44年（1969年）から始まった、出島の発掘調査について、史跡地内の主だった発掘調査が終了している現段階を一つの区切りとして、「特別史跡」及び「重要文化財」の指定を目指し、これまで蓄積された発掘調査の成果を総合的に分かりやすく集約した総括報告書の作成に取り組む。

2 事業内容

(1) 総括報告書の作成 5,818千円

ア 内容

- ・ 出島において、発掘調査ごとにまとめられた成果について、検出遺構、出土遺物それぞれに膨大なデータの蓄積、分析成果が認められているため、情報の抽出を行い、時代区分にそって全体像がわかるように編集し、出島の学術上の価値を具体的に示す。
- ・ 報告書の作成にあたり、遺構について、昭和から平成の始め頃までの遺構図は手書きで、また、初期の報告では原稿、図や写真がデータ化されていないため、必要な情報をデータ化する。
- ・ 現在までに、70万点を超える遺物が出土しているが、そのうち特に貴重な出土品約1,500点を重要考古資料として選択し、基礎的なデータを整理する。
- ・ 「概要及び遺構編」と「遺物及び総括編」に分けて概ね4か年を目途に作成する。

イ 作成のスケジュール（予定）

年度	行程	概要	成果物
令和3年度	作成 検討	・ 総括報告書の編集方針検討 ・ 基礎的データの収集、不備などの精査	
令和4年度	作成	・ 遺構等データの作成・編集、遺構図面作成 ・ 遺物の整理	
令和5年度		・ 「概要及び遺構編」編集・校正、刊行 ・ 遺物の整理	概要及び遺構編
令和6年度		・ 遺物等データの作成・編集、遺物図面作成 ・ 遺物の整理	
令和7年度		・ 「遺物及び総括編」編集・校正、刊行 ・ 遺物リストの作成・整理	遺物及び総括編

ウ 事業費

- (ア) 人件費（遺構及び遺物整理作業員2名）4,772千円
(イ) 遺構図面作成業務委託 995千円
(ウ) 消耗品費 51千円

(2) 遺構調査及び遺物整理 1,298千円

ア 内容

これまでの発掘調査により出土した遺物の分類と整理検討を行う。また、劣化の危険がある遺物について保存処理を行う。

イ 事業費

(ア) 委託料(出土遺物保存処理業務委託等) 477千円

(イ) その他維持経費(埋蔵整理作業所光熱水費、消耗品費等) 821千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 7,116	千円 2,898	千円 -	千円 -	千円 16	千円 4,202

※1 埋蔵文化財緊急調査費国庫補助(補助率:50%)

※2 保険料個人負担金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・ 総括報告書を作成し、出島の総合的な価値づけを行い、出島の学術上の価値を後世に正しく継承する。
- ・ 文化庁は、国の「史跡」や「特別史跡」に関して、総合的でわかりやすく、その価値を具体的に示す総括報告書の整備・充実を求めているが、出島はこれまで総括的な集約を行っていないため必要とされる整理となる。
- ・ 概ね出島中央部までの工事が終了し、史跡内の復元事業の終期計画の検討に入るこの時期に作成することが適切であり、現時点における課題の抽出と今後の整備・活用の方向性を明らかにするための重要な資料となる。

(2) 効果

- ・ 出島の発掘成果を分かりやすいものとし、今後の復元整備や魅力ある展示、情報発信に活用する。
- ・ 事業区分が異なる隣接地点をつなげて俯瞰的に遺構の検討を行うことにより、これまでの調査では報告されていなかった成果を浮き彫りにすることが可能となる。
- ・ 出島の発掘調査に関する膨大な情報を集約し、データ化することで、WEB上で公開が可能となり、国内外の歴史研究に寄与するとともに、他にはない長崎独自の魅力として出島を広く発信することができる。
- ・ 総括報告書の作成により、「特別史跡」及び「重要文化財」の指定を受けることができれば、出島の学術的価値が特に高いことが国に認められ、さらに市民の地域への愛着と誇りが高まり、市外から長崎を訪れたい魅力として発信されることにつながる。

5 その他

(1) 今後のスケジュール（予定）

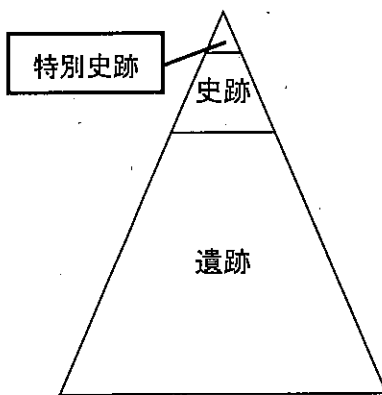
総括報告書の作成に取り組む中で、「特別史跡」及び「重要文化財」に必要とされる出島の学術的価値を集約する作業を行い、都度、文化庁等の助言や指導を受けながら「特別史跡」及び「重要文化財」に関する意見具申の準備を進める。

年度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8以降
総括報告書の作成作業	→				
概要及び遺構編発刊		●			
遺物及び総括編発刊				●	
文化庁等の助言・指導	→				
史跡の価値付け・意見具申準備	→				
特別史跡の指定（※）					●
重要文化財の指定（※）					●

（※）特別史跡及び重要文化財の指定は文化庁の決定事項となるため時期は未定。

(2) 「特別史跡」及び「重要文化財」について

ア 「特別史跡」とは



・特別史跡（63件※）

史跡のうち、「学術上の価値が特に高く、日本の文化の象徴たるもの」を国が特別史跡に指定。県内の特別史跡は2件。原の辻遺跡（壱岐市）、金田城遺跡（対馬市）。

・史跡（1,795件※）

遺跡のうち、「日本の歴史の正しい理解のために欠くことができず、かつ、その遺跡の規模、遺構、出土遺物等において、学術上価値のあるもの」を国が史跡に指定。

・遺跡

過去の人々の生活・活動を示す痕跡をとどめている場所。
貝塚、古墳、城跡等。

※数字は、文化庁HP「国指定文化財等データベース」（令和4年1月末時点）

イ 「重要文化財」とは

- ・ 建造物、美術工芸品、考古資料、歴史資料等の有形文化財のうち、歴史上・芸術上価値の高いもの、または、学術上価値の高いものとして、文化財保護法に基づき、国が指定した文化財。
- ・ 県内の重要文化財（考古資料）は6件。福井洞窟出土品（佐世保市）や、原の辻遺跡出土品（壱岐市）等がある。